

文部科学省
CBT システム
MEXCBT (メクビット)

問題作成用マニュアル
(第7.2版)

オンライン学習システム
推進コンソーシアム

本マニュアルに記載されている画面イメージは開発中のものを含むため、
今後機能拡充等に伴い変更される可能性があります。
本マニュアルは、テスト作成サイトを利用して
「問題を作成・登録する」際の手順を記載したものです。
MEXCBT(メクビット)全体の操作等については、運用マニュアルを参照ください。

第 1 章 本書の使い方	4
1-1 本書の使い方	4
第 2 章 問題を作成・登録する（基本の手順）	5
2-1 テスト作成から搭載までの流れ.....	5
2-2 テスト作成サイトを表示する	19
2-3 問題を作成する	20
2-4 公開申請する	36
2-5 次章以降の構成について.....	41
第 3 章 「選択肢」問題の作成	42
3-1 完成イメージ.....	42
3-2 基本的な作成方法.....	42
3-3 追加設定等	43
第 4 章 「画像オーダー」問題の作成	45
4-1 完成イメージ.....	45
4-2 基本的な作成方法.....	45
4-3 追加設定等	46
第 5 章 「画像線つなぎ」問題の作成	47
5-1 完成イメージ.....	47
5-2 基本的な作成方法.....	47
5-3 追加設定等	48
第 6 章 「マッチ」問題の作成	49
6-1 完成イメージ.....	49
6-2 基本的な作成方法.....	49
6-3 追加設定等	50
第 7 章 「ホットテキスト」問題の作成	51
7-1 完成イメージ.....	51
7-2 基本的な作成方法.....	51
7-3 追加設定等	52
第 8 章 「画像 D&D」問題の作成	53
8-1 完成イメージ.....	53
8-2 基本的な作成方法.....	53
8-3 追加設定等	54
第 9 章 「スライダー」問題の作成	55
9-1 完成イメージ.....	55
9-2 基本的な作成方法.....	55

9-3 追加設定等	56
第 10 章 「記述問題」問題の作成	57
10-1 完成イメージ	57
10-2 基本的な作成方法	57
第 11 章 「アップロード」問題の作成	60
11-1 完成イメージ	60
11-2 基本的な作成方法	60
11-3 追加設定等	61
第 12 章 「メディア」問題の作成	62
12-1 完成イメージ	62
12-2 基本的な作成方法	62
第 13 章 「文字ブロック（インライン）」問題の作成	66
13-1 完成イメージ	66
13-2 基本的な作成方法	66
13-3 追加設定等	68
第 14 章 「A 文字ブロック（テキスト入力）」問題の作成	69
14-1 完成イメージ	69
14-2 基本的な作成方法	69
14-3 追加設定等	71
第 15 章 問題文の装飾	73
15-1 問題文の装飾について	73
15-2 文字の装飾	75
15-3 フォントサイズの変更について	76
15-4 特殊文字やマルチメディアの挿入	78
15-5 リンクの挿入	87
第 16 章 テストの追加設定等	90
16-1 テストの中に区切りを設定する	90
16-2 テストのプロパティを設定する（制限時間を設ける等）	93
第 17 章 解説付き問題の作成	98
17-1 基本的な作成方法	98
第 18 章 数式入力ツールを利用した問題作成	109
18-1 完成イメージ	109
18-2 基本的な操作方法	109
第 19 章 オーディオツールを利用した問題作成	111
19-1 完成イメージ	111

19-2 基本的な操作方法	111
《問合せ窓口》	113
別添	114

【改訂履歴】

版数	改訂年月日	改訂内容
第1版	2021年1月12日	初稿
第2版	2021年7月12日	令和3年度実証事業開始に伴い修正
第3版	2021年9月6日	第10章、第15章、第16章、第17章を追加。第3章～第14章の追加設定について追記。その他全体に説明等を補足。
第4版	2021年11月29日	機能拡充版リリースに伴い第1章、第2章を修正
第5版	2022年5月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・名称を文部科学省 CBT システム (MEXCBT) に変更 ・テスト公開申請方法の変更に伴う修正 ・問題情報管理システムについての説明を追加 ・各種追加設定・留意事項について追記 (第2章、第15章)
第6版	2022年9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・第18章を追加。 ・各種追加設定・留意事項について追記 (第12章) ・第14章に不具合事象を追加。
第7版	2023年3月	・バージョンアップに伴う修正
第7.1版	2024年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト名設定時の留意事項修正 ・同一アイテムを複数のテストで利用する際の留意事項追記 ・ひな形等を利用したテスト作成時の留意事項追記 ・画像 D&D 問題作成時の留意事項追加 (第8章) ・メディア (画像、動画、音声) ファイル利用時の留意事項の補足追記 ・短答式記述問題における許容解 (別解) 設定時の留意事項追記 ・MEXCBT 記述式採点システム利用における作問時の留意事項の補足等
第7.2版	2024年12月	・第19章を追加

本書の使い方

1-1 本書の使い方

本マニュアルは、テスト作成サイトを利用して、様々な形式の問題を作成する際の手順をまとめたものです。

問題の作成手順や、テスト搭載までの手順、問題形式に応じた個別の設定、問題文の装飾（フォントの変更、画像やリンクの挿入等）方法、テストの追加設定（制限時間の設定等）、解説付き問題の作成方法等の詳細を記載しています。

【テスト作成サイトへのログインから問題搭載までの主な流れ】

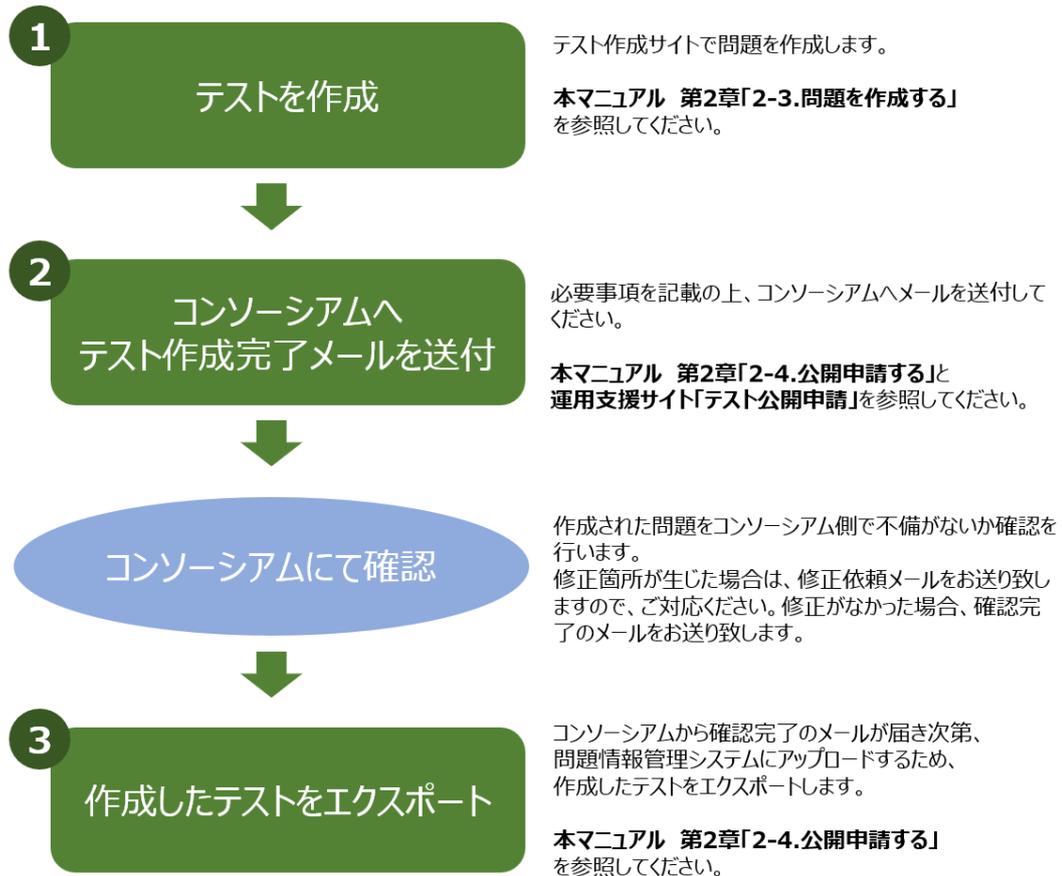
手順	マニュアル該当項目	概要
ログイン	第2章「2-2 テスト作成サイトを表示する」参照	「テスト作成サイト」へログインします
「アイテム」の作成	第2章「2-3 問題を作成する（手順1～13）」参照 ※ 問題形式毎の作成方法は第3章～第14章参照 ※ 問題文の装飾（フォントの変更、画像やリンクの挿入等）は第15章「問題文の装飾」参照	小問または大問単位となる「アイテム」を作成します
「テスト」の作成	第2章「2-3 問題を作成する（手順14～19）」参照 ※ テストの追加設定（時間制限等）については第16章「テストの追加設定等」参照 ※ 解説付き問題の作成方法は第17章「解説付き問題の作成」参照	「アイテム」を組み合わせ、児童生徒に配信する単位である「テスト」を作成します
問題搭載	第2章「2-4 公開申請する」参照	作成した「テスト」を利用可能な状態にするための「公開申請」を行います ※ 申請後、利用可能となるまでに1週間程度必要となります

第1章 問題を作成・登録する（基本の手順）

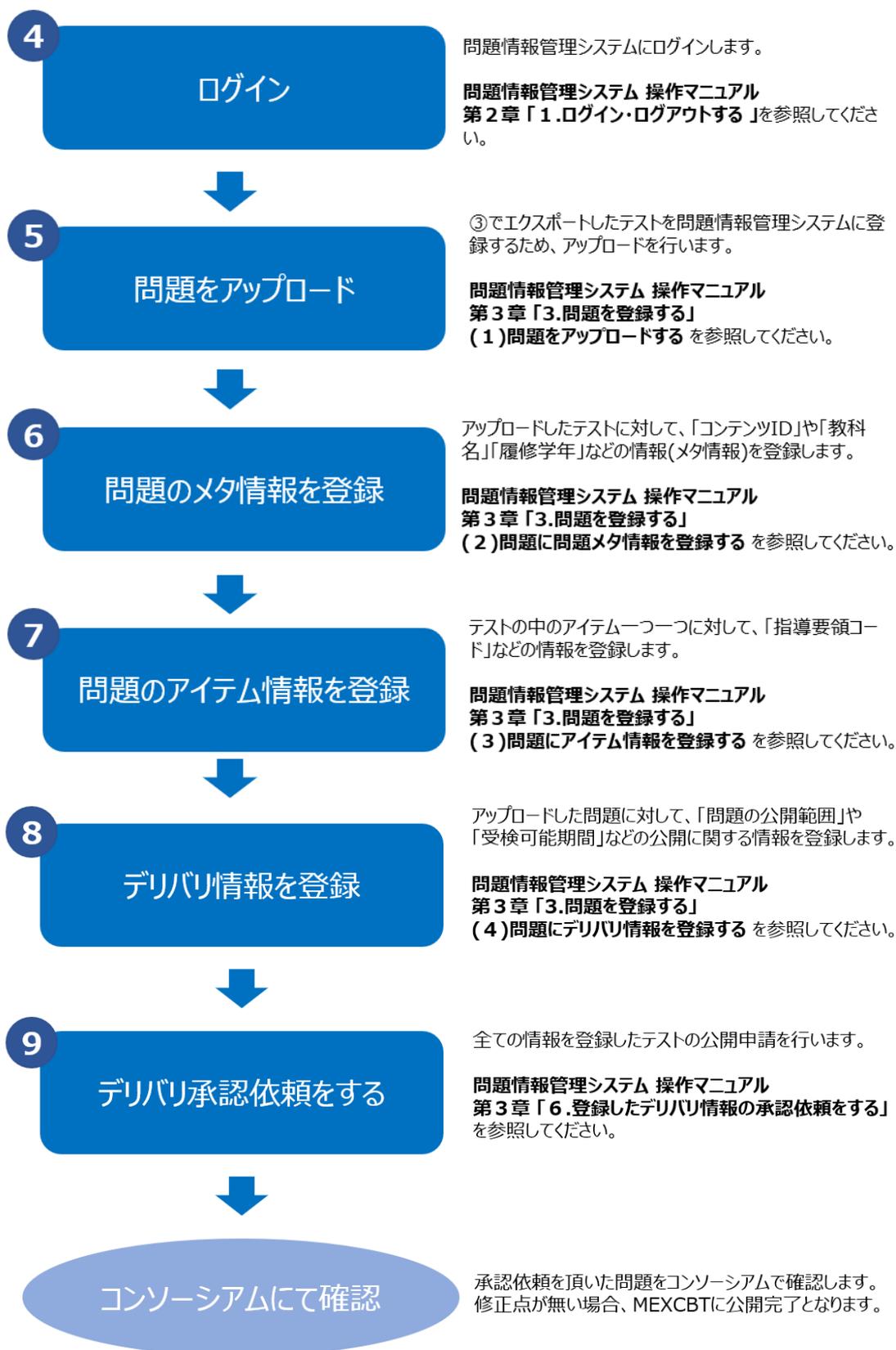
2-1 テスト作成から搭載までの流れ

テスト作成から MEXCBT にテストが搭載されるまでの流れは以下の①～⑧の通りです。

1. テスト作成サイト

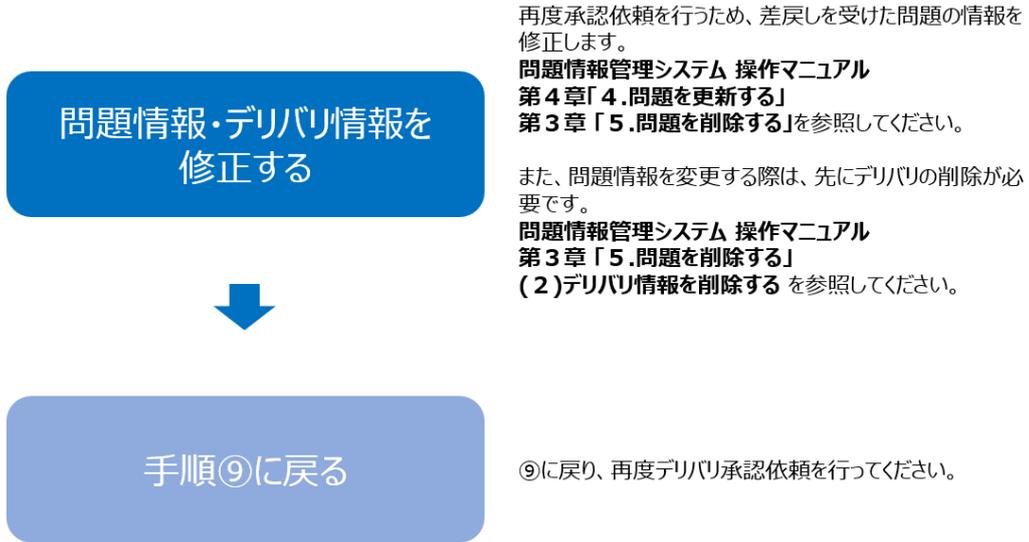


2. 問題情報管理システム



3. 差戻が生じた場合

⑨「デリバリ承認依頼をする」の後、コンソーシアムにて確認した際に修正箇所があった場合、「差戻」が行われます。修正箇所をコンソーシアムよりメールにてお送り致しますので、修正対応後、再度テストを申請する際に以下の手順を行ってください。



承認依頼をした後、問題のステータスを確認する方法は、承認依頼をした問題のデリバリ情報詳細画面より、「承認履歴」をクリックします。

The screenshot shows a web interface for 'デリバリ情報詳細' (Delivery Information Detail). The breadcrumb trail is '問題情報管理 / 問題一覧 / 問題詳細 / デリバリ情報詳細'. The main content area has tabs for 'デリバリ情報', '承認履歴', and 'デリバリ履歴'. The '承認履歴' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs is a form with various settings:

- デリバリ公開範囲: 全公開 限定公開
- 学校指定:
- 受験可能期間: yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd
- 検索可能期間: yyyy/mm/dd ~ yyyy/mm/dd
- 受検時以外問題公開: 公開する 公開しない
- 児童生徒検索: 可 不可
- フィードバックモード: スコア・正誤表示 スコア非表示・正誤表示 スコア・正誤非表示
- スタディログ対象外: 出力対象 出力対象外
- MEXCBT記述式採点システム利用: 利用しない 利用する
- 受験回数:

 At the bottom, there are buttons for '戻る' (Back), '削除' (Delete), '更新' (Update), and '承認依頼' (Request Approval).

デリバリ情報詳細画面

承認履歴の画面に遷移するので、「種別」と「コメント内容」を確認します。「種別」が「差戻」になっている場合は、上記手順に従って、デリバリ情報を削除後、問題を削除し、修正した上で再度テストをエクスポートし、承認依頼を行ってください。

No	デリバリID	種別	日時	記載者	コメント内容
2	201188	承認	2022/12/01 15:51		
1	201188	承認依頼	2022/12/01 15:50		

承認履歴確認画面

10

**結果データ提供サイトの
利用申込をする**

公開申請が完了後、MEXCBT に搭載されたテストの解答結果データの提供を希望される場合には、結果データ提供サイトの利用申込を行います。
mexcbt-info@uchida.co.jp 宛てに、必要事項をご記入の上、メールでお申込みください。

結果データ提供サイト利用申込【〇〇〇教育委員会】 - メッセージ (HTML 形式)

送信(S) 差出人(M) mexcbt-info@uchida.co.jp

宛先(T) mexcbt-info@uchida.co.jp

件名(U) 結果データ提供サイト利用申込【〇〇〇教育委員会】

【設置者名】

【結果データ提供対象テスト名】

【結果データ提供希望日時】



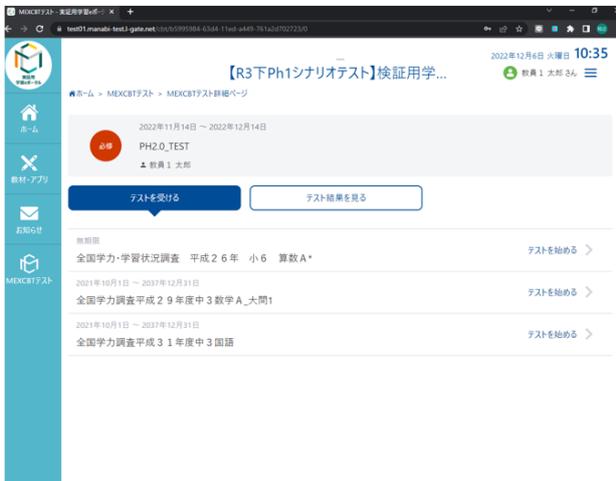
ご利用上の留意点

1. 解答結果データの利用を行う場合には、デリバリ情報登録時に、デリバリ公開範囲で「**限定公開**」を選択し、配信する学校の設定を行ってください。
※ 限定公開で実施した調査の問題についても、「MEXCBT 問題共有バンク運用ルール」に従って調査終了後は原則公開としてください。
2. 解答結果データ提供サイトで提供するデータには受検者 ID のみ表記され、受検者 ID と個人を特定するための情報は含まれておりません。学校の学習状況の傾向把握だけでなく、個人の傾向把握を行いたい場合には、受検番号等を入力する解答欄を作成するテストに含める必要があります。
もしくは、「**調査用児童生徒番号システム（※）**」を利用することで、受検時に入力した調査用児童生徒番号（受検番号）が解答結果データ csv に表記され、学校ではその番号を利用して経年の結果等を紐付け個人の傾向を把握することができるようになります。
ただし、氏名等の個人情報を MEXCBT の解答欄に入力させることは不可とします。

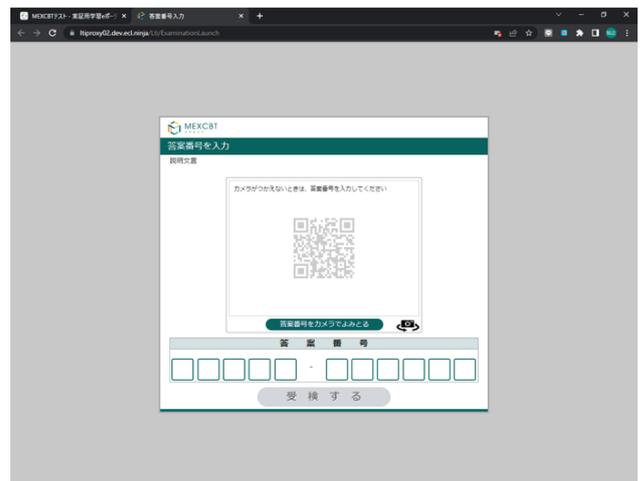
※解答結果データの出力には、1 週間から 1 0 日程度の準備期間が必要となります。余裕をもって利用申込を行ってください。

※調査用児童生徒番号システムをご利用いただくには、公開申請メール（2-4 公開申請する参照）に『調査用児童生徒番号システムの利用を希望する』旨を追記ください。別途、詳細をご案内いたします。

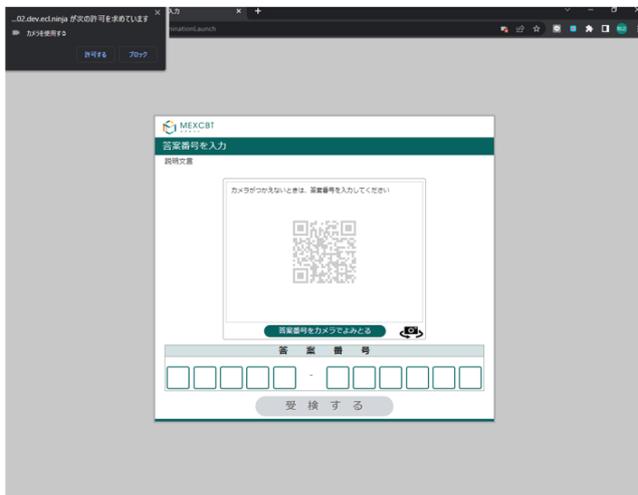
1. 学習eポータルから、「受検を開始する」



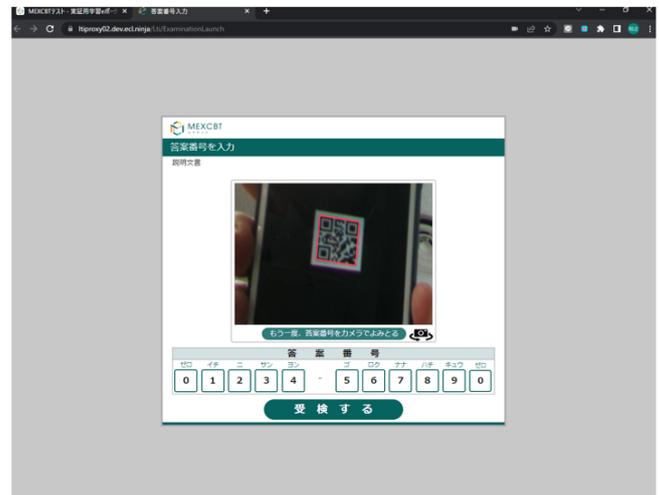
2. MEXCBTの番号入力画面が表示される



3. 「〇〇番号をカメラでよみとる」ボタンをクリックすると、ブラウザのマイク使用許可ダイアログが表示される。



4. ブラウザのマイク使用を「許可」すると、カメラ映像が表示され、カメラ内に二次元コードをかざすと、検出されたコードが赤枠で囲まれ、読み取られた情報が、入力欄に表示される。



番号入力画面

※解答結果データの利用をする際のテスト作成上の注意点

解答結果データは、アイテム名_レスポンス名（RESPONSE は英語表記）ごとに「解答内容」、「正誤」などの情報を表記します。アイテムの数分だけ横に表記されていきます。同一のアイテム内に、設問が複数存在する場合には、RESPONSE の後に数字（連番）が付番されたレスポンス識別子が作成されます。また、選択肢も choice の後に数字（連番）が付番されたものが「アイテム名_解答内容」セルに表示さ

れます。したがって、解答結果データに表記された情報を確認したときに識別しやすい名称に設定する必要があります。

	A	B	C	D	E	F
1	解答結果データ	(イメージ)				
2						
3	問題タイトル	アイテム名_RESPONSE_1_解答内容	アイテム名_RESPONSE_1_正誤	アイテム名_RESPONSE_2_解答内容	アイテム名_RESPONSE_2_正誤	アイテム名_RESPONSE_3_解答内容
4	小学校国語	choice_01_1	正	choice_02_3	誤	choice_03_2
5	小学校国語	choice_01_2	誤	choice_02_3	誤	choice_03_2
6	小学校国語	choice_01_3	誤	choice_02_2	正	choice_03_1
7						

解答結果データ csv（イメージ）

レスポンスプロパティの「レスポンス識別子」に半角英数字で入力します。標準では、「RESPONSE」、「RESPONSE_1」の順に作成されます。

※作成した設問を削除し、新たな設問を追加したりすると番号が入れ替わってしまったり、欠番が出現してまいりますので、注意が必要です。

※日本語などの全角文字や()などの記号を入力することはできません。



テスト作成サイト設定画面

選択肢プロパティの「識別子」に半角英数字で入力します。標準では、「choice_1」、「choice_2」の順に作成されます。

※作成した選択肢を削除し、新たに追加した場合には、番号の順番が入れ替わったり、欠番ができてしまったりしますので、注意が必要です。

※日本語などの全角文字や()などの記号を入力することはできません。



テスト作成サイト設定画面

（設定例）

- 選択肢の問題（1）： RESPONSE_1
 - choice#1: choice_01_1
 - choice#2: choice_01_2
 - choice#3: choice_01_3
- 選択肢の問題（2）： RESPONSE_2
 - choice#1: choice_02_1
 - choice#2: choice_02_2
 - choice#3: choice_02_3

4. 詳細設定画面の説明・その他留意事項

問題を問題情報管理システムにアップロード後、問題詳細画面にて詳細を登録します。詳細な設定内容は以下の通りです。なお、本マニュアルでは主に必須項目の説明のみ記載しています。他の項目の説明は「問題情報管理システム 操作マニュアル」の「9.画面説明」に記載されているため、そちらをご覧ください。

問題詳細画面

No.	項目名	説明・留意点
①	問題に登録されているアイテムにメタ情報を反映	チェックを入れることで、問題情報をアイテム情報の同一の項目に反映させることができます。ただし、更新を行わないと保存されません。
②	問題内容公開範囲	特に公開範囲を設定しない場合は「公開」を、問題情報管理システム内で作成したグループにのみ公開する場合「グループ限定公開」を選択してください。
③	出版元名	プルダウン《▼》から該当する都道府県、市区町村を選択してください。
④	発刊年	西暦 4 桁で入力してください。
⑤	教科名	プルダウン《▼》から該当する教科を選択してください。複数教科にまたがる場合は、メインとなる教科を選択するか、「各教科（共通）」を選択してください。
⑥	履修学校種名	プルダウン《▼》から該当する学校種を選択してください。
⑦	原本名	「 独自作成問題 」を選択してください。
⑧	履修学年	プルダウン《▼》から該当する学年を選択してください。（複数学年にまたがる場合は「何年生から利用可能か」ということを基準にご記載ください。4～6年生の履修範囲を含む場合、6年生にならないと習わない問題が含まれる場合であれば、履修学年は6年生を選択してください。4年生から解答可能という場合には、4年生を選択してください。すべての学年を対象にする場合は「共通」を選択することも可能です。）
⑨	形式区分	「 一問一答形式 」を選択してください。

「アイテム詳細画面」の必須項目は、「問題詳細画面」の必須項目に含まれています。必要に応じて他の項目を入力してください。

The screenshot shows the 'アイテム詳細' (Item Detail) page. The left sidebar contains '問題情報管理' and '個人設定'. The main content area is divided into sections: '問題情報' (Problem Information) with '問題タイトル' (j1000-a 3), 'アイテムメタ情報' (Item Meta Information) with 'アイテムタイトル' (アンケートはじめに) and 'コンテンツID' (i61e0cc1f52ac6284475aa00e5e6480c29), and a grid of fields for '出版元名', '発刊年', '教科名', '履修学校種名', '原本名', '履修学年', and various codes. Red annotations highlight fields 3 through 8.

アイテム詳細画面

No.	項目名	説明・留意点
③	出版元名	プルダウン《▼》から該当する都道府県、市区町村を選択してください。
④	発刊年	西暦 4 桁で入力してください。
⑤	教科名	プルダウン《▼》から該当する教科を選択してください。複数教科にまたがる場合は、メインとなる教科を選択するか、「各教科（共通）」を選択してください。
⑥	履修学校種名	プルダウン《▼》から該当する学校種を選択してください。
⑦	原本名	「 独自作成問題 」を選択してください。
⑧	履修学年	プルダウン《▼》から該当する学年を選択してください。（複数学年にまたがる場合は「何年生から利用可能か」ということを基準にご記載ください。4～6 年生の履修範囲を含む場合、6 年生にならないと習わない問題が含まれる場合であれば、履修学年は 6 年生を選択してください。4 年生から解答可能という場合には、4 年生を選択してください。すべての学年を対象にする場合は「共通」を選択することも可能です。）

問題詳細情報を登録後、デリバリボタンを押し、デリバリ情報詳細画面にてデリバリ情報を登録します。
 詳細な設定内容は以下の通りです。

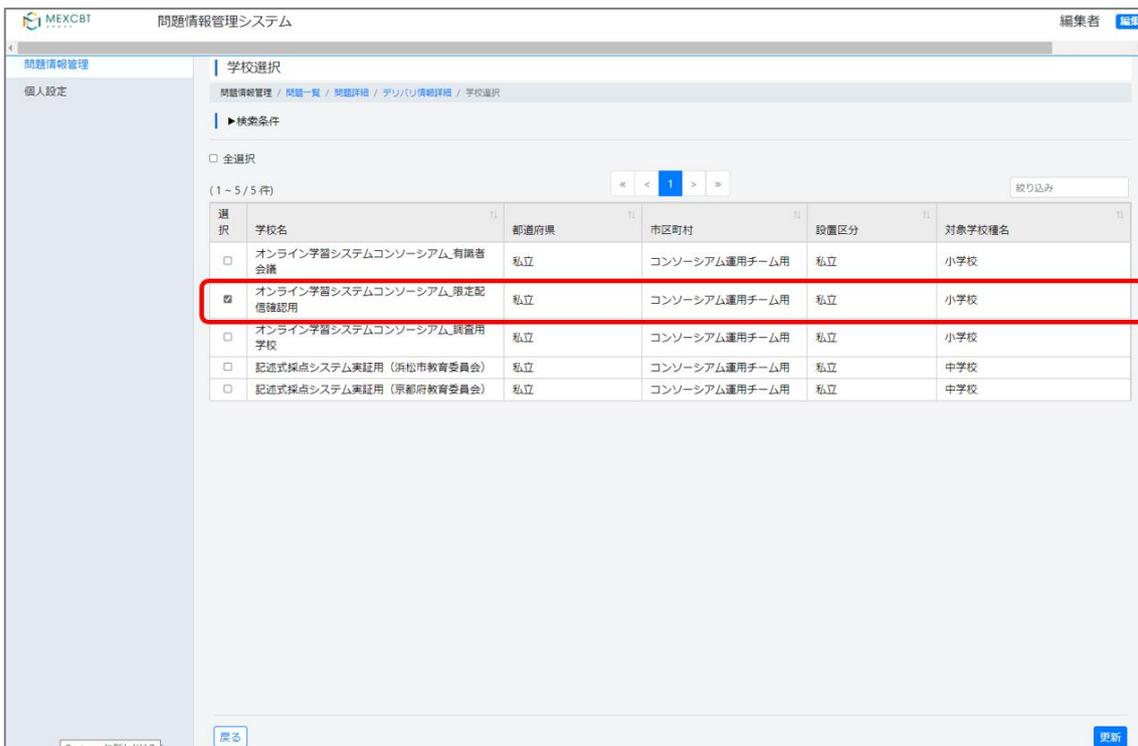
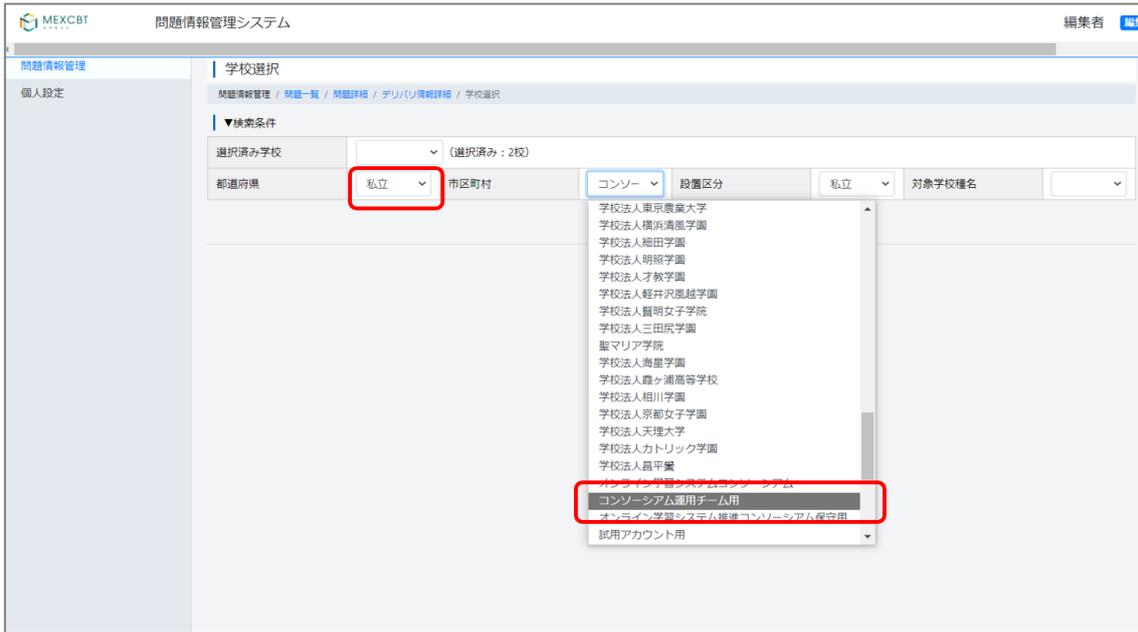
デリバリ情報詳細画面

No.	項目名	説明・留意点
①	デリバリ公開範囲	<p>テストを一部の学校のみ公開したい場合は「限定公開」を選択してください。その際、画面下の「留意事項」をご確認いただき、「備考」欄に公開を限定する理由を記載してください。</p> <p>※別添 問題の公開についての留意事項（P.114）を参照 「全公開」とした場合には、MEXCBT を利用するすべての学校で配信可能となります。</p>

②	受検可能期間	テストの受検可能期間を制限したい場合は記載してください。特に指定がない場合は「更新」ボタンをクリックしてください。「2000年1月1日～2037年12月31日」と設定されます。
③	デリバリ後に期間を延長する可能性あり	管理者がデリバリ後に受検期間を延長する可能性がある場合、チェック状態にします。チェックした場合、学習 e ポータルに問題配信する際、受検可能期間(To)が空で返却されます。
④	検索可能期間	テストの検索可能期間を制限したい場合は記載してください。特に指定がない場合は「更新」ボタンをクリックしてください。「2000年1月1日～2037年12月31日」と設定されます。
⑤	テストレビュー可能期間	デリバリ情報の受験結果をレビューできる期間を指定します。
⑥	受検時以外問題公開	児童生徒がテスト結果を見ることができる設定にしたい場合は、「公開する」を、テスト結果を見ることができない設定にしたい場合は「公開しない」を選択してください。
⑦	学校指定	①で「限定公開」を選択した場合のみ、公開する学校の選択が可能になります。この際には、限定公開を行う学校に加えて、「 オンライン学習システムコンソーシアム_限定配信確認 」も追加してください。 <複数の問題を同一の学校に公開するときは> 公開する学校を決定した後、「CSV 出力」ボタンを押すと、選択した学校の一覧が出力されます。出力された CSV ファイルは、同じ学校を公開先に設定する別の問題の学校選択時に「CSV 取込」ボタンから指定することができます。
⑧	フィードバックモード	学習 e ポータルで受検結果を参照する際に、得点と解答内容の正誤を表示するかを指定します。「スコア・正誤表示」「スコア・正誤非表示」から選択します。
⑨	スタディログ	学習 e ポータルから受検時のスタディログを参照できるようにするかを指定します。「出力対象」「出力対象外」から選択します。「出力対象外」を選択した場合は、学習 e ポータルにスタディログが返却されません。

	対象外	
⑩	受検回数	基本設定は「制限なし」です。受検回数制限を設けたい場合は、右の枠内に回数を入力してください。

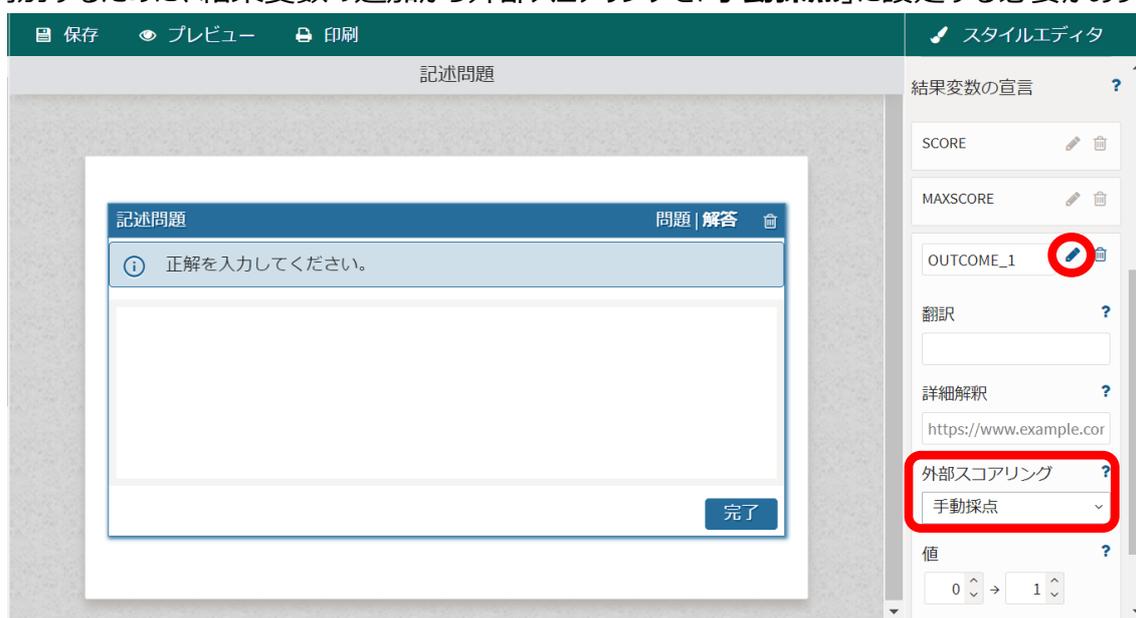
※デリバリ公開範囲を「**限定公開**」に設定する場合は、限定公開を行う学校に加えて、「**オンライン学習システムコンソーシアム_限定配信確認用**」を追加してください。



学校選択画面

No.	項目名	説明・留意点
⑪	MEXCBT 記述式採点 システム利用	記述式採点システムの利用を希望される場合には、問題情報管理システムでテストの公開申請を行う際に、「MEXCBT 記述式採点システム利用」で「利用する」にチェックを入れ、承認申請を行う必要があります。

「MEXCBT 記述式採点システム」を利用する場合の採点方法は「**完全一致**」に設定し、手動採点対象であることを判別するために、結果変数の追加から外部スコアリングを「**手動採点**」に設定する必要があります。



テスト作成サイト設定画面

2-2 テスト作成サイトを表示する

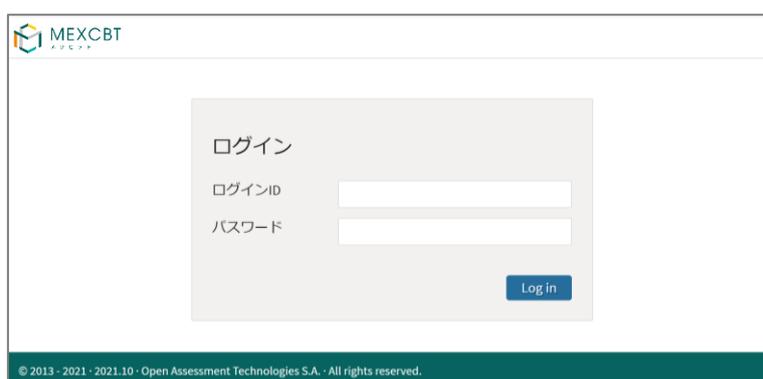
テスト作成サイトの接続先 URL、ログイン ID、パスワードは、運用支援サイトのテスト作成サイト利用申込から利用申込いただいた設置者宛に発行いたします。

発行されたエクセルファイルは、運用支援サイト利用申込ページの「ファイル管理」よりダウンロードしてご利用いただくことができます。

お申し込み時に「専用フォルダ」で「1 アカウント」を選択された場合には、1 つの管理用アカウントを発行します。このアカウント ID とパスワードでテスト作成サイトと問題情報管理システムを共通してご利用いただくことができます。「専用フォルダ」で「5 アカウント」をご選択された場合には、1 つの管理用アカウントと 5 つの作業用アカウントの合計 6 つのアカウント ID とパスワードが発行されます。「1 アカウント」のお申し込み時と同様に管理用アカウント ID でテスト作成サイトと問題情報管理システムを共通してご利用いただくことができます。

お申し込み時に「共用」フォルダでお申込みの場合は、1つの作業用アカウントが発行されますが、問題情報管理システムのご利用はできません。「共用フォルダ」はテストの作成はできますが、テストを MEXCBT に搭載することはできません。テストの搭載をご検討の場合には、「専用フォルダ」でのご利用をご検討ください。

「テスト作成サイト」のログインページに接続し、あらかじめ配布されたログイン ID 及びパスワードを入力の上ログインしてください。



「テスト作成サイト」のログインページ

2-3 問題を作成する

「テスト作成サイト」で問題を作成します。作成する問題の種類等に応じ、様々な形態が想定されますが、ここでは、新規で一般的な問題を作成する場面に限定して説明します。選択式問題のインタラクションで構成される「1_試行問題」というアイテムを、「問題演習 小5 社会（〇〇市立△△学校 作成問題）」というテスト名で作成する例を示します。

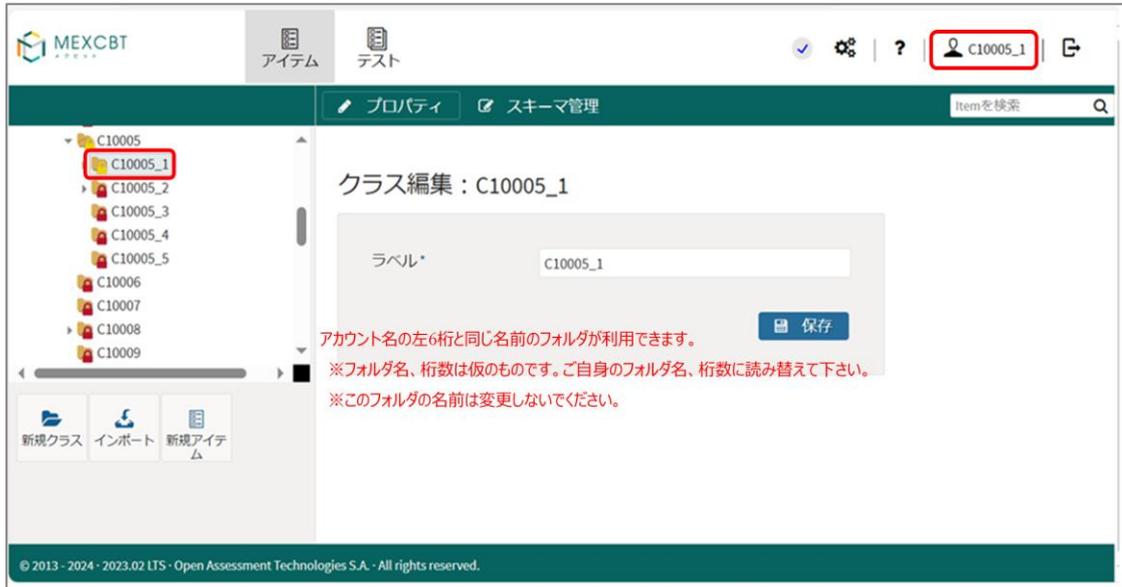
はじめにアイテム（個々の問題）の中のインタラクション（問題作成形式）を選んで問題を作成し（手順 1～13）、作成したアイテムを1つもしくは複数選びテスト（問題セット）を作成します（手順 14～19）。上記以外の詳細については、第 3 章以降を参照するようにしてください。

※ 以下のように、1つの「アイテム」の中に、複数のインタラクションを作成することも可能です。「テスト」として表示した際には、1つのアイテムが、1つのページになります。

【イメージ】



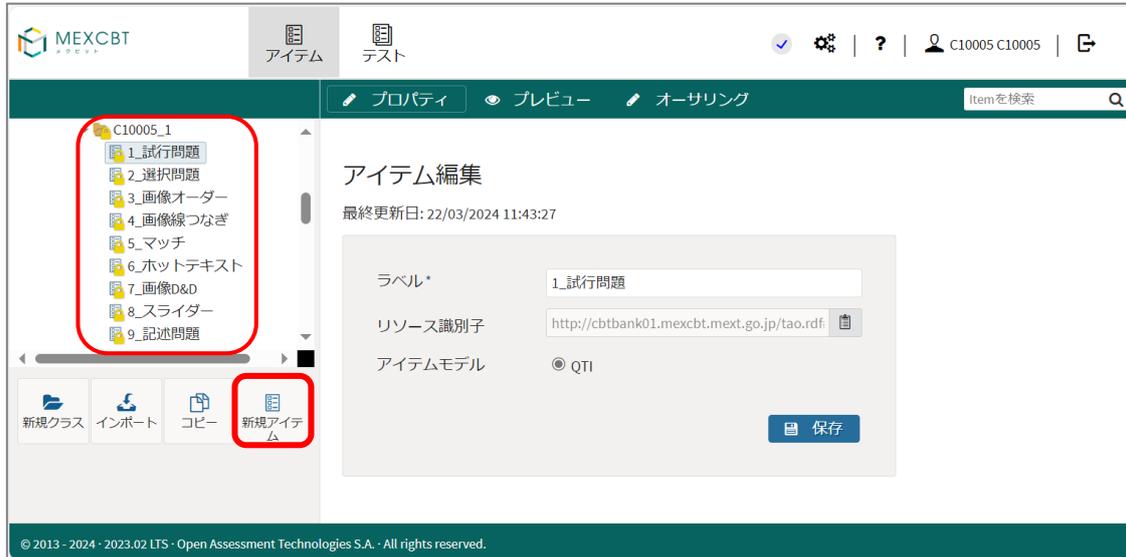
- 画面上部の「アイテム」を選択し、左側のフォルダの中からアカウント名の左 6 桁（例：アカウント名が C10005_1 の場合は、「C10005」）と同じ名前のフォルダ（こちらを「親フォルダ」とします）を選択してください。鍵がかかっているフォルダ（アカウント名の左 6 桁と異なる名前のフォルダ）にはアクセスすることができません。**※親フォルダの名前は変更しないでください。**
 ※フォルダ名、桁数は仮のものです。ご自身のフォルダ名、桁数に読み替えて下さい。



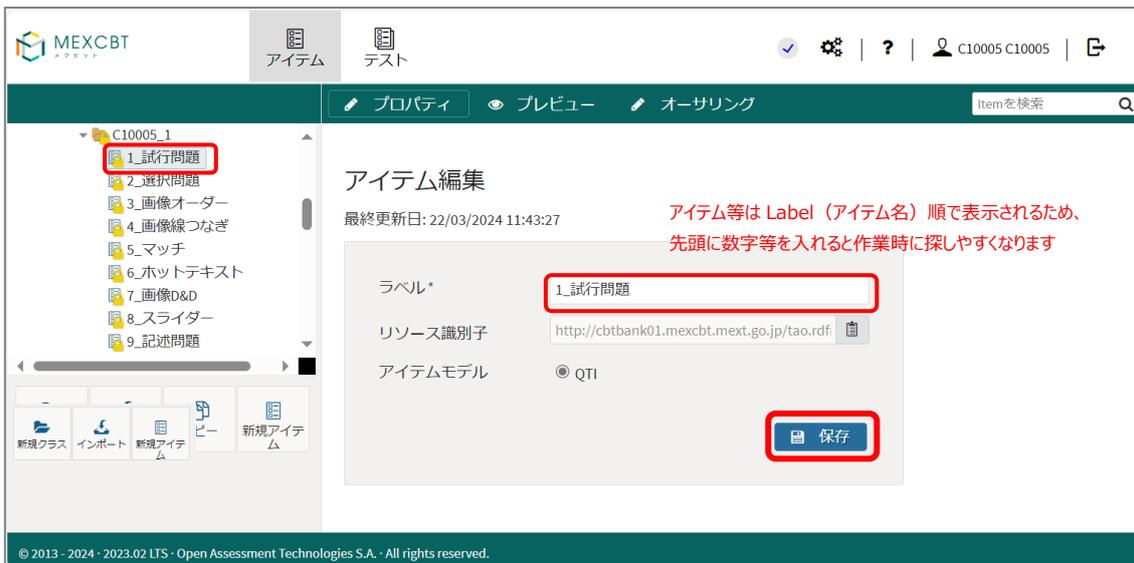
- 鍵のかかっていない親フォルダを選択すると、当該フォルダ内のフォルダやアイテム等が一覧で表示されます。任意の作業フォルダを選んでください。
 左下の「新規クラス」をクリックすると作業フォルダを追加作成することもできます。作業フォルダの名前を変更することは可能ですが、先頭の 6 桁の文字列（親フォルダ名と同じ文字列）は変更しないでください。また、**一度作成したフォルダやアイテム等は「削除」することができませんのでご注意ください。**



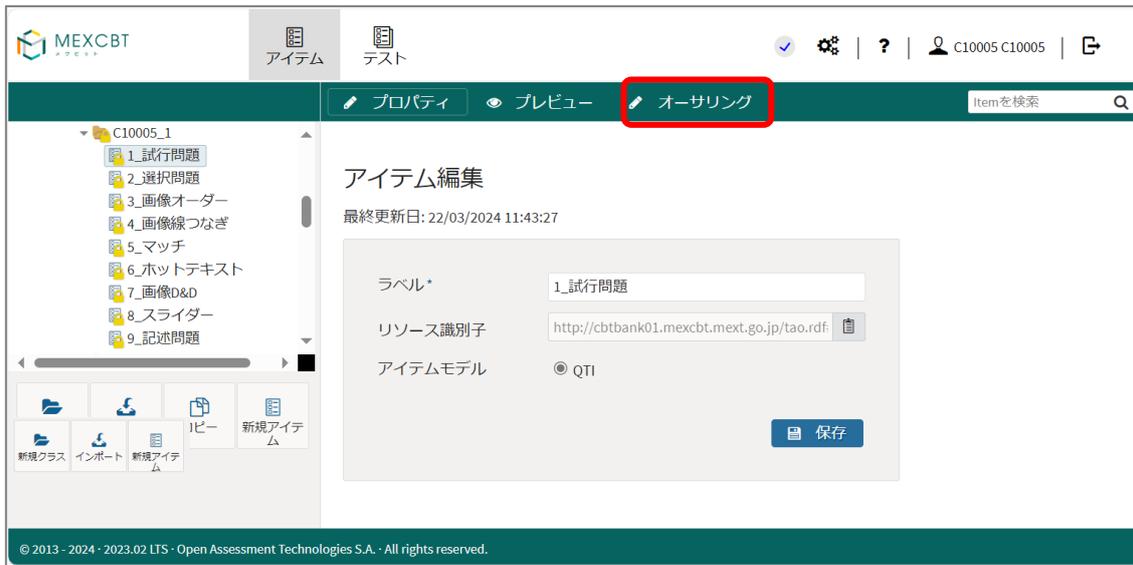
3. 任意の作業フォルダを選択し、左下の「新規アイテム」をクリックしてください。作業フォルダを選択せずにアイテムを作成すると、親フォルダの直下にアイテムが作成されます。作成したアイテムは他の作業フォルダへ移動することが可能です。なお、一度作成したアイテムを削除することはできません。



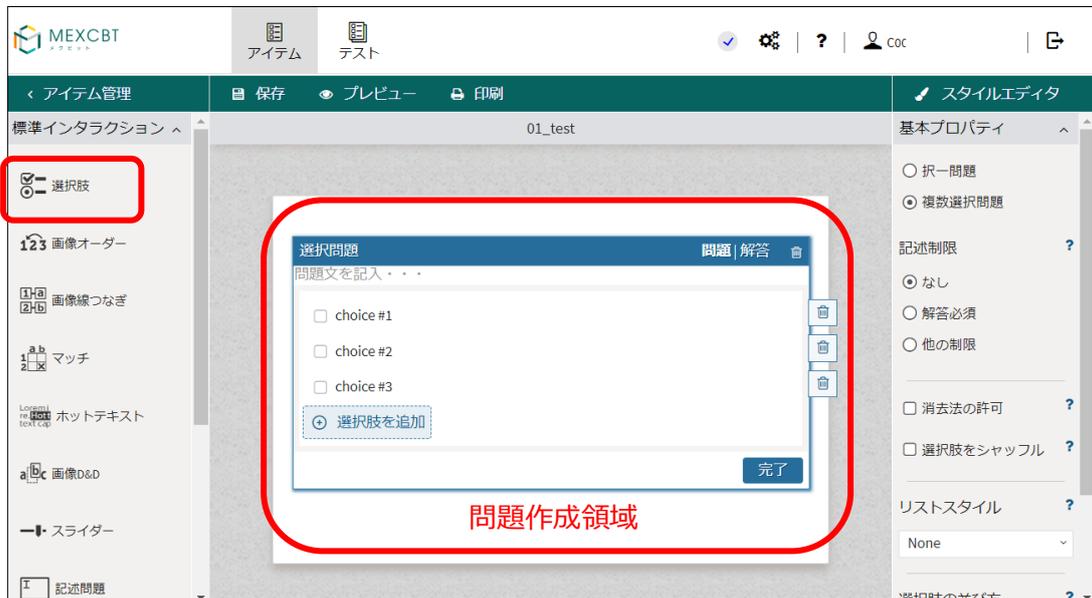
4. ラベル（アイテム名（問題名））を付け、「保存」ボタンをクリックします。ここでは、「1_試行問題」という名称をつけています。「保存」を押すと、「保存されました」というメッセージが表示され、左側の表示名が変更されます。なお、アイテムは、最初に記載されているフォルダ名を削除して、任意のアイテム名にすることが可能です。名称順で表示されるため、先頭に数字等を入力しておく、作業時に探しやすいります。これで問題作成の準備が完了です。



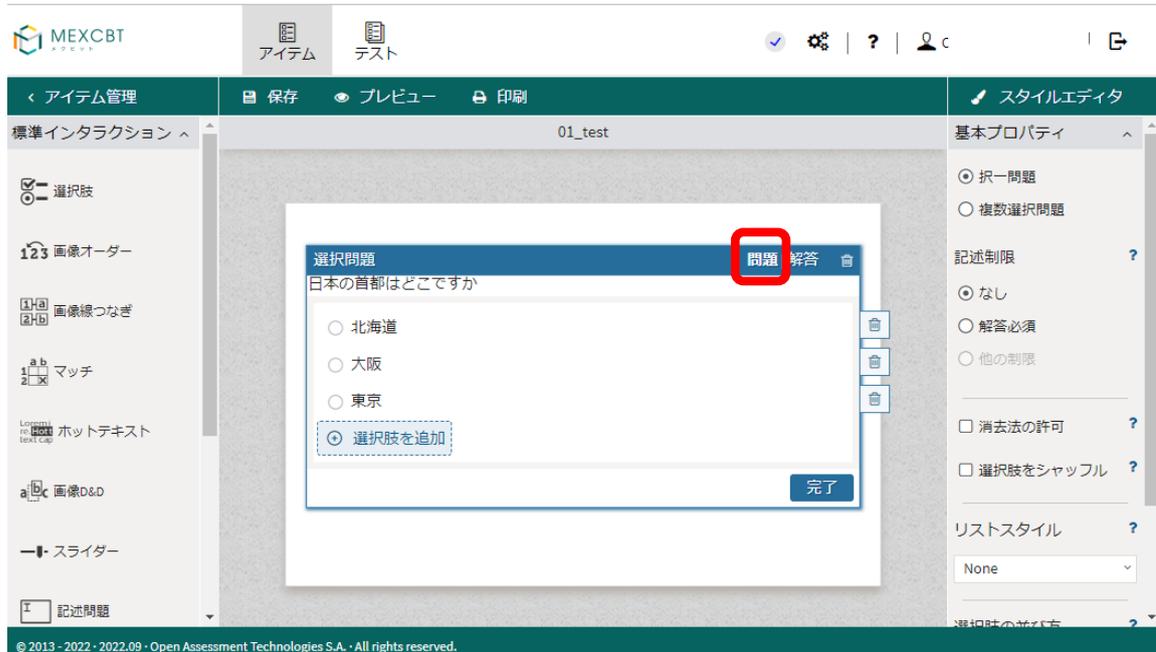
5. 画面上部の「オーサリング」ボタンをクリックします。



6. 問題を作成します。画面左上の「標準インタラクション」のアイコンの中から、作成したい形態のアイコンを問題作成領域にドラッグアンドドロップします。ここでは、「選択肢」のインタラクションを作成します。



7. 任意の問題を作成します。（各問題形式の作成方法は第 3 章～第 14 章を参照してください。）
 ここでは、選択問題のため、問題文と選択肢を入力します。



- ※ なお、アイテム内に画像や動画などを利用する場合は、画像ファイル、動画ファイルのファイル名に全角文字を使用しないでください。（ファイル名には半角英数字のみを使用してください）



<同一アイテムを複数のテストで利用する際の留意事項>

同一アイテムを複数のテストで複数回使用すると MEXCBT への公開申請時にエラーとなります。
 同じアイテムを複数のテストで利用する場合には、アイテムをコピーして別のアイテムとしてテストに組み込んで利用してください。

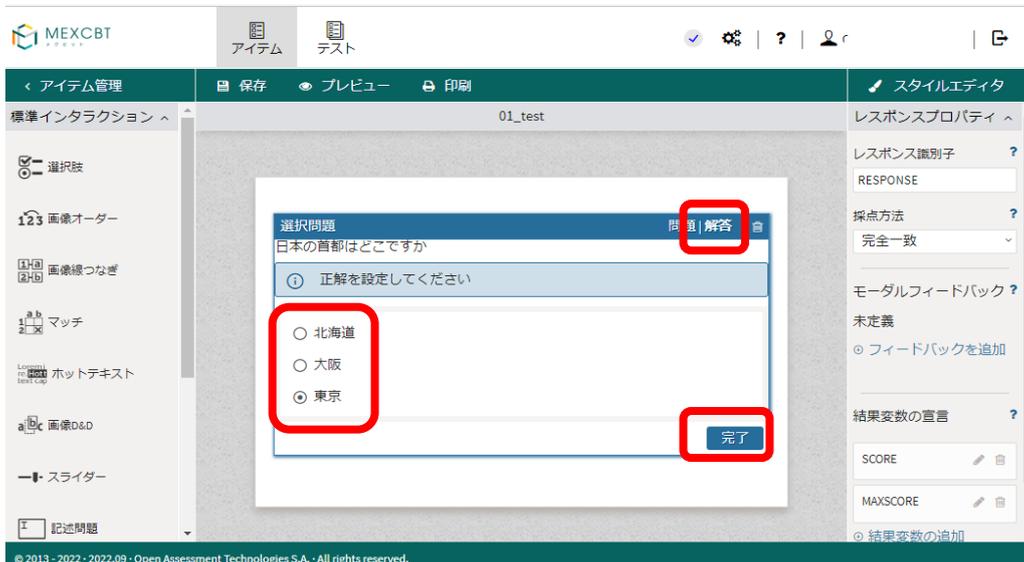
※インタラクションの各アイコンが意味する問題作成形式は以下の通りです。

問題作成形式

アイコン	名称	概要
 選択肢	選択肢	＜複数選択問題／択一問題＞ 選択式問題を作成することができます。選択肢を増やすことも可能です。
 画像オーダー	画像オーダー	＜並び替え問題＞ 並び替え問題を作成することができます。並び替え（順序）問題は、年代順、優先順位、アルファベット順または数字順、サイズ順など、要素を提示し並び替えを行わせ順序についての知識を問う問題です。
 画像線つなぎ	画像線つなぎ	＜組合せ（一対一の関連）問題＞ 組み合わせの問題を作成することができます。組合せ（関連）問題は、受検者が関連する単語やフレーズを一致させる能力を評価します。
 マッチ	マッチ	＜組合せ（正しい箇所）問題＞ 表形式で正しい箇所を選択させる問題を作成することができます。
 ホットテキ...	ホットテキスト	＜チェックボックス式選択問題＞ 選択肢を文中から作成して、正解を選択する問題を作成します。
 画像D&D	画像 D&D	＜ドラッグアンドドロップ問題＞ 選択肢を文中から作成し、正解を選択肢カードとして作成します。ドラッグアンドドロップ形式で解答を行うことが可能です。
 スライダー	スライダー	＜スライダー形式問題＞ スライダー形式で解答する問題を作成することができます。
 拡張テキスト	記述問題	＜長文テキスト（論述）問題＞ 記述式問題を作成することができます。自動採点はできません。
 アップロー...	アップロード	＜ファイルアップロード問題＞ 児童生徒のパソコンで作成したファイルのアップロードが可能です。
 メディア	メディア	＜メディア（動画・音声）問題＞ 動画や音声等のメディアを問題中に搭載することができます。動画・音声を利用したリスニングなどの問題が可能です。

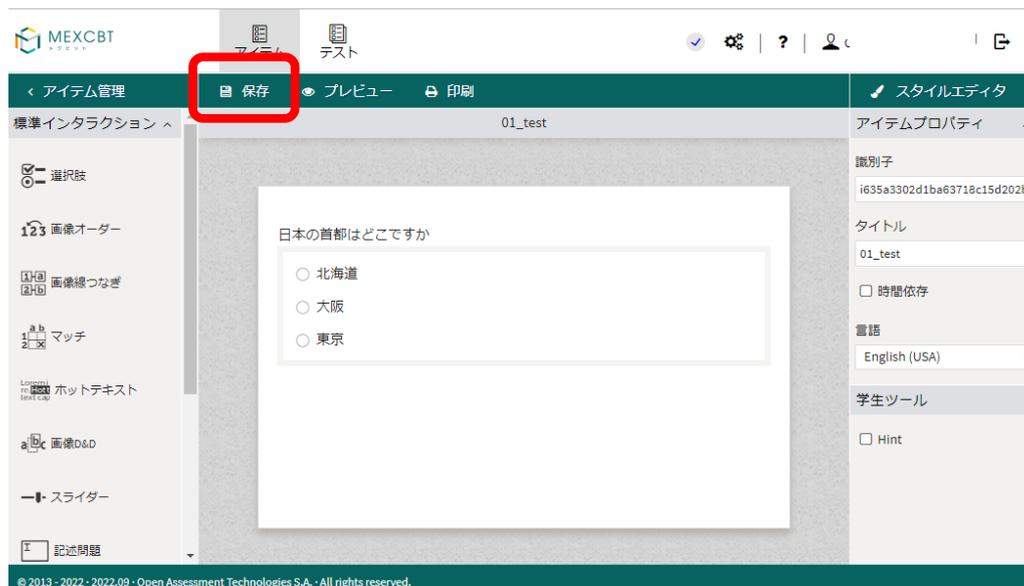
8. 「解答」タブを操作し、正答を定義します。

選択枝問題の場合は、正解である選択枝（ここでは「東京」）にチェックをします。

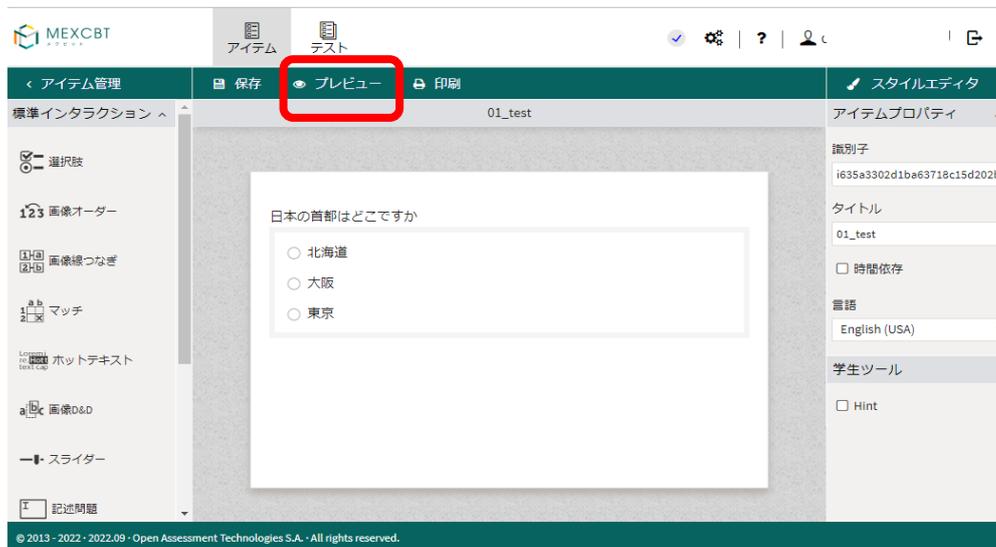


※ 画面右側の「レスポンスプロパティ」にある「採点方法」は正解設定の種類です。「完全一致」に設定すると完全一致で正解の設定、「マップレスポンス」では複数の選択枝に正解と配点を設定することができます。「レスポンス識別子」は、プレビューの際にどの設問に対する応答かを識別するためのものです。アイテムの中に複数の設問を追加すると、RESPONSE_ [連番] といった名前が自動で設定されます。

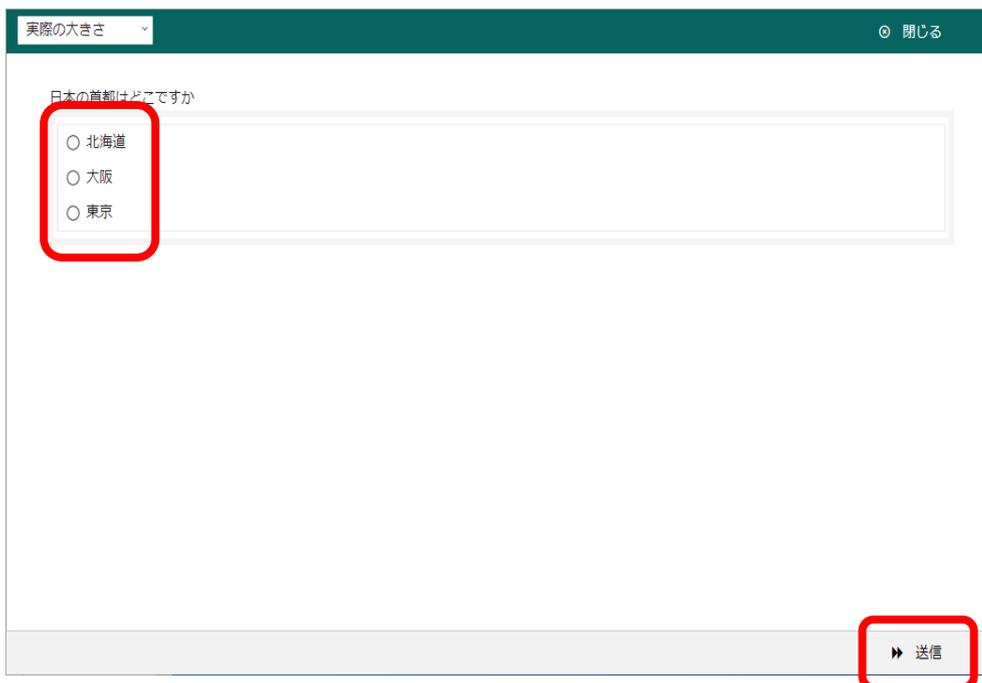
9. 完了をクリックした後、「保存」をクリックします。これでアイテム（問題）の作成が終了しました。



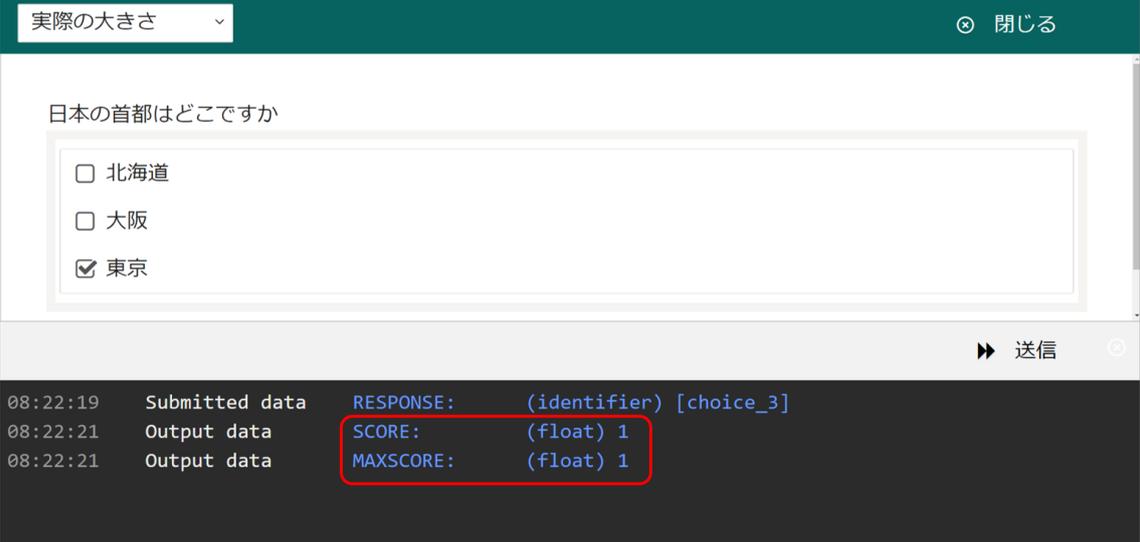
10. 作成が完了した「アイテム」が正しく設定できているか確認を行います。「プレビュー」をクリックします。



11. 問題の解答画面に遷移します。解答を入力し、「送信」をクリックしてください。



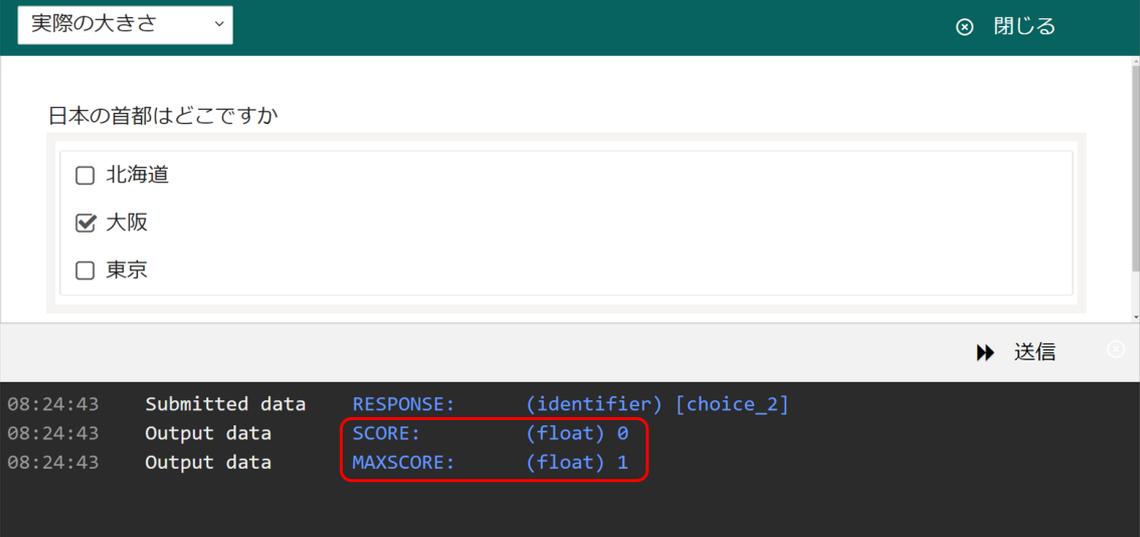
12. 解答の結果が画面下に表示されます。正解を入力した場合は SCORE の値と MAXSCORE の値が等しくなります。



The screenshot shows a quiz window titled "実際の大きさ" (Actual Size) with a "閉じる" (Close) button. The question is "日本の首都はどこですか" (Where is the capital of Japan?). The options are "北海道" (Hokkaido), "大阪" (Osaka), and "東京" (Tokyo). The "東京" option is selected. Below the question, there is a "送信" (Submit) button. The output data shows the following:

```
08:22:19 Submitted data RESPONSE: (identifier) [choice_3]
08:22:21 Output data SCORE: (float) 1
08:22:21 Output data MAXSCORE: (float) 1
```

13. 誤答した場合は、以下のようになります（SCORE の値と MAXSCORE の値が等しくなりません）。記述に誤りが無いか、正解が正しく設定されているかの確認が完了したら、次の手順に進んでください。



The screenshot shows a quiz window titled "実際の大きさ" (Actual Size) with a "閉じる" (Close) button. The question is "日本の首都はどこですか" (Where is the capital of Japan?). The options are "北海道" (Hokkaido), "大阪" (Osaka), and "東京" (Tokyo). The "大阪" option is selected. Below the question, there is a "送信" (Submit) button. The output data shows the following:

```
08:24:43 Submitted data RESPONSE: (identifier) [choice_2]
08:24:43 Output data SCORE: (float) 0
08:24:43 Output data MAXSCORE: (float) 1
```

14. 次に、「アイテム」を児童生徒に配信する単位である「テスト」として設定します。「アイテムが保存されました」というメッセージを確認した後、画面上部の「テスト」をクリックします。手順 1、2と同様に、自分の ID のフォルダを選択し、「新規テスト」をクリックします。※「テスト」では作業フォルダの追加はできません。



ラベル（テスト名）を付け、「保存」ボタンをクリックします。ここでは、「問題演習 小5社会（〇〇市立△△学校 作成問題）」という名称をつけています。「保存」を押すと、「テストは保存されました」というメッセージが表示され、左側の表示名が変更されます。



15. 画面上部の「オーサリング」ボタンをクリックします。



16. 画面左のメニューから、当該テスト（問題演習 小5社会 (〇〇市立△△学校 作成問題)）に登録するアイテム（問題）を選択します。チェックボックスにチェックを入れると、画面上に「+ 選択したアイテムを追加してください。」のメッセージが表示されます。そのメッセージをクリックするとアイテム（問題）がテスト（問題セット）に登録されます。ここでは、先ほど作成した「1_試行問題」を選択しています。



17. 一番上の「歯車ボタン」を押すことで、テストのプロパティ（詳細情報）を設定することができます。タイトルにテスト名を入力します。（ここで入力したタイトルが MEXCBT 上で表示されるテスト名となるため、ここでは必ず正しいテスト名と学校名を入力してください。）

ここでは、「問題演習 小5 社会（〇〇市立△△学校 作成問題）」と記載しています。「歯車ボタン」のプロパティから、制限時間等を設定することもできます（テストの追加設定は第 16 章を参照）。



<ひな形等を利用したテスト作成時の留意事項>

テストを作成する際にテストの ZIP ファイルをインポートして作成する場合、必ず**アイテム名（識別子）**を変更した上でご利用ください。

同じアイテム名（識別子）で作成し、動画や画像ファイルが異なる場合には**ファイル名**を必ず変更してください。同じアイテム名（識別子）で同じファイル名を使用した場合、後から公開申請・承認された方のファイルで上書きされますので、ご注意ください。

以下の場合などには、上記をご留意の上で、問題の作成をお願いいたします。

- ・通常版をひな型として利用してルビ版の問題を作成する場合
- ・問題共有バンクを利用し、他の地方自治体で作成した問題の ZIP ファイルを利用して、テストを組み替えて作成する場合



＜テストの基本設定＞

特にご指定がなければ以下の通りに設定してください。

①【テスト全体の歯車ボタンのプロパティより】

■ 採点方法タブの結果処理方法

⇒「合計スコア」に設定してください。

※結果処理方法で「合計スコア」を設定していないと、「テスト結果をみる」際に正解を解答していても得点が「0」表示となります。自動採点の問題を作成する際には、必ず「合計スコア」を設定してください。

②【testPart-1 の歯車ボタンのプロパティより】

■ ナビゲーション

⇒「非順次式」に設定してください。

（非順次式にした場合、前の問題に戻ることができます。）

■ アイテムセッションコントロール

⇒「スキップを許可する」にチェックを入れてください。

スキップを許可することで、問題に解答しなくても次の問題に進むことができます。（「解答しなければ次の問題に進めない設定」にしたい場合は、チェックを外してください。）

③【Section の歯車ボタンのプロパティより】

■ タイトル、表示可能

⇒「表示可能」にチェックを入れると、受検中に画面のテスト名の右横に「タイトル」に入力したセッション名が表示されます。表示が必要ない場合は、チェックを外してください。

■ サポートツール

⇒「ズーム」にチェックを入れてください。

（ズーム機能によって問題を解く際に、画面の拡大縮小が可能になります。）

① テスト全体の歯車ボタンのプロパティ



② testPart-1 の歯車ボタンのプロパティ





③ Section の歯車ボタンのプロパティ

18. 画面上部の「保存」をクリックすると、テストが保存されます。

これで、「1_試行問題」というアイテム（問題）で構成される、「問題演習 小5 社会（〇〇市立△△学校 作成問題）」というテストの作成が完了しました。保存が完了したら、画面上部の「プレビュー」ボタンから、テストをプレビューすることが可能です。



19. テストのプレビュー画面では、児童生徒に配信した際にどのように表示されるかを確認することができます。

※テストプレビュー画面では、「表示可能」で設定したタイトルは表示されません。



<フォルダ利用時の留意事項>

親フォルダ名（例：「C10005」）は変更しないでください。

アイテム作成時に、親フォルダ内に作業フォルダを作成する際は、先頭の 6 桁の文字列（親フォルダ名と同じ文字列）は変更しないでください。7 文字目以降は任意の名前に変更可能です。

※フォルダ名、桁数は仮のものです。ご自身のフォルダ名、桁数に読み替えて下さい。

<テスト名設定時の留意事項>

テスト名の最後に「学校種学年」(全角)「教科」「学校名（自治体名） 作成問題」を入力してください。

（例：XXXXX 小5 社会（〇〇市立△△学校（〇〇市） 作成問題）（XXXXX は任意の文字、〇〇市立△△学校はテストを作成した学校名【例：コンソ市立コンソ小学校 作成問題】））

テスト名は公開申請時に利用し、同じ名称を記載します。

※テスト名には「'」を使用しないでください（システムの都合上、「'」が反映されないため）

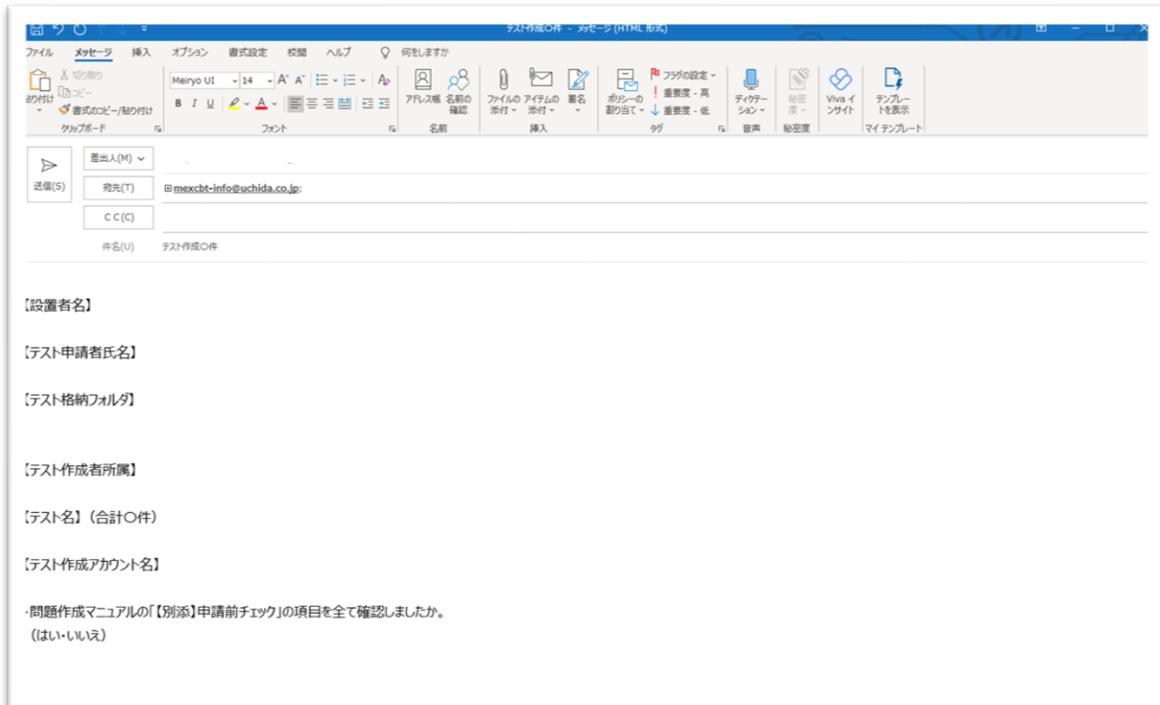
<フォルダ等の表示順>

作業フォルダ、アイテム、テスト等は名前順に表示されます。手動で並び替えても次回ログイン時には元に戻りますので、並び替えを行いたい場合は、フォルダの最初にそれぞれ数字の連番（1, 2, 3 …）等を振るなどしてご対応ください。

2-4 公開申請する

1. テストを作成後、MEXCBT に搭載する前に、コンソーシアム側で内容の確認を行います。**運用支援サイトの「テスト公開申請」**ページに記載されている内容に従い、以下のようにメールを作成し、mexcbt-info@uchida.co.jp 宛に送付してください。

テスト作成サイトにて確認・修正していただきたい点がある場合、送付していただいたメールアドレス宛に修正依頼メールを送付させていただきます。修正点が無い場合、または修正が完了した場合は確認完了メールを送付させていただきます。



メール記載例

件名：テスト作成〇件

【設置者名】

【設置者名】
ご所属の教育委員会名を記載してください。

【テスト申請者氏名】

【テスト申請者氏名】
テストを申請されるご担当者様のお名前を記載してください。

【テスト格納フォルダ】

【テスト格納フォルダ】
作成したテストが格納されているフォルダを記載してください。

【テスト作成者所属】

【テスト作成者所属】
所属されている学校名を記載してください。

【テスト名】（合計〇件）

【テスト名】（合計〇件←「〇」には作成したテストの件数を記載してください。）
例：（g〇〇〇〇 中 2 数学 〇〇市立〇〇学校 作成問題）
作成したテストすべてを記載してください。この時、記載例に必ず従ってください。また実際に作成したテストと同じ名称であるかご確認ください。

【テスト作成アカウント名】

【テスト作成アカウント名】
テスト作成サイトのログイン名を記載してください。
例：g〇〇〇〇

・問題作成マニュアルの
「【別添】申請前チェック」の
項目を全て確認しましたか。
（はい・いいえ）

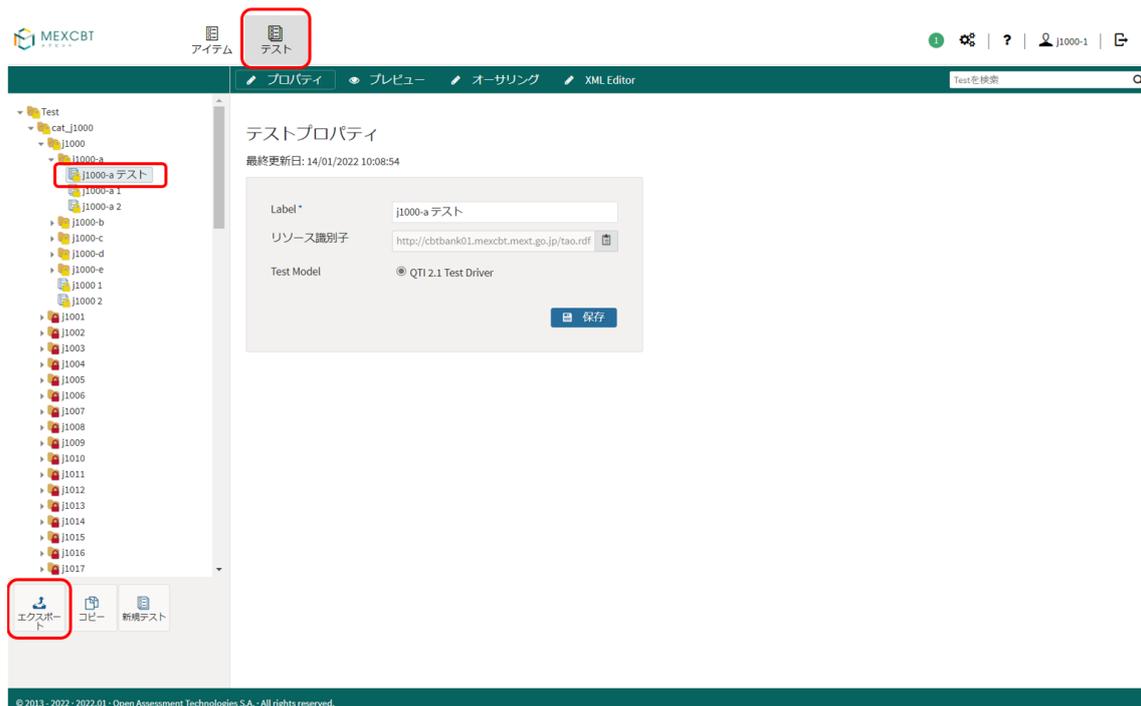
メール記載事項

2. 確認完了メールが届いたら、搭載を行います。MEXCBT に搭載するためには、作成したテストを「テスト作成サイト」から一度エクスポートし、「問題情報管理システム」に登録後、デリバリ承認依頼を行う必要があります。



テスト作成サイトログインページ

3. ログインしてテストタブを選択してください。すると、以下の画面が表示されます。登録したいテストを選択した上で、左下にあるエクスポートを選択します。



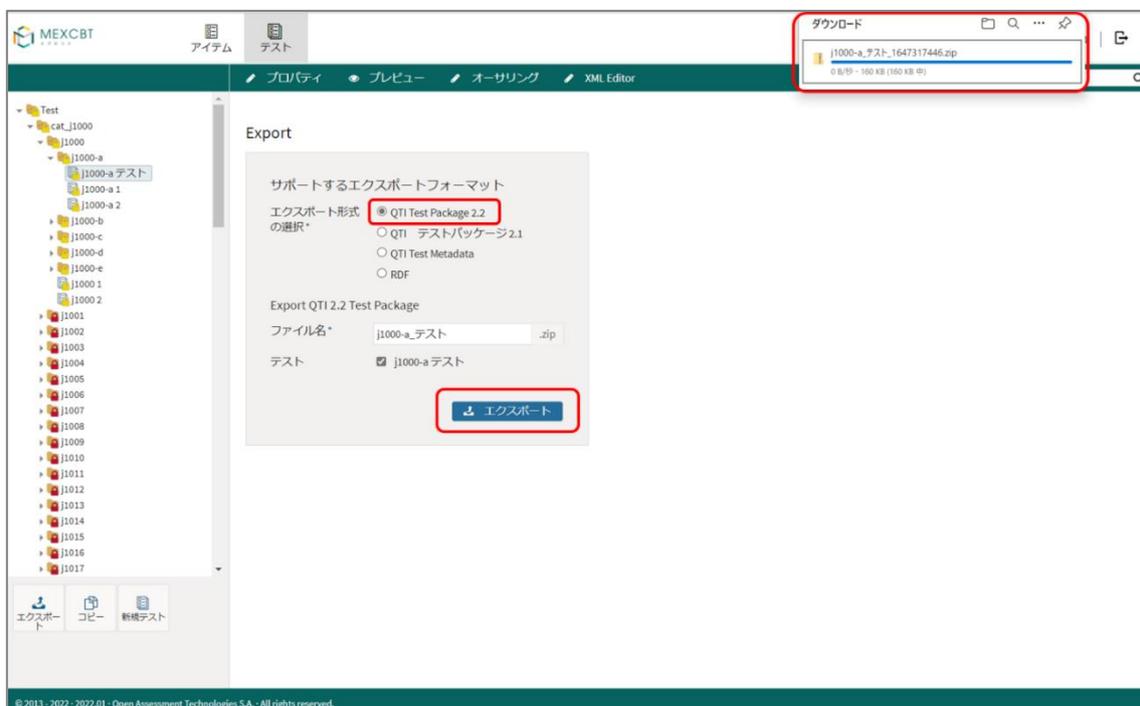
テスト選択画面

4. エクスポートの設定画面が表示されるので、「エクスポート形式の選択」で「QTI Test Package 2.2」が選択されていること、エクスポートするテストの名称であることを確認し、エクスポートを選択します。ファイルのダウンロードに成功したら、エクスポートは完了です。（下記の図は、Microsoft Edge で実行したものです。）

※1.テスト名に日本語と半角英数字が混在する場合、ダウンロードした zip ファイルの名称が文字化けする事がありますが、そのままご使用いただいて問題ありません。

※2.ダウンロードできない場合、以下の点が考えられます。

- ・各アイテム内の画像や動画の容量が **200MB** を超えている。
- ・各アイテム内のメディア（画像や動画、音声等）のファイル名に英数字以外(**日本語等**)が入力されている。



エクスポート画面



<デリバリ承認依頼の留意事項>

デリバリ承認依頼は、必ず設置者が行ってください。

テストを作成する際、使用する引用文や写真、図、イラストの著作権や肖像権については、テスト作成者（またはテスト申請者、その所属団体等）自身が MEXCBT での配信及び実施に係る利用許諾を取得済みのコンテンツであること、もしくは、テスト作成者（またはテスト申請者、その所属団体等）自身が著作権を有するコンテンツであることを必ずご確認ください。

デリバリ承認依頼する際、作成したテストが、第三者の著作権、商標権、肖像権、名誉その他の権利・利益を侵害せず、また合法的なものであることを設置者が必ず確認してください。

デリバリ承認依頼後に、著作権や肖像権、プライバシー等に問題が生じた場合は、デリバリ承認依頼の責任において、当該問題の解決処理を行ってください。

デリバリ承認依頼後、およそ 1 週間でテストとして利用可能になります。また、公開後は、作成者のみにとどまらず、広く全国の教員が閲覧・配信することが可能となります。

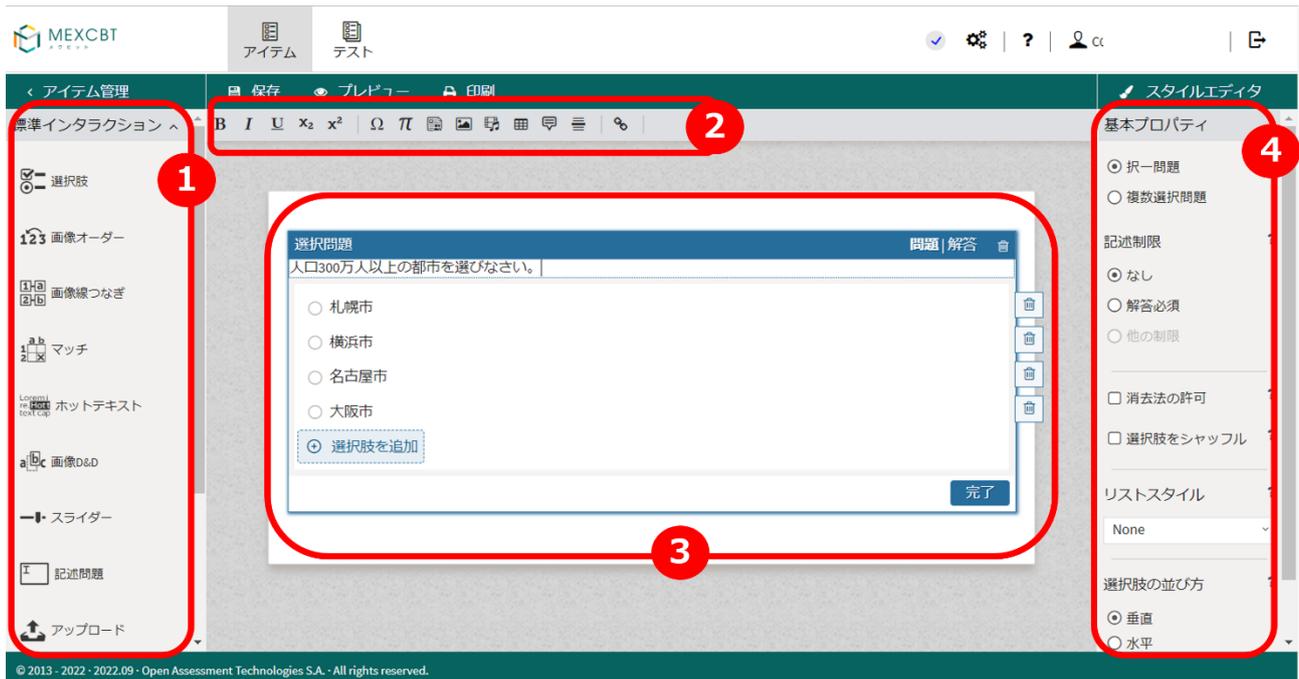
設置者からのデリバリ承認依頼をもって、**上記に同意いただいたものとします。**

2-5 次章以降の構成について

「テスト作成サイト」のアイテムオーサリング画面は以下の通りです。

第 3 章から第 14 章では、2-3 で示された問題作成形式（領域①）毎に、作成方法と、プロパティ設定（領域④） 利用例：選択肢が横に並ぶ／縦に並ぶ等）に分けて記載しています。

第 15 章では各問題形式に共通する内容として、問題文の装飾（領域②）、第 16 章ではテストの追加設定（時間制限の設定等）、第 17 章では解説付き問題の作成方法について、記載しています。



「テスト作成サイト」のアイテムオーサリング画面

区分	概要
領域①	問題作成形式がアイコンで一覧化されています。作成したいアイコンを領域③にドラッグして問題を作成します。上記では、「選択」がドラッグされている状態です。本書では、「標準インタラクション」に位置付けられたアイコンと、「インライン」に位置付けられたアイコンを、典型的な問題作成形式として記載しています。 「グラフィック」及び「カスタム(PCI)」については、「標準インタラクション」や「インライン」に比べ作成難易度が高くなるため、まずは、「標準インタラクション」及び「インライン」を試行するようにしてください。
領域②	領域③で作成した問題文の太字・下線・斜体等を変更することができます。
領域③	問題を作成する領域です。問題の作成→正答の定義を行い、システムに登録します。
領域④	問題形式以外の各種設定を行うことができます。例) 選択肢が横に並ぶ／縦に並ぶ等

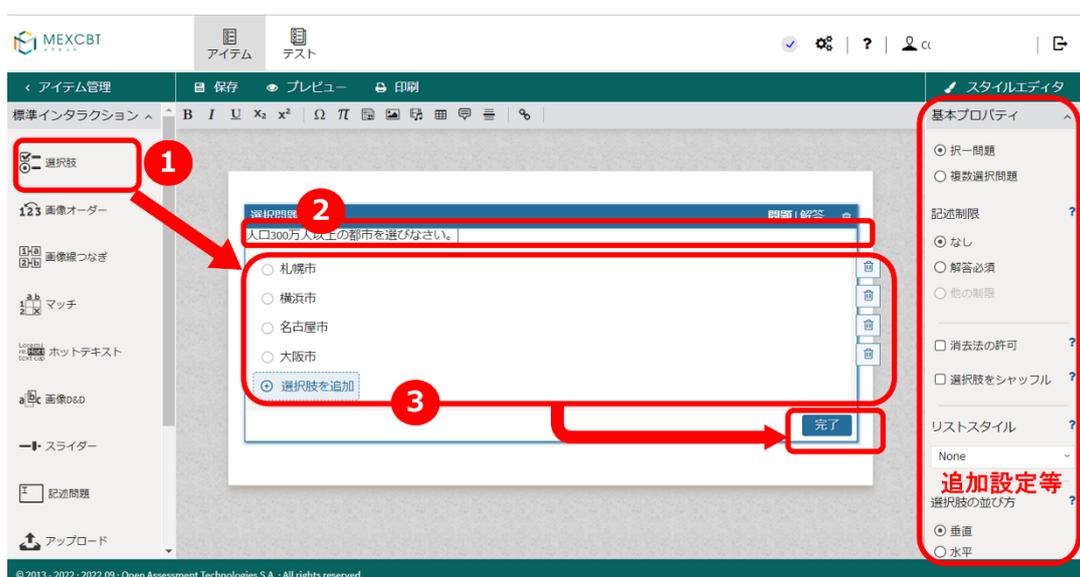
第2章 「選択肢」問題の作成

3-1 完成イメージ

「選択肢」問題の完成イメージは以下の通りです。

「選択肢」問題のイメージ

3-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「選択肢」アイコンを、ドラッグ＆ドロップします。これにより、新しい「選択肢」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 選択肢を入力します。「+ 選択肢を追加」をクリックすると、さらに追加することができます。選択肢を削除するには、ゴミ箱アイコンをクリックします。
次に「完了」をクリックします。



- 4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正解としたい選択肢をクリックして選択します。選択肢の左のチェックボックスにチェックマークが記入されているものが正解として設定されます。正解と設定されている選択肢が1つの場合は、その選択肢1つだけを選択した場合のみ正解となります。同様に、正解と設定されている選択肢が2つ以上の場合は、その選択肢を同時に選択した場合のみ正解となります。また、「3-3 追加設定等」の「選択肢毎に配点を設定したい場合」に記載の通り選択肢毎に配点を設定することにより、部分点などを設定できるようになります。
- 5 「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします。

3-3 追加設定等

基本プロパティ

<選択肢をシャッフルさせたい場合>

- 「選択肢をシャッフル」にチェックを入れると、受検毎、受検者毎に選択肢がランダムに入れ替わりま
す。シャッフルを選択すると選択肢部分にランダムマーク（）が表示されます。
- このマークを更にクリックするとピンマークが表示され、その選択肢の表示位置は固定されます。

<選択できる選択肢の数に制限を設けたい場合>

- 「選択肢の選択回数」で、「最小」にチェックを入れると、その設問で選択しなくてはならない数の最小
値を設定できます。「最大」にチェックを入れると、その設問で選択しなくてはならない数の最大値を設
定することができます。
- 「選択肢の選択回数」の設定を行うと、設問に解答する際に、問題文の下に選択肢の条件が表示
されます。条件を満たすとiマークがチェックマークに変わります。また、選択しなくてはならない数の最

大値を2以上に設定した場合、それより多く選択しようとする「選択肢の最大に到達しました。」と表示されます。

東日本の都道府県を二つ選んでください。 東日本の都道府県を二つ選んでください。

2個選択してください (Error state with info icon)

2個選択してください (Success state with checkmark icon)

宮城
東京
大阪
福岡

宮城
東京
大阪
福岡

<解答する際に選択肢を除外できるようにしたい場合>

- 「消去法の許可」にチェックを入れると、設問に解答する際に、画像の様に「除外」チェックボックスが表示され、チェックを入れることで違うと思う選択肢を除外して考えることができるようになります。もう一度チェックボックスをクリックすることで除外が解除されます。

人口300万^除以上の都市を選びなさい。
外

札幌市
横浜市
名古屋市
大阪市

<選択肢に行頭記号を付けたい場合>

- 「リストスタイル」で、プルダウンをクリックすることで行頭記号の設定を行うことができます。

<選択肢の並び方を変更したい場合>

- 「選択肢の並び方」で、「垂直」を選択すると選択肢が垂直に並びます。「水平」を選択すると、選択肢が水平に並びます。

レスポンスプロパティ

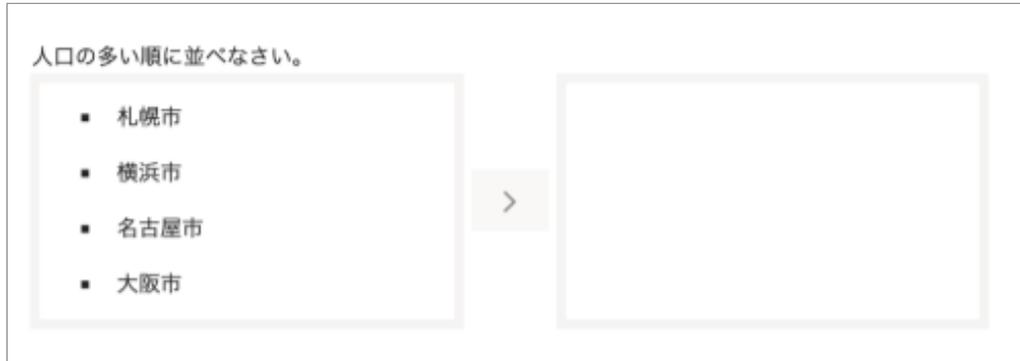
<選択肢毎に配点したい場合>

- 「採点方法」で、「マップレスポンス」を選択します。選択すると選択肢部分に配点の入力欄が表示されるので、配点を入力し設定することができます。

第3章 「画像オーダー」問題の作成

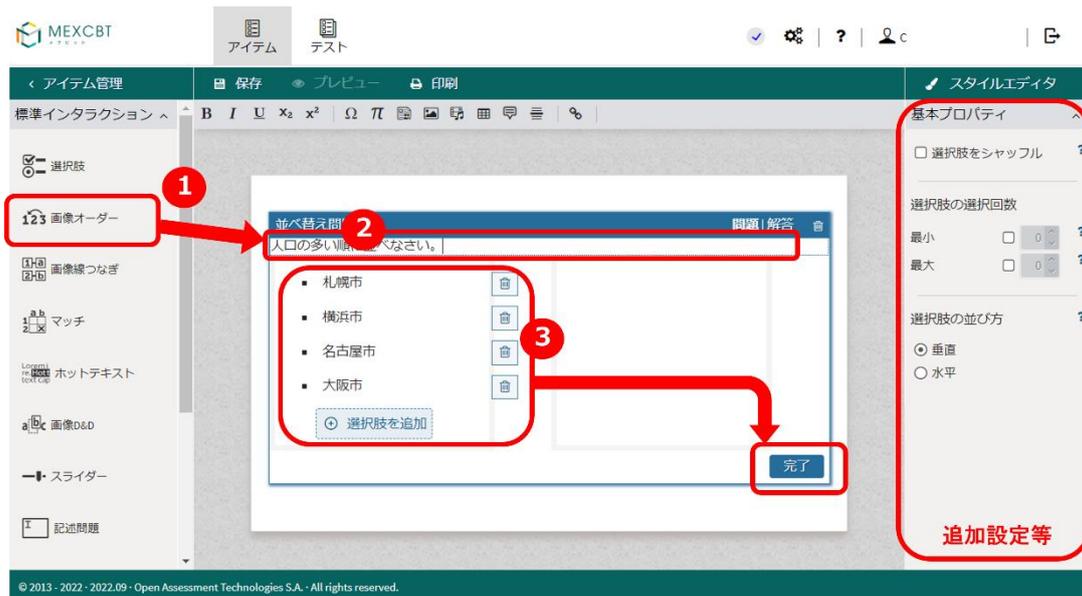
4-1 完成イメージ

「画像オーダー」問題の完成イメージは以下の通りです。

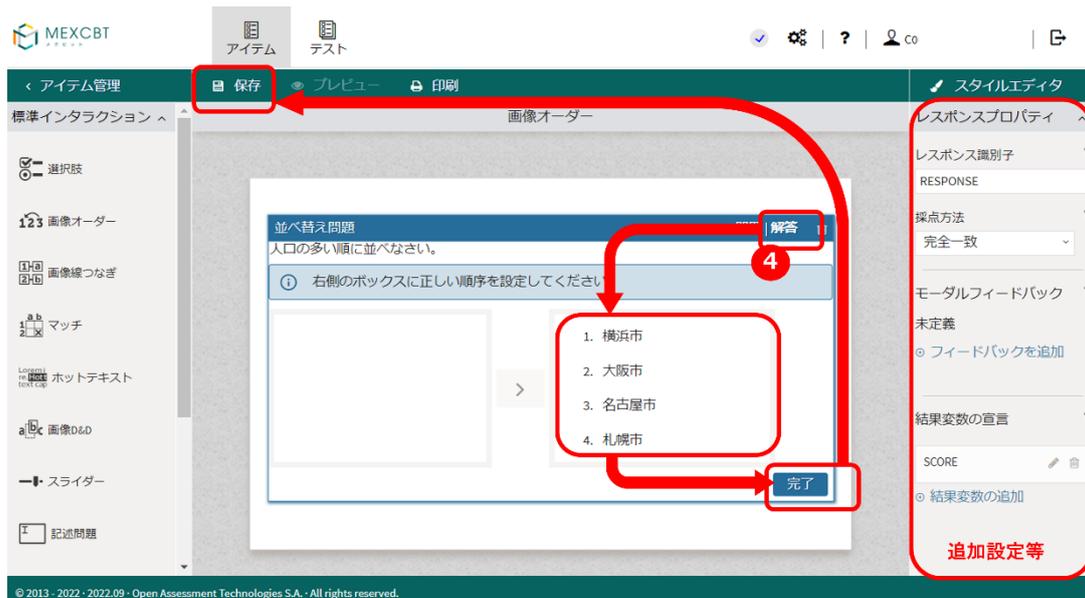


「画像オーダー」問題のイメージ

4-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「画像オーダー」アイコンを、ドラッグ&ドロップします。これにより、新しい「画像オーダー」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。また、上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 選択肢を入力します。「+ 選択肢を追加」をクリックすると、さらに追加することができます。選択肢を削除するには、ゴミ箱アイコンをクリックします。
次に「完了」をクリックします。



- 4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。次に正解の選択肢をクリックして正解を選択し、「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします。

4-3 追加設定等

基本プロパティ

<選択肢をシャッフルさせたい場合>

- 「選択肢をシャッフル」にチェックを入れると、受検毎、受検者毎に選択肢がランダムに入れ替わります。シャッフルを選択すると選択肢部分にランダムマークが表示されます。
- このマークを更にクリックするとピンマーク () が表示され、その選択肢の表示位置は固定されます。

<選択肢の並び方を変更したい場合>

- 「選択肢の並び方」で、「垂直」を選択すると選択肢が垂直に並びます。「水平」を選択すると、選択肢が水平に並びます。

<並べ替えに利用する選択肢の数に制限を設けたい場合>

- 「選択肢の選択回数」で、「最小」にチェックを入れると、その設問で並べ替えに利用しなくてはならない選択肢の数の最小値を設定できます。同様に、「最大」にチェックを入れると、その設問で選択しなくてはならない選択肢の数の最大値を設定することができます。

第4章 「画像線つなぎ」問題の作成

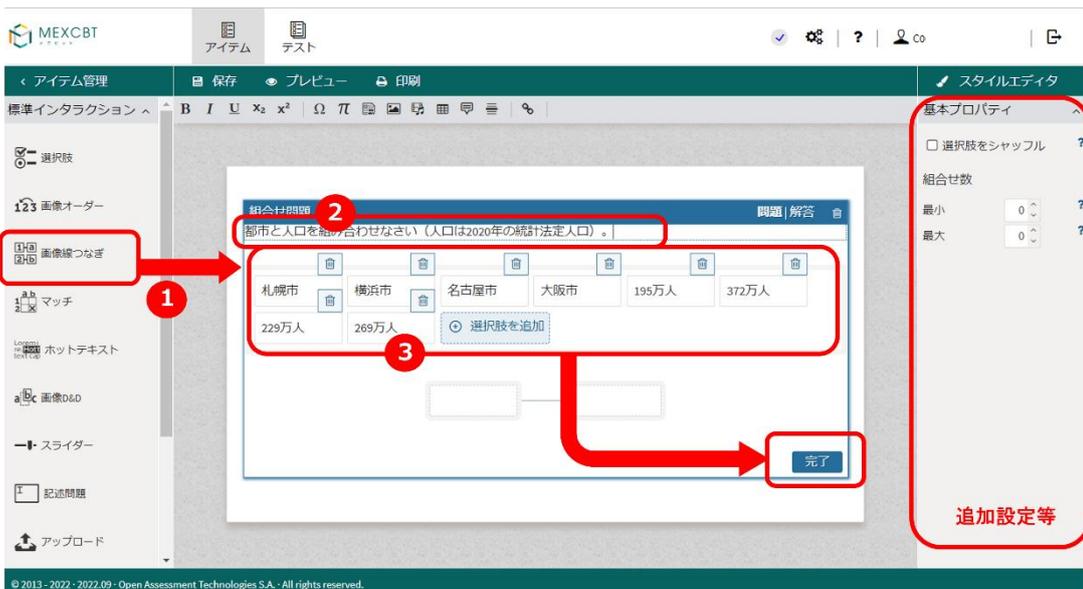
5-1 完成イメージ

「画像線つなぎ」問題の完成イメージは以下の通りです。

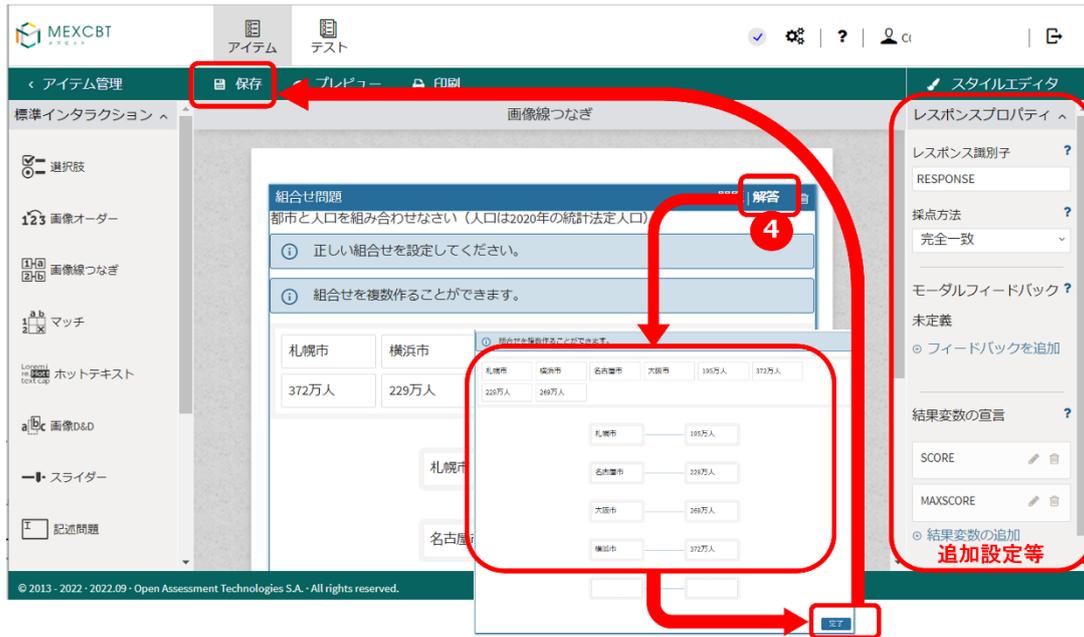


「画像線つなぎ」問題のイメージ

5-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「画像線つなぎ」アイコンを、ドラッグ＆ドロップします。これにより、新しい「画像線つなぎ」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。また、上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 選択肢を入力します。「+ 選択肢を追加」をクリックすると、さらに追加することができます。選択肢を削除するには、ゴミ箱アイコンをクリックします。次に「完了」をクリックします。



- 4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。次に正解の組み合わせを設定し、「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします。

5-3 追加設定等

基本プロパティ

<選択肢をシャッフルさせたい場合>

- 「選択肢をシャッフル」にチェックを入れると、受検毎、受検者毎に選択肢がランダムに入れ替わります。シャッフルを選択すると選択肢部分にランダムマークが表示されます。
- このマークを更にクリックするとピンマークが表示され、その選択肢の表示位置は固定されます。

<選択数を制限したい場合>

- 「組合せ数」で、「最小」「最大」を設定します。各々「0」は無制限です。

レスポンスプロパティ

<選択肢毎に配点したい場合>

- 「採点方法」で、「マップレスポンス」を選択します。選択すると選択肢部分に配点の入力欄が表示されるので、配点を入力し設定します。

第5章 「マッチ」問題の作成

6-1 完成イメージ

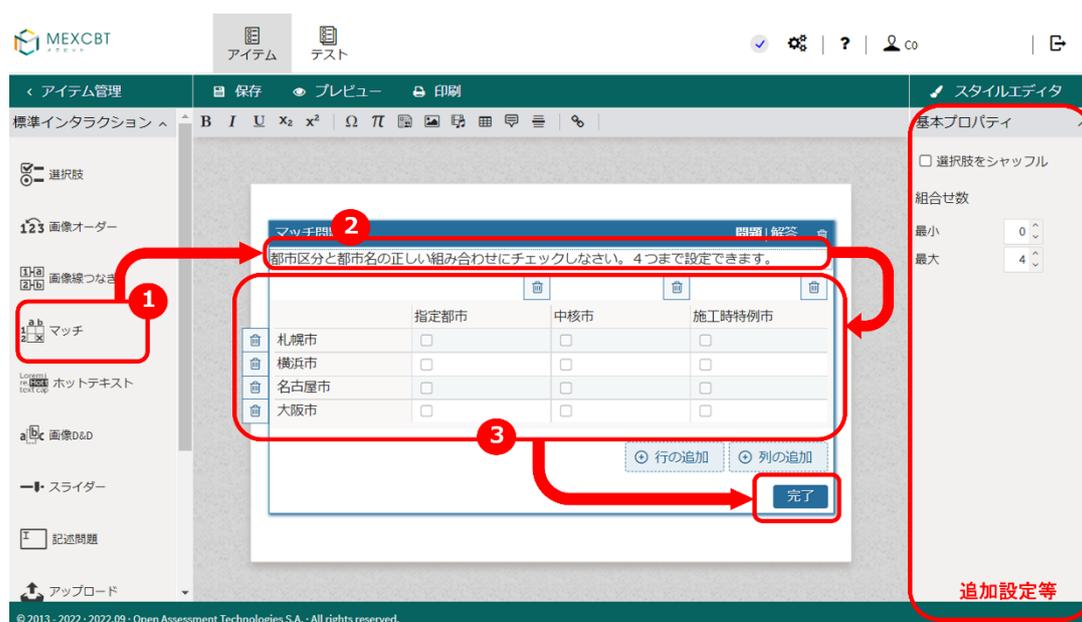
「マッチ」問題の完成イメージは以下の通りです。組合せ（正しい箇所）問題が提示されます。

都市区分と都市名の正しい組み合わせにチェックしなさい。4つまで指定できます。

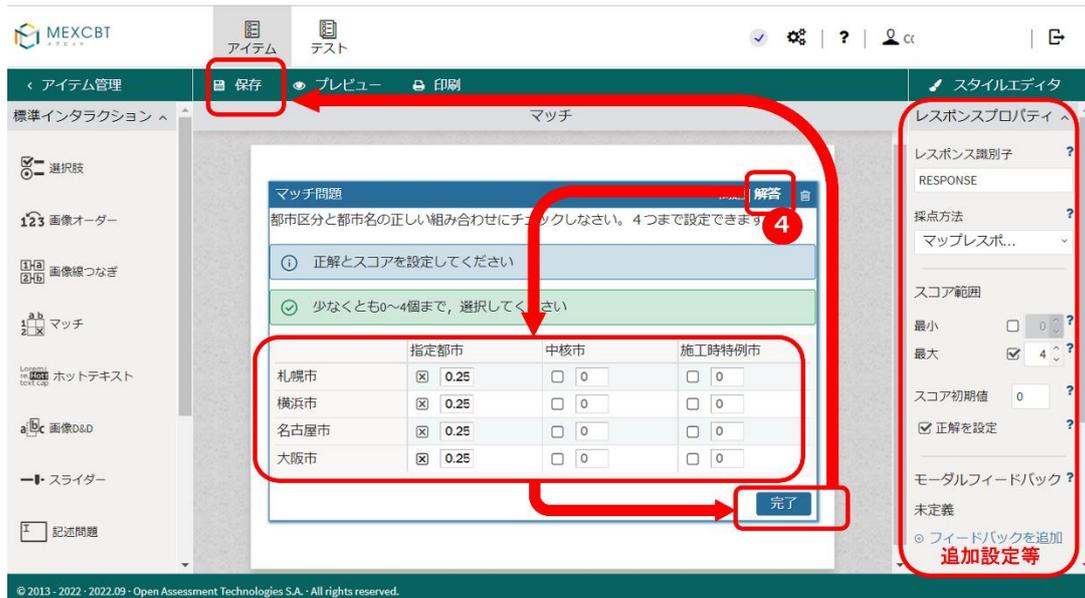
	指定都市	中核市	施行時特例市
札幌市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
横浜市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
名古屋市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大阪市	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「マッチ」問題のイメージ

6-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「マッチ」アイコンを、ドラッグ＆ドロップします。これにより、新しい「マッチ」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 行と列を追加します。「行の追加」をクリックすると、さらに行を、「列の追加」をクリックすると、さらに列を追加することができます。行と列をそれぞれ削除するには、ゴミ箱アイコンをクリックします。次に「完了」をクリックします。



- 4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。答えのチェックボックスにチェックを入れ、「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします。

6-3 追加設定等

基本プロパティ

<選択肢をシャッフルさせたい場合>

- 「選択肢をシャッフル」にチェックを入れると、受検毎、受検者毎に選択肢がランダムに入れ替わります。シャッフルを選択すると選択肢部分にランダムマークが表示されます。
- このマークを更にクリックするとピンマークが表示され、その選択肢の表示位置は固定されます。

<選択数を制限したい場合>

- 「組合せ数」で、「最小」「最大」を設定します。各々「0」は無制限です。

レスポンスプロパティ

<選択肢毎に配点したい場合>

- 「採点方法」で、「マップレスポンス」を選択します。選択すると選択肢部分に配点の入力欄が表示されるので、配点を入力し設定します。

第6章 「ホットテキスト」問題の作成

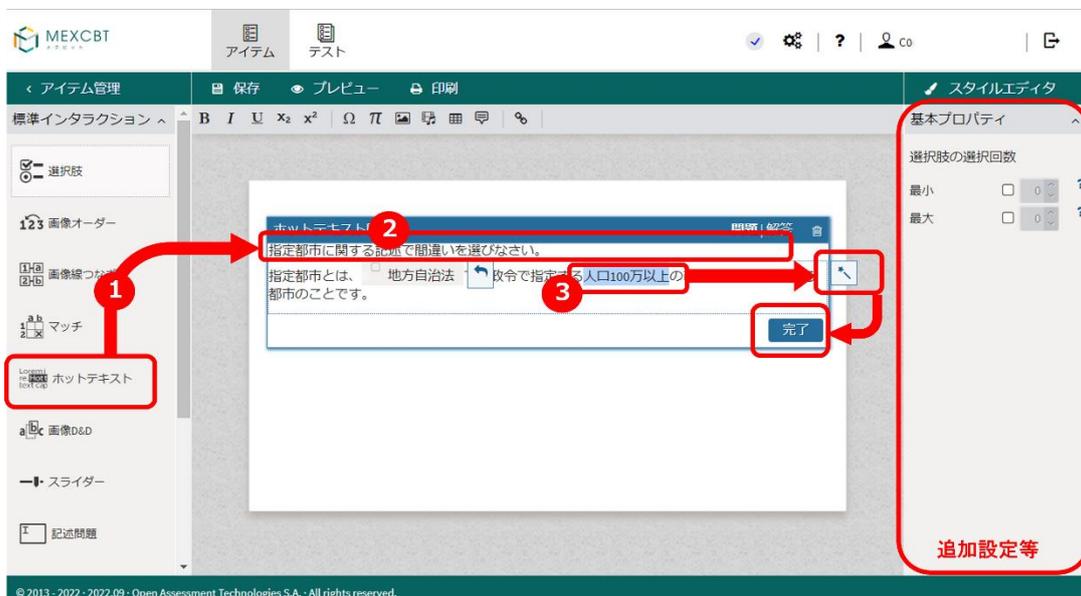
7-1 完成イメージ

「ホットテキスト」問題の完成イメージは以下の通りです。

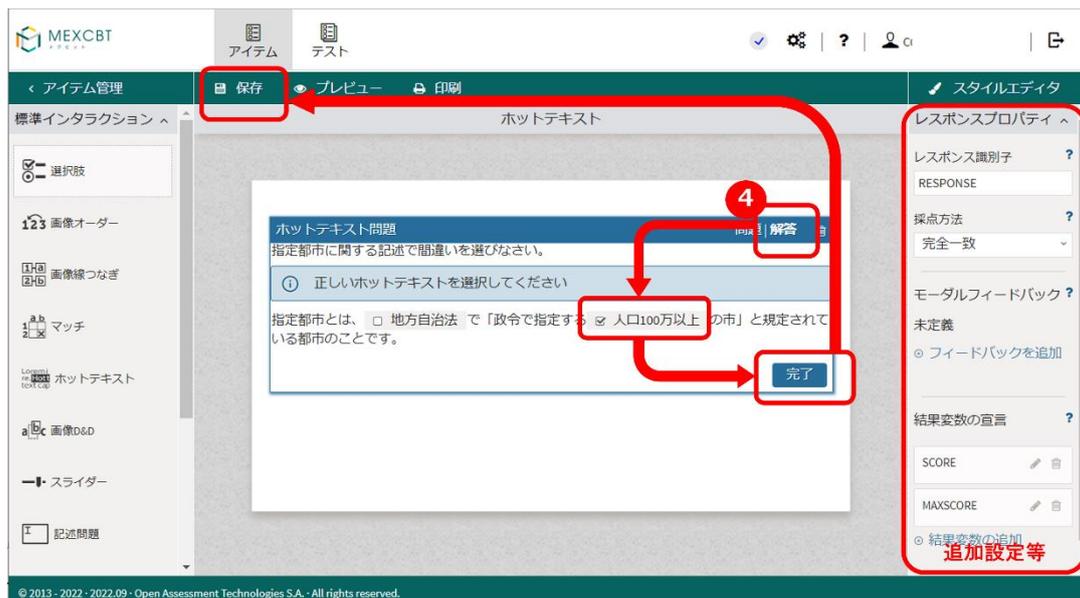


「ホットテキスト」問題のイメージ

7-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「ホットテキスト」アイコンを、ドラッグ&ドロップします。これにより、新しい「ホットテキスト」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 問題文を作成し、ホットテキストにしたい文字をドラッグして選択状態にし、次に「ホットテキスト作成」をクリックします（  ）。次に「完了」をクリックします。



4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。選択肢をクリックして正解を選択します。

解答を設定し、「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします。

7-3 追加設定等

基本プロパティ

<選択数を制限したい場合>

- 「選択肢の選択回数」で、「最小」「最大」を設定します。各々「0」は無制限です。

レスポンスプロパティ

<選択肢毎に配点したい場合>

- 「採点方法」で、「マップレスポンス」を選択します。選択すると選択肢部分に配点の入力欄が表示されるので、配点を入力し設定します。

第7章 「画像 D&D」問題の作成

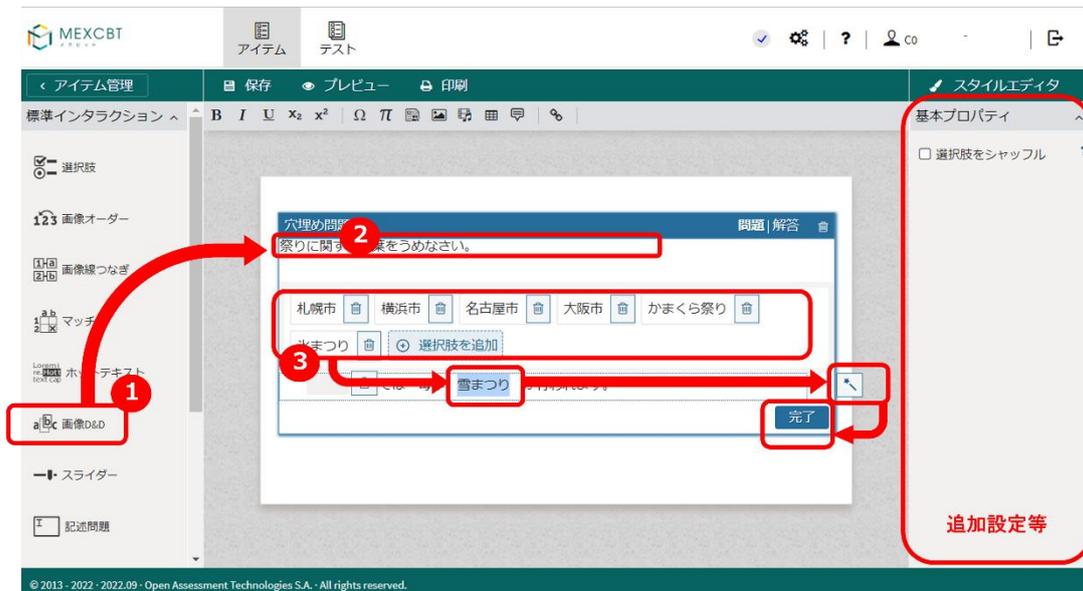
8-1 完成イメージ

「画像 D&D」問題の完成イメージは以下の通りです。



「画像 D&D」問題のイメージ

8-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「画像 D&D」アイコンを、ドラッグ & ドロップします。これにより、新しい「画像 D&D」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 解答の文章を作成します。次に選択肢を作成します。解答の文章の中で、穴埋めにしたい文字をドラッグして選択状態とし、「穴埋め作成」をクリックします。() 選択した文字は、選択肢に追加されます。次に「完了」をクリックします。
- 4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。次に「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします。

8-3 追加設定等

基本プロパティ

＜選択肢をシャッフルさせたい場合＞

- 「選択肢をシャッフル」にチェックを入れると、受検毎、受検者毎に選択肢がランダムに入れ替わりま

す。

レスポンスプロパティ

＜解答欄毎に配点したい場合＞

- 「採点方法」で、「マップレスポンス」を選択します。選択すると解答の空白部分にペアスコアの設定欄が表示されます。ここで、ペアスコアの配点を設定できます。



＜穴埋め問題作成時の留意事項＞

画像 D&D（穴埋め問題）の穴埋めを作成する際は、作成した穴埋めが非表示となる場合がありますので、穴埋め欄の前にスペースを入れる、もしくは「こたえ」などの文言の後に続けて作成してください。

第8章 「スライダー」問題の作成

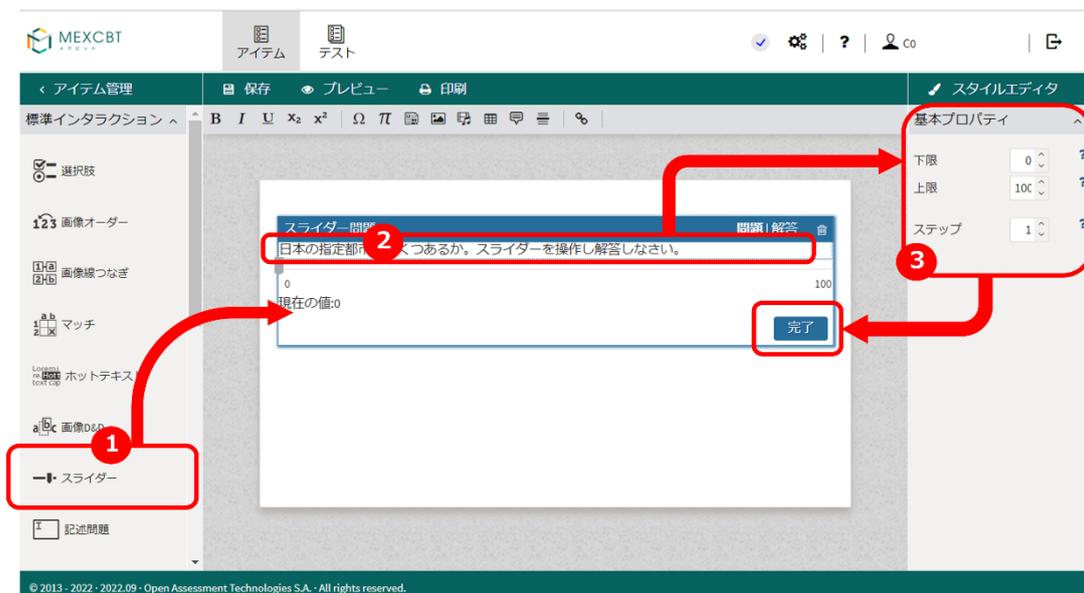
9-1 完成イメージ

「スライダー」問題の完成イメージは以下の通りです。

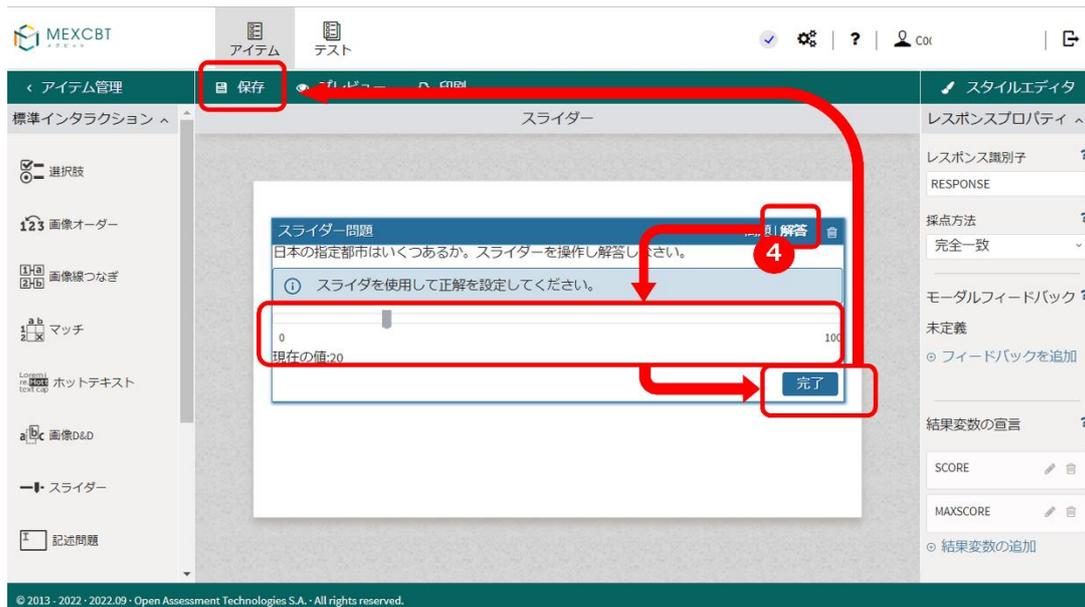


「スライダー」問題のイメージ

9-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「スライダー」アイコンを、ドラッグ＆ドロップします。これにより、新しい「スライダー」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 スライダーの数値の下限や上限を設定します。
次に「完了」をクリックします。



- 4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。スライダーを操作し、正解を設定します。
次に「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします。

9-3 追加設定等

基本プロパティ

<スライダーの移動幅を設定したい場合>

- 「ステップ」の値を変更すると、スライダーの最小の移動幅を設定することができます。

第9章 「記述問題」問題の作成

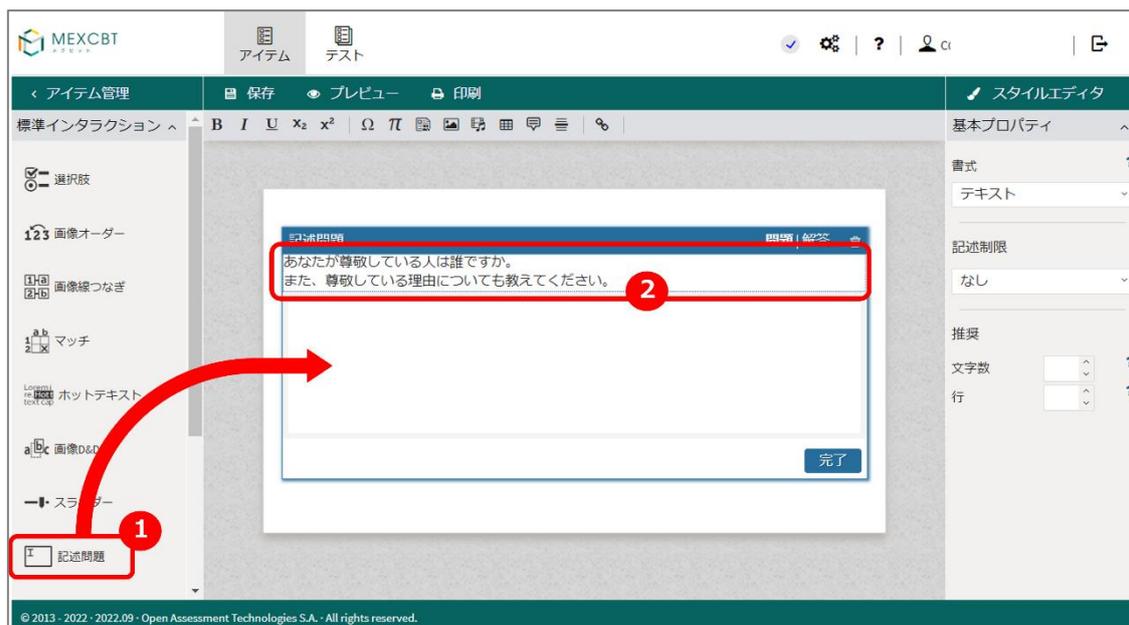
10-1 完成イメージ

「記述問題」問題の完成イメージは以下の通りです。

あなたが尊敬している人は誰ですか。また、尊敬している理由についても教えてください。

「記述問題」問題のイメージ

10-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「記述問題」アイコンを、ドラッグ & ドロップします。これにより、新しい「記述問題」が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。通常、拡張テキスト問題は、意見や理由を問う問題に適していますが、自動採点ができない問題（記述問題）であるため、ここでは「解答」タブから正解の設定を行いません。

- 3 「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします（適切な解答が入力されたかどうかはテストの採点者が判断します）。

・記述問題を使用する際の留意事項

記述問題（記述式問題等）を含むアイテムを作成する場合は、システムの仕様上、次の点についてご注意ください。



<留意事項>

○短答式記述問題の正答設定について

- ・全角・半角の各パターンでの設定が不要になりました。
- ・解答した内容が、半角に自動で変換されますので、英数字と記号（※）については、半角での正答設定を行ってください。

※変換対象となる記号は、以下の通りです。

置換前の文字列

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
 ! # \$ % & () * + , - . / : ; < = > ? @ [] ^ _ ` { | } --
 全角スペース

置換後の文字列

0123456789
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
 !#\$%&()*+,-./:;<=>@[^_`{|}---
 半角スペース

※なお、令和5年2月24日以前に搭載された問題についても、同様に解答は半角に変換されますので、全角のみの正答設定を行っている場合は不正解となりますのでご注意ください。令和5年2月24日以前に搭載したテストを引き続きご利用される場合には、正答設定を半角に修正し、MEXCBTに再登載する必要があります。希望される場合にはコンソーシアム宛て、ご相談ください。

○長文の記述問題において自動採点をする事ができない問題を使用する場合は、解答設定をしない、もしくは採点方法を「なし」にしてご対応ください。また「なし」に設定した場合は、MAXSCOREが表示されないため、記述問題と同じアイテム内にあるほかの問題との合計得点が表示されなくなることをご承知おきください。

※長文の記述問題を「MEXCBT 記述式採点システム」を利用し手動採点する問題を作成する場合、複数の選択肢から一つ選んで、選んだ理由を記述するタイプの問題を作成する際は、同一アイテム内に選択肢の問題と記述問題を作成しないでください。アイテムを分けるか、記述問題の解答欄に選択肢と記述の両方を記入する作りとしてください。

第10章 「アップロード」問題の作成

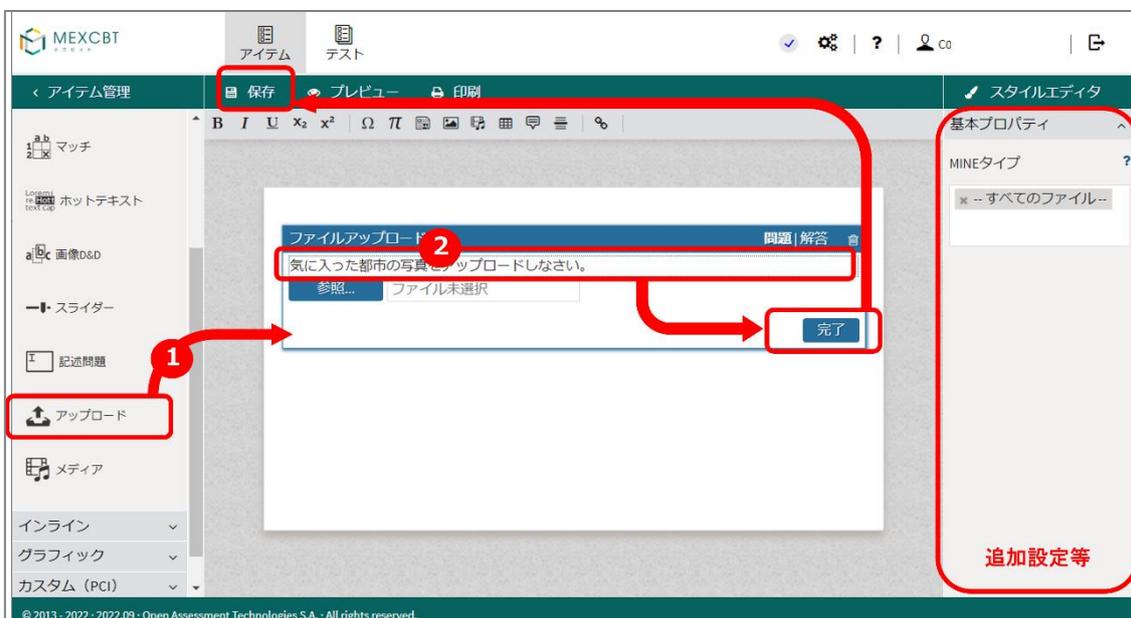
11-1 完成イメージ

「アップロード」問題の完成イメージは以下の通りです。



「アップロード」問題のイメージ

11-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「アップロード」アイコンを、ドラッグ&ドロップします。これにより、新しい「アップロード」問題が作成されます。
- 2 設問欄に問題文を入力します。上部の編集パレットで、テキストを太字または斜体にしたり、画像、数式を挿入したりすることができます。
- 3 「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします（自動採点機能はなく、適切なファイルがアップロードされたかどうかはテストの採点者が判断します）。

11-3 追加設定等

基本プロパティ

＜アップロードするファイルの種類を限定したい場合＞

- 「MINE タイプ」をクリックし、その中から任意のファイル形式を選択することで、アップロードするファイルの種類を限定することができます。

第11章 「メディア」問題の作成

12-1 完成イメージ

「メディア」問題の完成イメージは以下の通りです（下に「選択」問題を追加しています）。

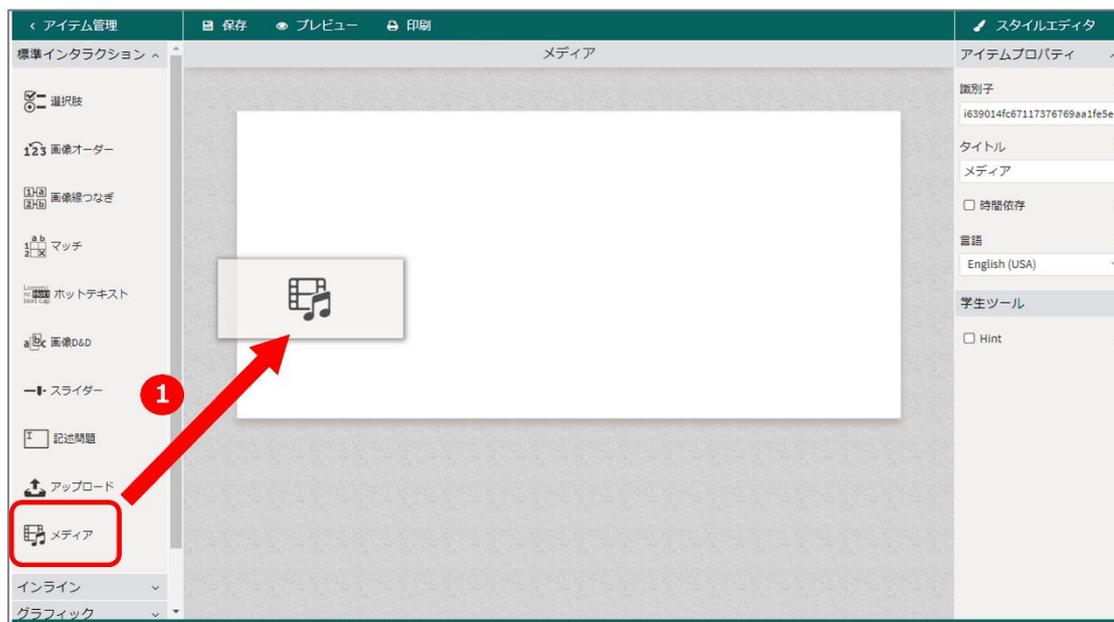
※問題に画像を挿入したい場合は「メディア」ではなく、各問題の上部パレットより挿入してください。



「メディア」問題のイメージ

12-2 基本的な作成方法

- 1 左側のメニューから「メディア」アイコンを、ドラッグ&ドロップします。これにより、新しい「メディア」問題が作成されます。

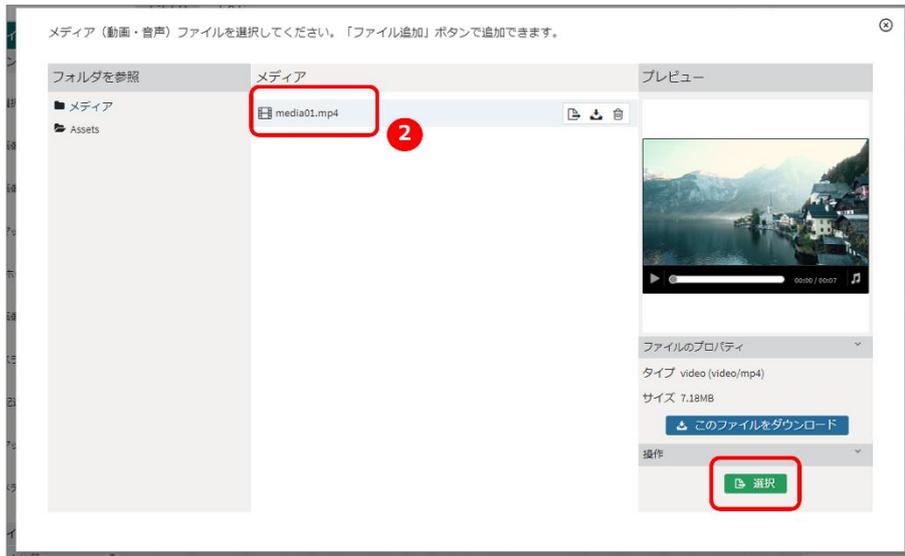


2 メディアファイルを指定し、次に「選択」をクリックします。

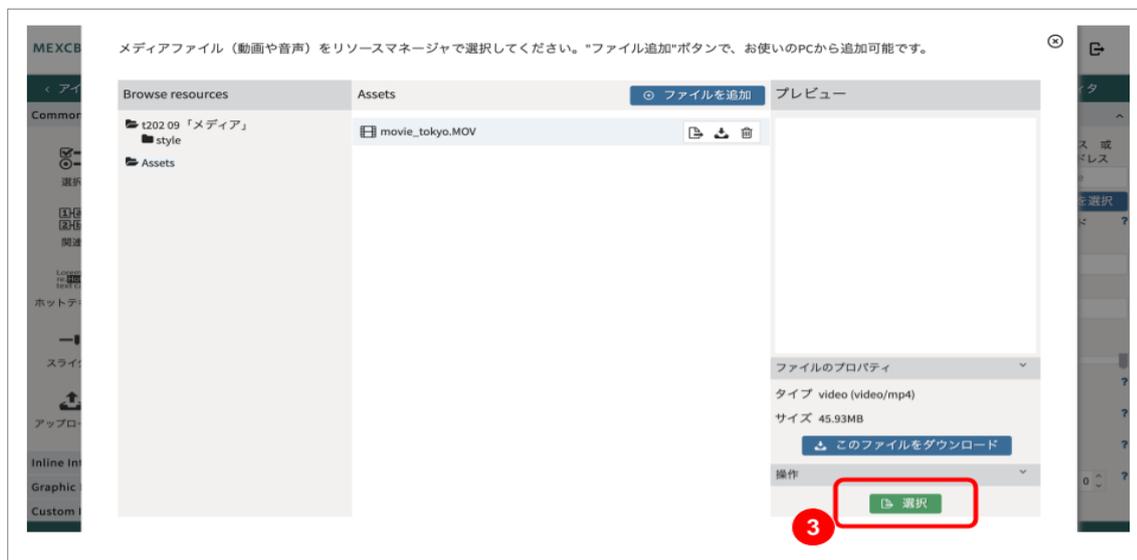
システム上、200MB 以下の動画、音声ファイルのみ利用可能となっております。

動画ファイルの形式は **mp4** を推奨しております。

※ファイル名には「日本語」を含まないようにしてください。



3 「選択」をクリックします。



- 4 「完了」をクリックし、最後に「保存」をクリックします（正解の設定は通常は不要です）。
- ※ メディア問題では「解答」の設定をする必要はありません。プレビューの際に表示されるレスポンス識別子（初期値では RESPONSE）は、動画または音声を再生した回数となります。





<留意事項>

メディア（画像、動画、音声）ファイルを利用される場合には、以下の留意事項をご確認ください。

- 1 システム上、**200MB** 以下の動画、画像、音声ファイルのみ利用可能となっております。
- 2 動画ファイルの形式は **mp4** を推奨しております。
WebM 形式の動画ファイルは、iPad で表示できないなどの不具合が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 3 使用するメディア（画像、動画、音声）のファイル名に「日本語」を使用しないでください。
 （半角英数字のみ使用可）

※MEXCBT に搭載する場合には、1つのテストに含まれる画像・動画の総容量が 120MB を超えないように作成してください。120MB を超えるテストの搭載はできませんのでご注意ください。



<画像・動画・音声ファイル格納時の留意事項>

画像・動画・音声ファイルを「Assets」フォルダに格納すると MEXCBT をご利用されている全ユーザーと画像等のファイルの共有ができます。他者に見られたくない画像・動画・音声ファイルはアイテム固有のフォルダに保存してください。

画像ファイルを選択してください。「ファイル追加」ボタンで画像を追加できます。

※固有のフォルダ名 = アイテムのラベル（アイテム名（問題名）に入力された名称と同じフォルダ名）

第12章 「文字ブロック（インライン）」問題の作成

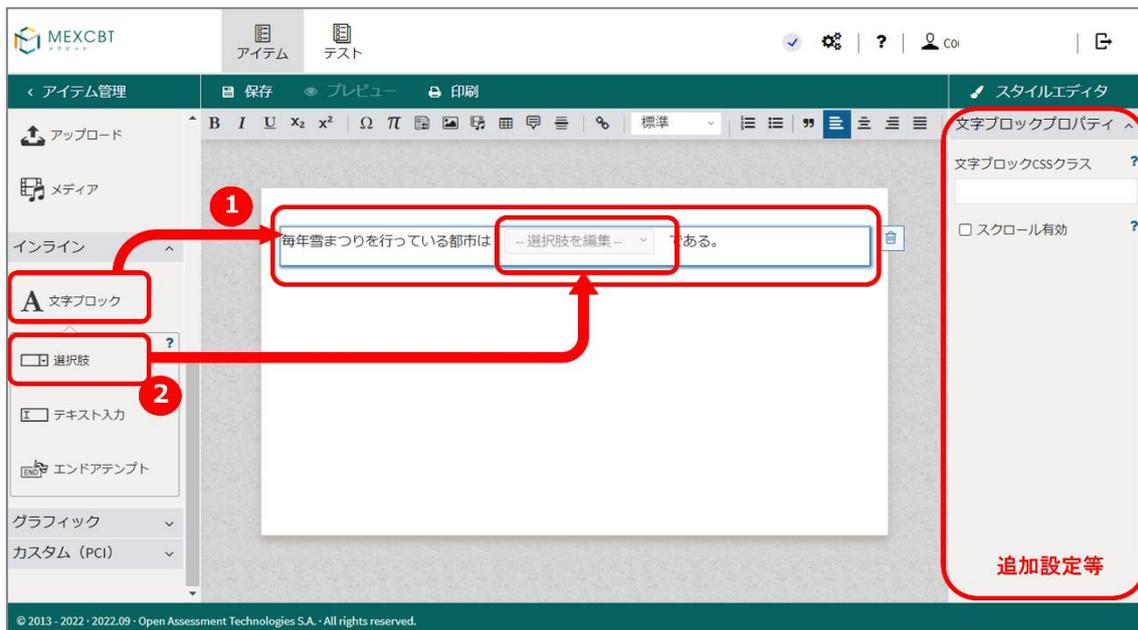
13-1 完成イメージ

「文字ブロック（インライン）」問題の完成イメージは以下の通りです。



「文字ブロック（インライン）」問題のイメージ

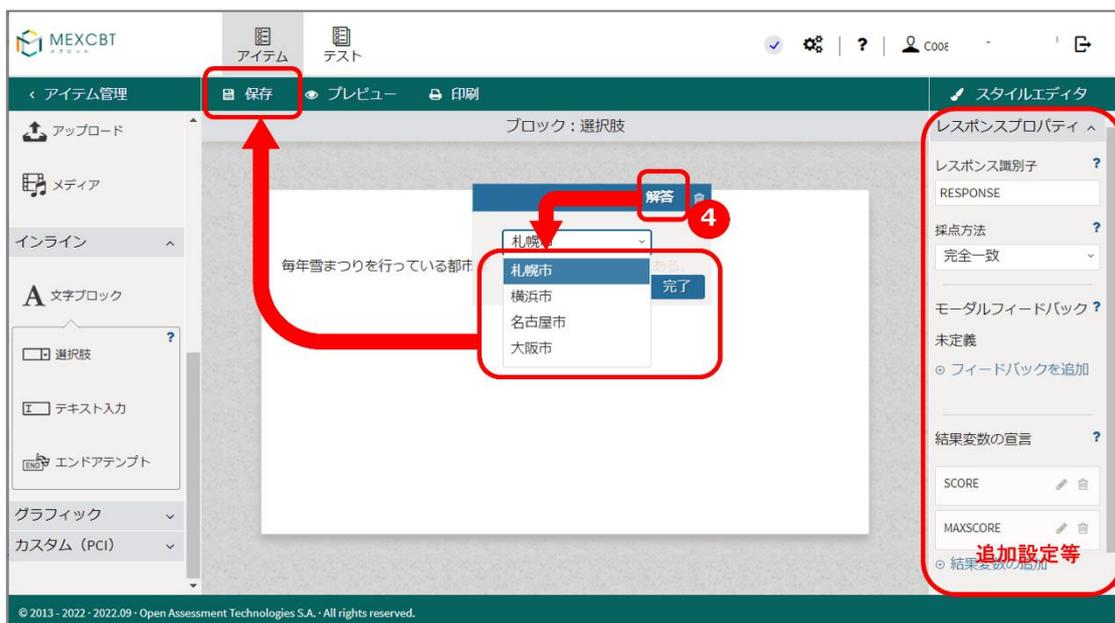
13-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「A 文字ブロック」アイコンを、ドラッグ＆ドロップします。これにより、新しい「文字ブロック」問題が作成されます。
- 2 左側のメニューから「インライン」アイコンを、ドラッグ＆ドロップします。これにより、新しい「インライン」枠が作成されます。



- 3 「インライン」枠に選択肢を入力します。「+ 選択肢を追加」をクリックするとさらに追加することができます。選択肢を削除するには、ゴミ箱アイコンをクリックします。



- 4 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。選択肢をクリックして「完了」をクリックします。

13-3 追加設定等

基本プロパティ

＜選択肢をシャッフルさせたい場合＞

- 「選択肢をシャッフル」にチェックを入れると、受検毎、受検者毎に選択肢がランダムに入れ替わります。

レスポンスプロパティ

＜選択肢毎に配点したい場合＞

- 「採点方法」で、「マップレスポンス」を選択します。選択すると選択肢部分に配点の入力欄が表示されるので、配点を入力し設定します。

第13章 「A 文字ブロック (テキスト入力)」問題の作成

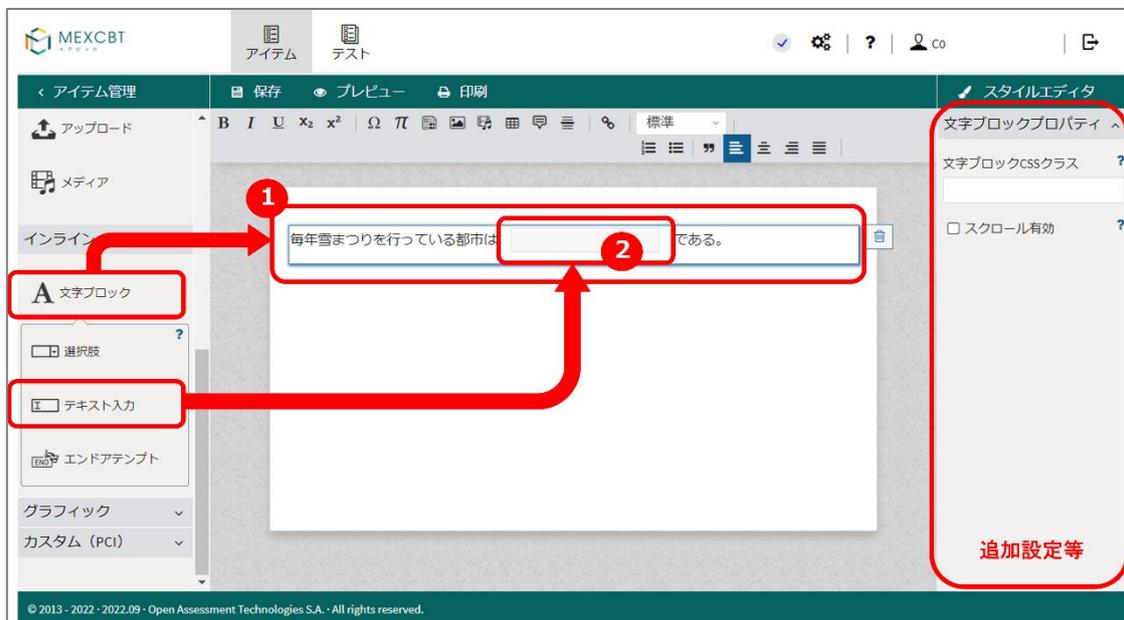
14-1 完成イメージ

「A 文字ブロック (テキスト入力)」問題の完成イメージは以下の通りです。

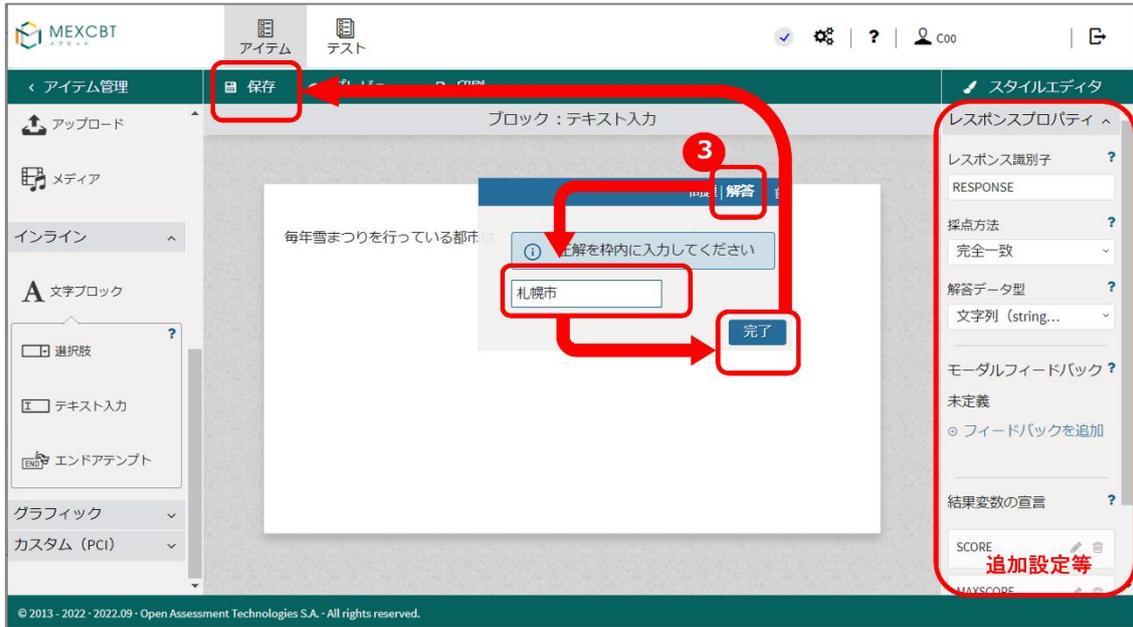
毎年雪まつりを行っている都市は である。

「A 文字ブロック (テキスト入力)」問題のイメージ

14-2 基本的な作成方法



- 1 左側のメニューから「A 文字ブロック」アイコンを、ドラッグ&ドロップします。これにより、新しい「A 文字ブロック」問題が作成されます。
- 2 左側のメニューから「テキスト入力」アイコンを、ドラッグ&ドロップします。これにより、新しい「テキスト入力」枠が作成されます。



- 3 正解の設定を行います。青いヘッダーの右側にある「解答」をクリックして、正しい答えを定義します。正解を入力して「完了」をクリックします。



<留意事項>

- 「テキストブロック (テキスト入力)」問題に解答する際は、「半角／全角」、「大文字／小文字」含め、「解答」で定義された解答と完全に一致した場合のみ正解となります。例えば、小数「0.1」を正解として定義すると、「0. 1」や「0. 1」などの解答は不正解として扱われますが、正答設定については、全角・半角の各パターンでの設定が不要になりました。解答した内容が、半角に自動で変換されますので、英数字と記号については、半角での正答設定を行ってください。
- 「テキストブロック (テキスト入力)」の解答データ型を「文字列(string 型)」以外に設定した場合、解答時の初期入力モードは半角モードになります。しかし全角モードへの変更および全角文字での解答も可能となっており、英数字は自動で半角に変換されます。英数字と一部の記号以外の文字は半角に変換されず解答データに保存されません。また、データ型を「整数」に設定して、小数点を含んだ数字を全角で解答すると小数点と小数点以下は削除されるといった事象が発生しており、**解答データ型は「文字列(string)型」を使用し、正答設定を半角英数字で設定いただくことをご推奨いたします。**

14-3 追加設定等

基本プロパティ

＜テキスト入力枠の長さを変更したい場合＞

「文字数」に 1~100 の数値を入れると、テキスト入力枠の長さを調整することが可能です。ただし、オーサリング画面では表示が変更されません。プレビュー画面で、変更後のテキスト入力枠を確認することが可能です。

レスポンスプロパティ

＜複数の正答を設定したい場合＞

- 「採点方法」で、「マップレスポンス」を選択すると、正解を増やすことができます。正解には、個別に配点を設定することができます。以下の例では、スコアを 0 から 2 の範囲とし、札幌市が入力された場合は「2」を、「札幌」、「さっぽろ」が入力された場合は「1」のスコアとなるように設定しています。
- すべて正解としたい場合は、配点をすべて 1 としてください。
- 最も正解としたい正答のラジオボタンにチェックを入れ、レスポンスプロパティの「正解を設定」にチェックを入れ、最も正解にふさわしい正答を設定します。

※MEXCBT では許容解（別解）を設定した場合でも、正解に設定できる正答は 1 つのみとなります。





<許容解 (別解) 設定時の留意事項>

短答式記述問題の正答設定において「採点方法」で「マップレスポンス」を選択し、許容解 (別解) 設定をした問題を利用した学力調査等で解答結果データを出力した際に、最もふさわしい正解に設定した正答以外の許容解 (別解) を入力した解答は、結果データ csv の「正誤」欄で「誤」表示となります。集計ツールなどを利用して学校ごとの正答率などを集計する場合には、結果データ上の「誤」表記を「正」に修正いただいた上で、集計いただく必要があります。

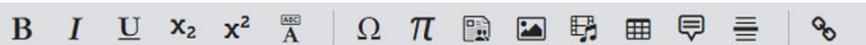
※最もふさわしい正解を設定しない場合、すべての解答が結果データの正誤欄で「誤」表示となります。

※学習 e ポータルでの得点表示や、テストレビュー時には、得点の設定が正しくされていれば、正解設定をした正解を含め許容解 (別解) を入力した解答も正解の表示となります。

第14章 問題文の装飾

15-1 問題文の装飾について

第 3 章から第 14 章までのどのアイテムにも共通となる、アイテムオーサリング画面における問題文の装飾機能（2-5 節の領域②）について説明します。



アイテムオーサリング画面における問題文装飾などの機能アイコン

上記画像に示された各機能を用いることで、問題文を装飾したり、問題文中に画像を挿入したりすることができます。下表に、各アイコンが示す機能の概要を記載します。

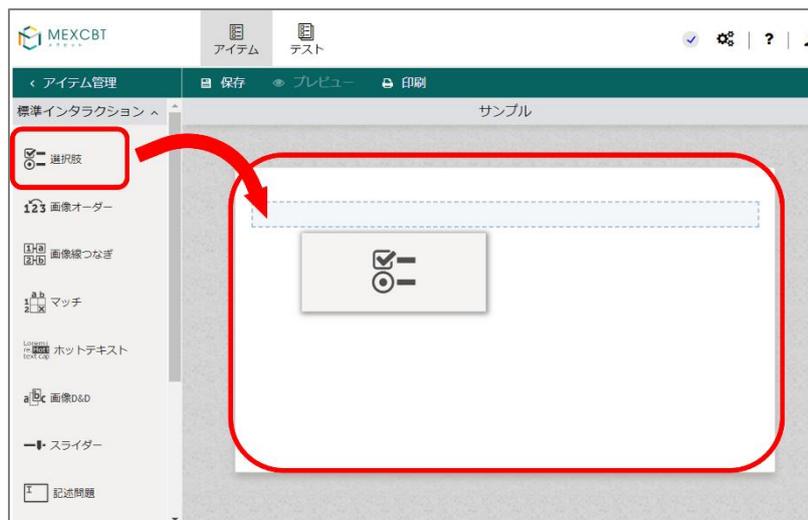
装飾機能概要

装飾区分	アイコン	概要
文字の装飾		選択した文字を太字にします。
		選択した文字を斜体にします。
		選択した文字に下線を引きます。
		選択した文字を下付き文字にします。
		選択した文字を上付き文字にします。
		選択した文字にふりがなをふります。
特殊文字や マルチメディアの 挿入		カーソルの位置に特殊文字を挿入します。
		カーソルの位置などに数式を挿入します。
		.xml で記述された文書を挿入します。本資料では扱いません。
		画像ファイルをアップロードし、問題文中に挿入します。
		動画や音声ファイルをアップロードし、問題文中に挿入します。
		問題文中に表を挿入します。
		問題文中に注釈付きの文章を挿入します。

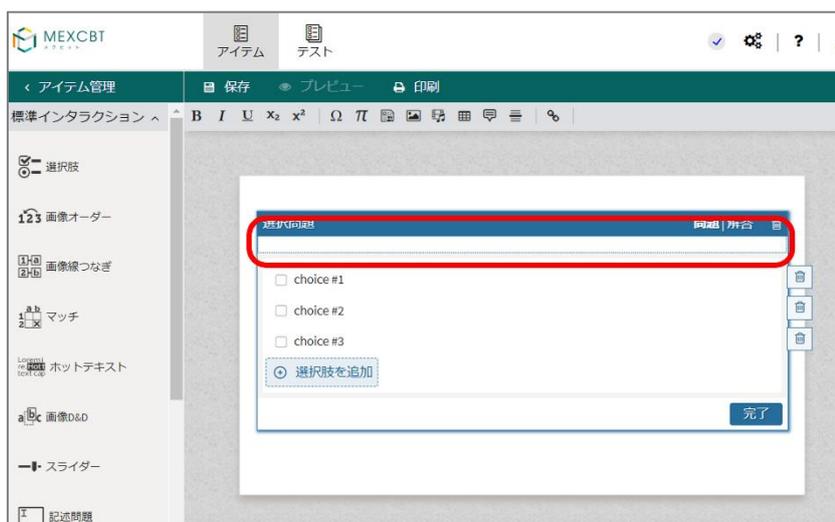
		問題文中に水平線を挿入します。
リンクの挿入		問題文中にリンクを挿入します。

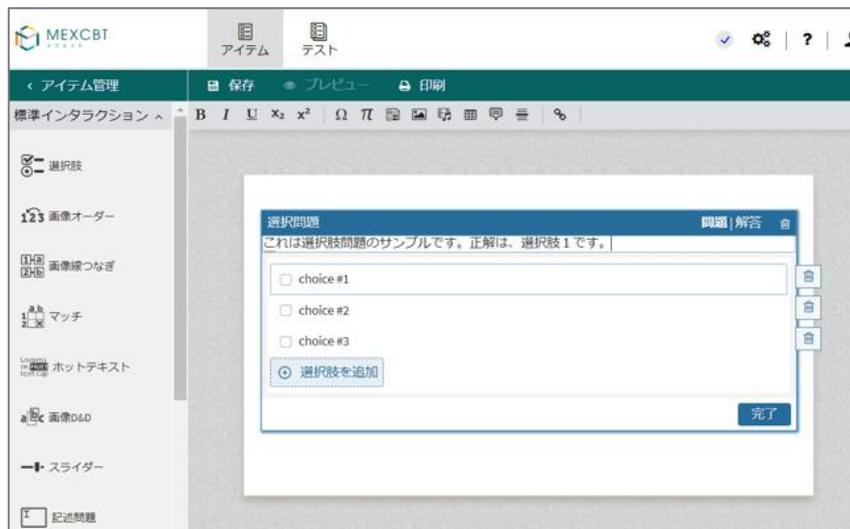
次に、各装飾区分の利用方法について説明します。

アイテムオーサリング画面左側の「標準インタラクション」から、任意の問題作成形式を選択し、画面中央の赤枠部分にドラッグ＆ドロップします。本章では、第 3 章で記載した「選択」問題形式を例に説明を行います。



ドラッグ＆ドロップすると、以下の画面のようになります。赤枠内に問題文を記載することができるので、任意の問題文を記入します。

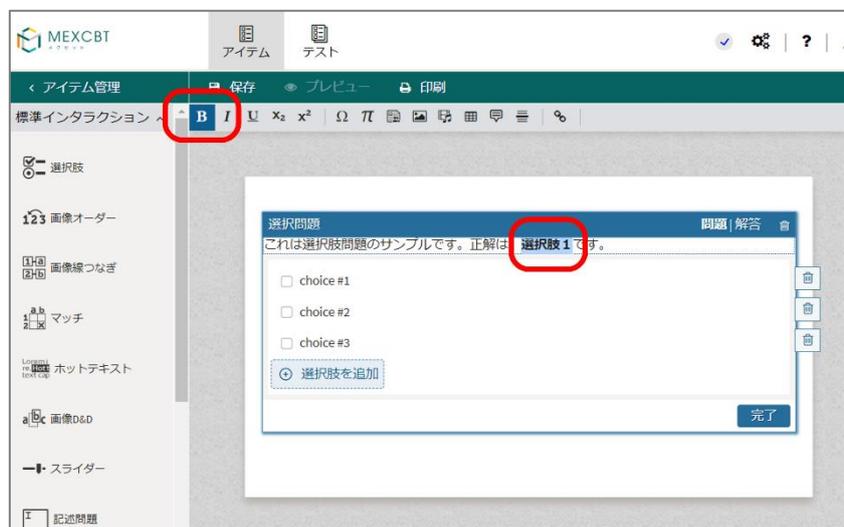




ここまでで、問題文の用意が完了しました。ここからは、問題文に対する文字の装飾などについて説明します。

15-2 文字の装飾

文字の装飾機能には、太字にしたり斜体にしたりするなど、6つの機能があります。例えば、問題文の任意の文字列を選択し、「**B**」アイコンをクリックすると、当該箇所が太字で表示されるようになります。



斜体／下線付き／下付き／上付き文字にする場合も同様です。問題文の任意の文字列を選択し、対応するアイコンをクリックすることで装飾できます。

「**A**」アイコンをクリックすると、ふりがな位置にカーソルが移動してふりがなの入力が可能になります。

15-3 フォントサイズの変更について

フォントサイズの変更方法は以下の通りです。

1. アイテムのオーサリング画面にて「スタイルエディタ」をクリックします。



2. 画面右のフォントサイズの欄からサイズを入力します。



3. 入力後に左上の保存ボタンを押します。

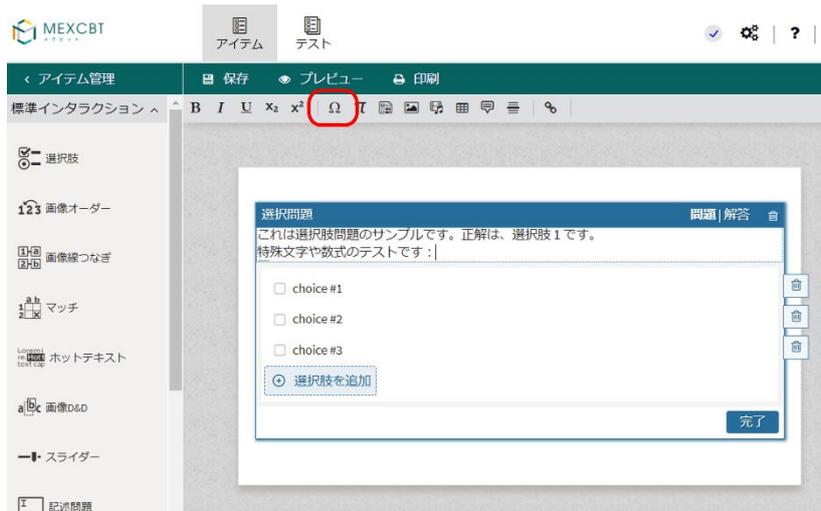


4. プレビュー機能でも、設定したフォントサイズの通りに表示されていることが確認できます。

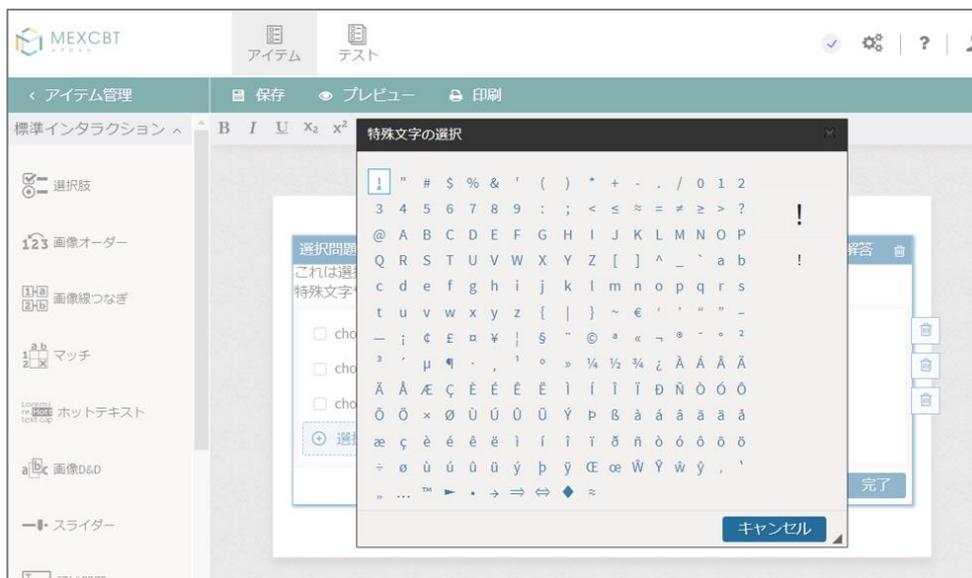


15-4 特殊文字やマルチメディアの挿入

問題文中に、特殊文字や数式を挿入することも可能です。これらは、マウスカーソルの位置に挿入されます。例えば、以下の画像ではマウスカーソルが「:」の後ろにあるため、この状態で「Ω」アイコンをクリックすると、「:」の後ろに特殊文字を挿入できます。

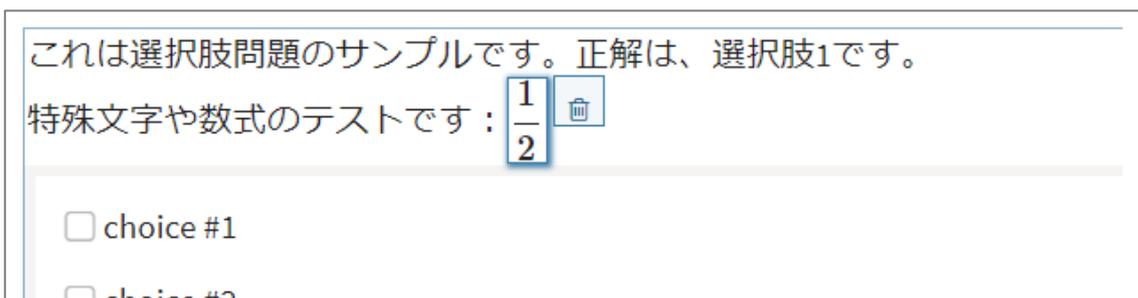
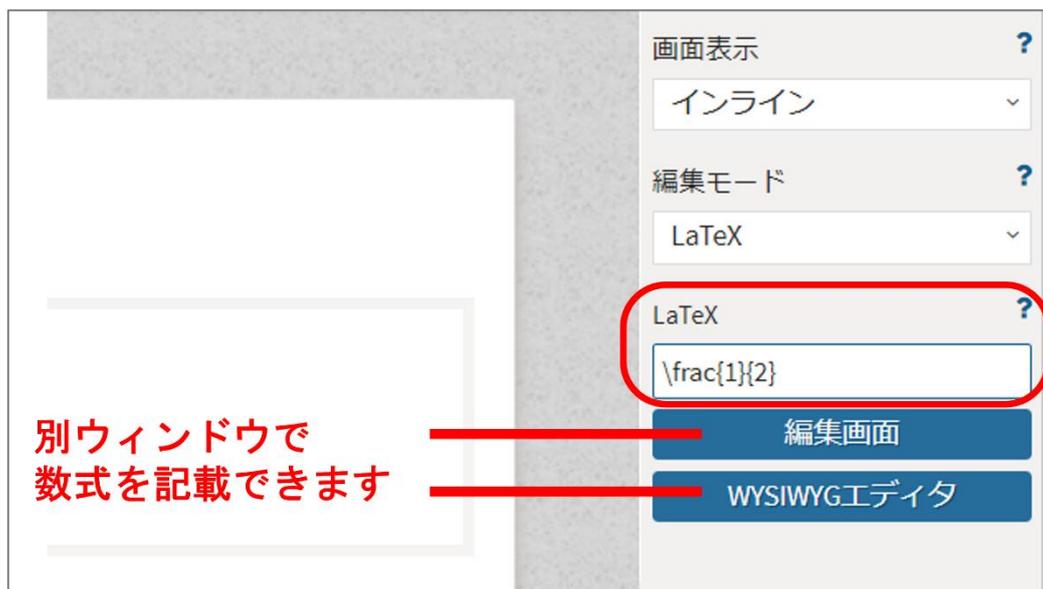


「Ω」アイコンをクリックすると、「特殊文字の選択」ウィンドウが表示されます。任意の特殊文字をクリックすると、当該ウィンドウが閉じられ、マウスカーソルの位置に挿入されます。特殊文字の挿入を取りやめる場合は、「キャンセル」をクリックします。



数式を挿入する場合は、「π」アイコンをクリックします。クリックすると、画面右側の「スタイルエディタ」部分が「Math プロパティ」に変化し、ここで数式を指定することができます。「Math プロパティ」における「画面表示」

では、「インライン」か「ブロック」を選択することができます。「インライン」を指定すると、問題文中に数式をそのまま挿入し、「ブロック」を指定すると、挿入のためのブロックが追加され、この中に数式を記載できます。「編集モード」では、数式を表現することなどに優れた文書作成システムである「LaTeX」と「MathML」のどちらかを選択できます。LaTeX と MathML における数式表現や文法の説明は省略しますが、例えば LaTeX で「分数 $1/2$ 」を表現する場合は、「`\frac{1}{2}`」と入力します。

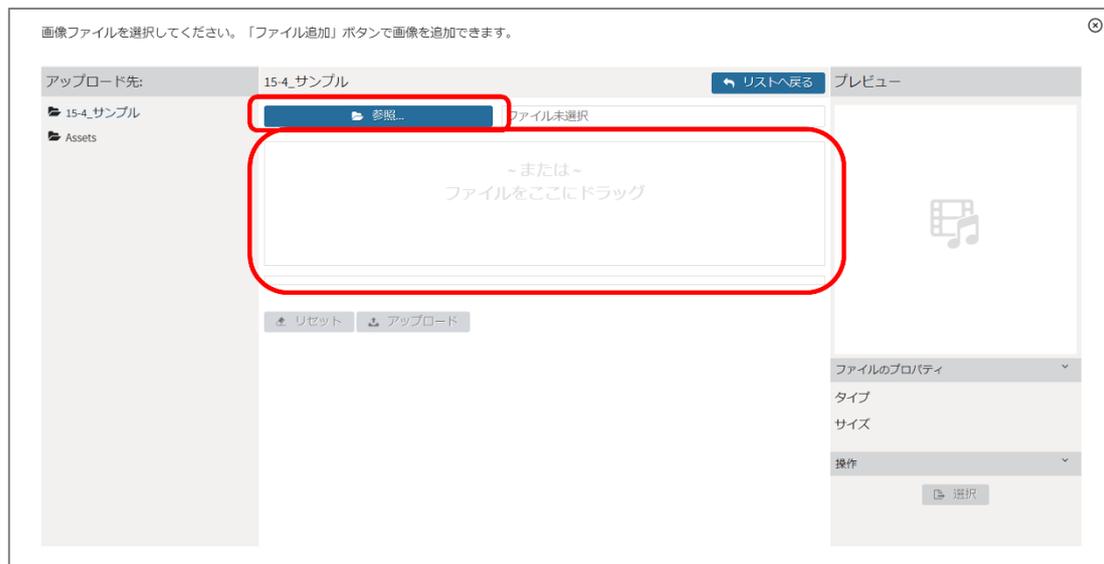


画像ファイル（.png や.jpg など）を挿入する場合は、「」アイコンをクリックします。クリックすると、ファイルのアップロード画面が表示されるので、「ファイルを追加」ボタンをクリックします。



「ファイルを追加」ボタンをクリックすると、以下の画面になります。「参照」ボタンをクリックし、ご自身の端末に保存された画像ファイルを選択、もしくは画面中央に画像ファイルをドラッグ&ドロップします。なお、挿入する画像ファイルは、著作権を侵害しておらず、個人情報を含まないものとしてください。

※ファイル名には「日本語」を含まないようにしてください。

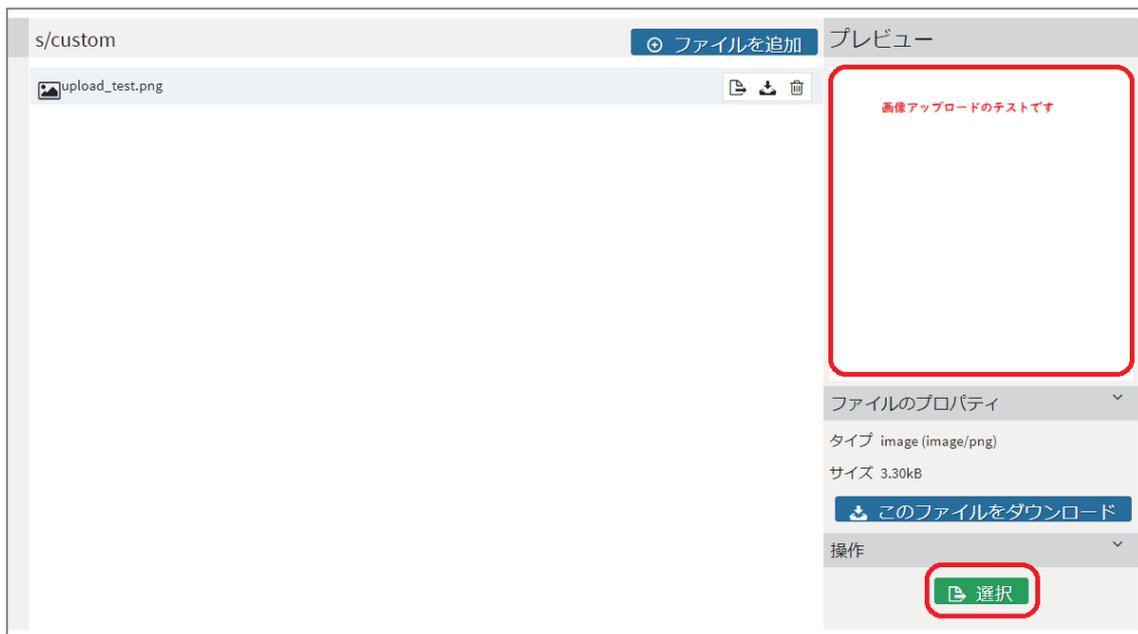


画像の選択をすると、画面中央に当該画像のファイル名が表示されます。このまま、「アップロード」ボタンをクリックします。



アップロードが完了すると、画面中央にファイル名が表示されます。なお、ファイル名に日本語を用いると、ファイル名が正しく表示されないため、ファイル名を英数字のみにしてください。また、アップロードが失敗する場合は、画像ファイルのサイズを小さくしたり、拡張子が適切かどうかを確認するなどしてください。

当該ファイルを選択すると、画面右側のプレビューに画像が表示され、問題なければ「選択」ボタンをクリックします。



「選択」ボタンをクリックすると、問題文中に画像ファイルが挿入されたことが確認できます。音声や動画ファイル（.mp3 や.mp4 など）を挿入する場合は、「」アイコンをクリックし、画像ファイルの挿入と同様の手順で行います。



なお、挿入した画像ファイルや動画ファイルは、表示サイズを調整することができます。画像ファイルの場合は、画面右側に表示される「大きさと位置」の「レスポンスモード」で調整することができ、動画ファイルの場合は、画面右側に表示される「Width」と「Height」でそれぞれ幅と高さを調整することができます。



また、問題文中に改行や空白を入れることで、挿入した画像やファイル動画ファイルの位置を調整できます。



注釈付きの文章を挿入することもできます。「」アイコンをクリックすると、「Tooltip editor」ウィンドウが表示されるので、白色の部分に注釈を付けたい文章を、黄色の吹き出し部分に注釈文をそれぞれ記入し、「完了」ボタンをクリックします。



「完了」ボタンをクリックすると、注釈付きの文章が青色で表示されていることが確認できます。正しく注釈が表示されるかどうかを確認するには、「プレビュー」ボタンをクリックします。



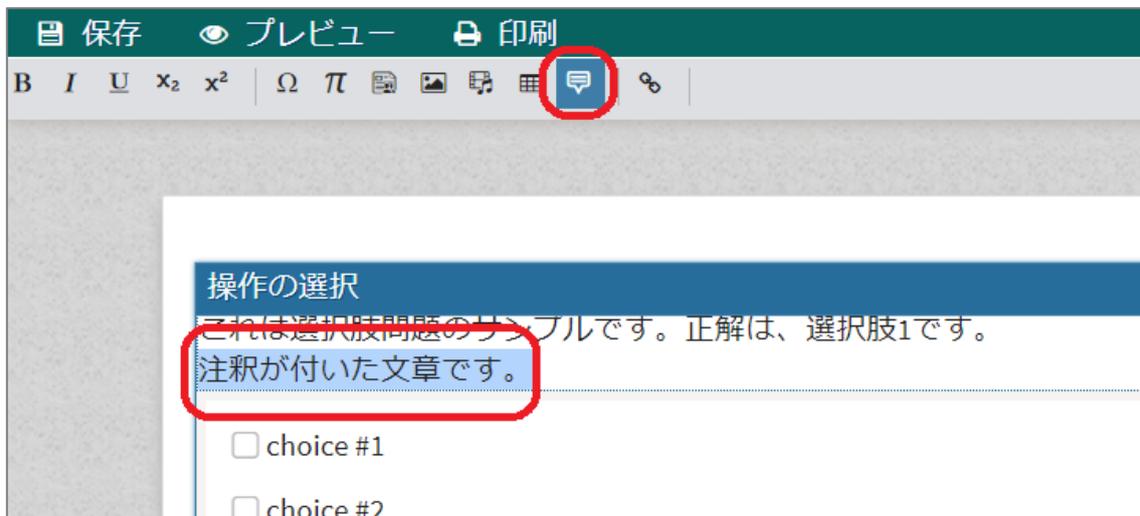
「プレビュー」ボタンをクリックすると、アイテムを保存する必要がある旨のウィンドウが表示されます。「保存」ボタンをクリックし、しばらく待つとプレビュー画面が表示されます。



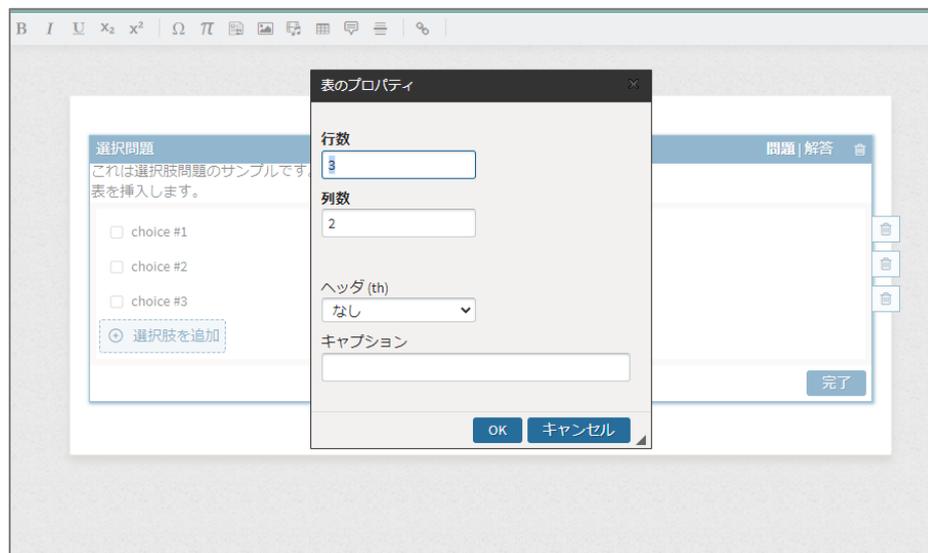
プレビュー画面の注釈付き文章の箇所にもマウスオーバーする（カーソルを持っていく）と、先ほど記入した注釈が表示されることが確認できます。プレビュー画面は、右上の「閉じる」ボタンをクリックすることで終了できます。



注釈は、注釈を付けたい文章を選択し、「」アイコンをクリックして挿入することもできます。

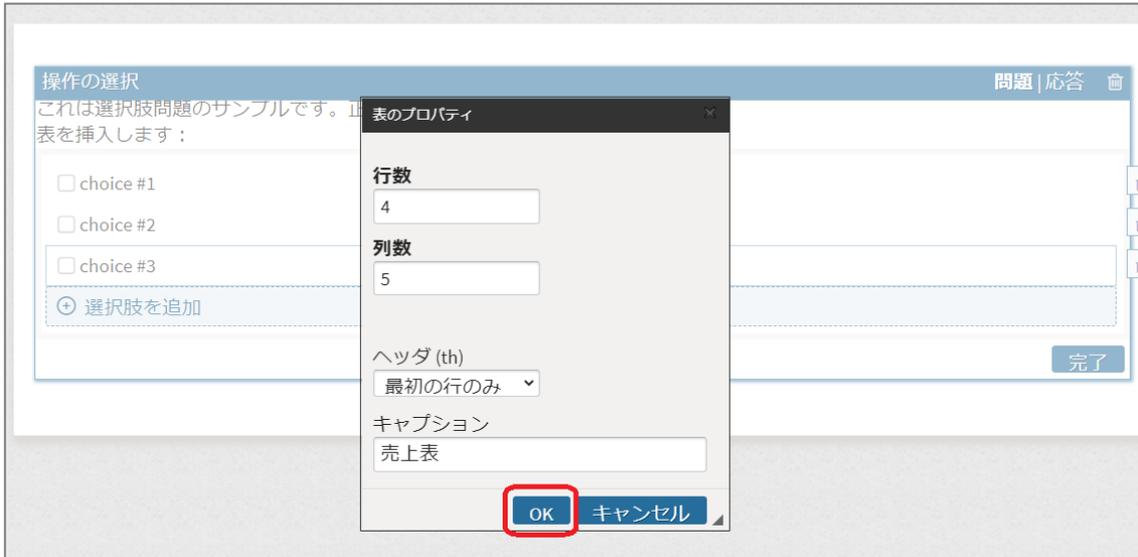


表を読み取るような問題を作成する際には、表の挿入機能を利用します。「」アイコンをクリックすると、「表のプロパティ」ウィンドウが表示され、「行数」、「列数」、「ヘッダ」、「キャプション」に適切な値を指定すると表が挿入されます。なお、これらの値は後ほど変更することも可能です。



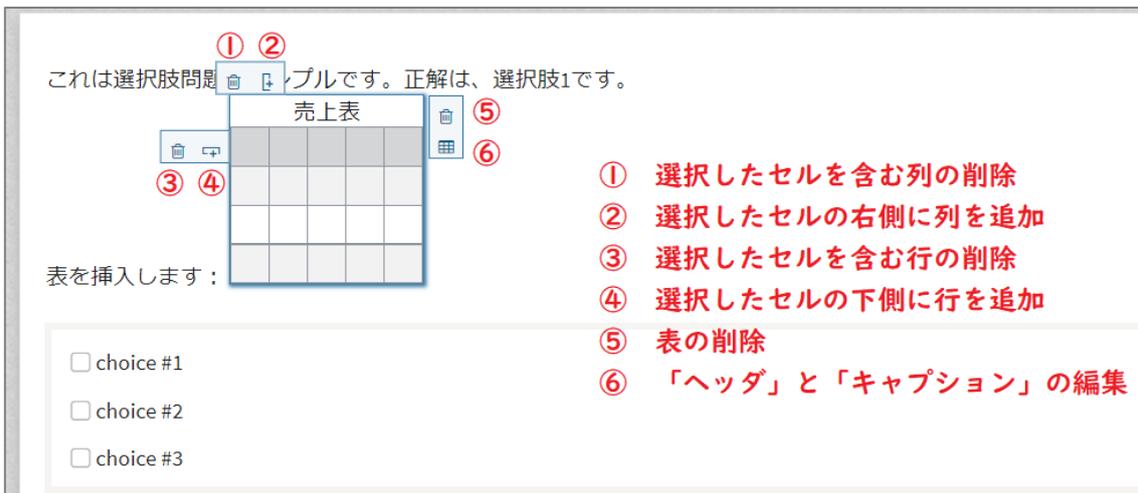
ここでは例として、以下の画像に示すような表を挿入してみます。

(「行数」：4、「列数」：5、「ヘッダ」：最初の行のみ、「キャプション」：売上表)



「ヘッダ」で「最初の行のみ」と指定すると、表の 1 行目のみ網掛けで表示されます。「キャプション」に「売上表」と記入すると、作成される表の上部に、「売上表」という説明が表示されます。

「OK」ボタンをクリックすると、指定した表が挿入されたことが確認できます。当該表の任意のセルをクリックすると、セル内部に文字列を入力したり、「行数」などを変更したりすることができます。



これは選択肢問題のサンプルです。正解は、選択肢1です。

売上表				
商品名	4月	5月	6月	7月
商品A				
商品B				
商品C				

表を挿入します：

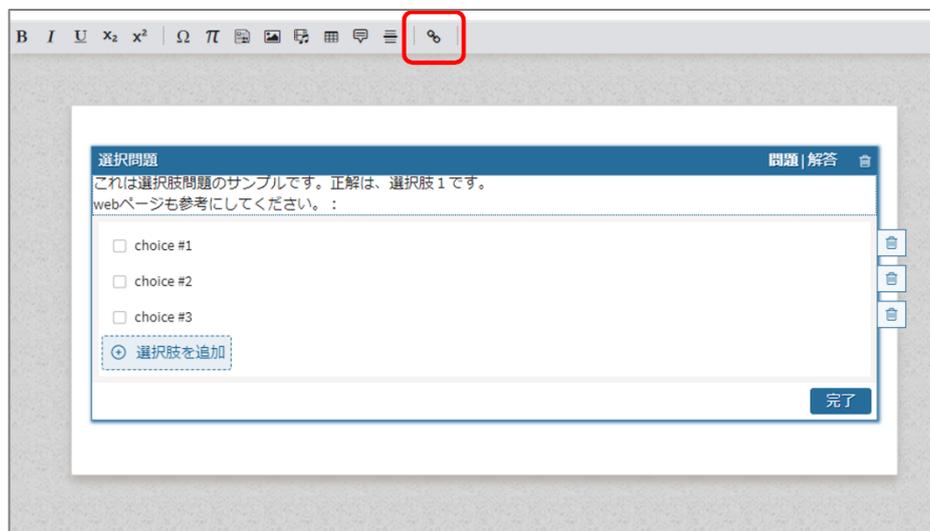
choice #1

choice #2

choice #3

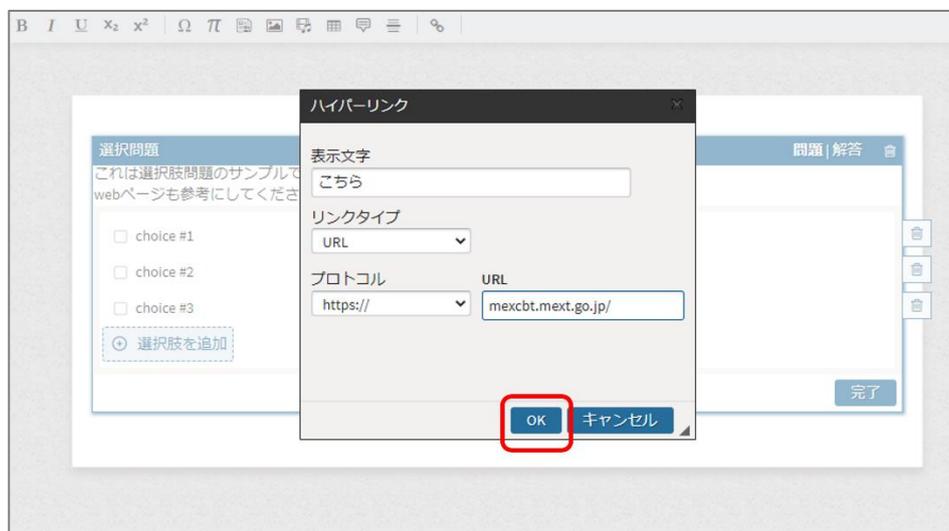
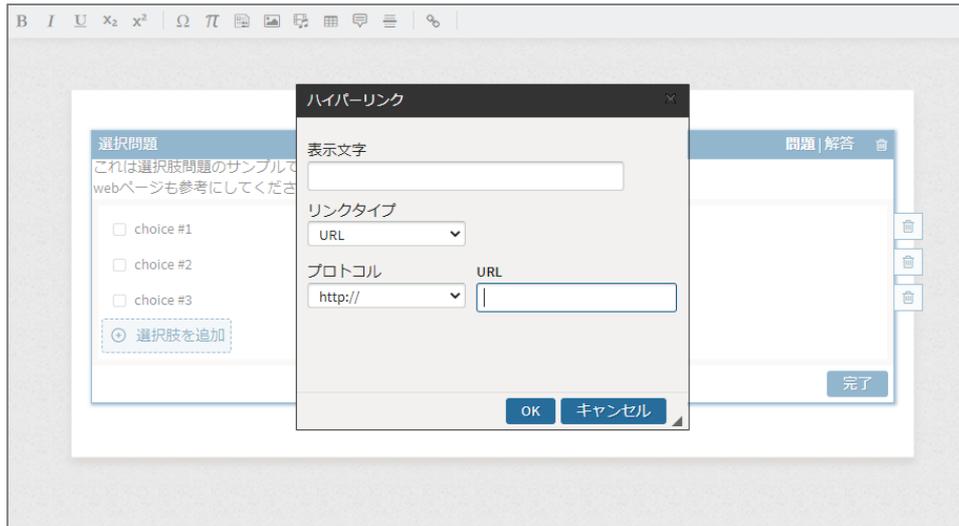
15-5 リンクの挿入

問題文中に、問題の参考リンクや YouTube の限定公開動画のリンクなど挿入することも可能です。リンクは、マウスカースルの位置に挿入されます。例えば、以下の画像ではマウスカースルが「：」の後ろにあるため、この状態で「」アイコンをクリックすると、「：」の後ろにリンクを挿入できます。

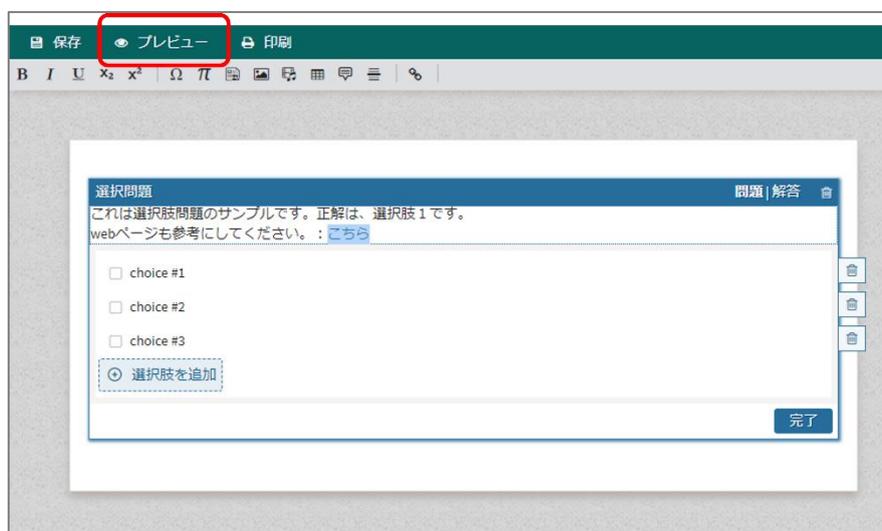


The screenshot shows a text editor interface. In the top toolbar, a link icon (two interlocking rings) is highlighted with a red box. Below the toolbar, a window titled '選択問題' (Choice Question) is open. The window contains the text: 'これは選択肢問題のサンプルです。正解は、選択肢1です。webページも参考にしてください。：'. Below this text are three radio button options: 'choice #1', 'choice #2', and 'choice #3'. At the bottom of the window, there is a button labeled '選択肢を追加' (Add Choice) and a '完了' (Done) button.

「」アイコンをクリックすると、「ハイパーリンク」ウィンドウが表示されます。ここで、「表示文字」にはリンクの代わりに表示する文字列を指定することができます。例として、「表示文字」には「こちら」を、「URL」には文科省の web ページの URL である「www.mext.go.jp/」をそれぞれ指定してみます。



「OK」ボタンをクリックすると、文章中にリンクが挿入されたことが確認できます。リンクをクリックし、正しいリンク先にアクセスできるかどうかを確認するには、「プレビュー」ボタンをクリックします。



「プレビュー」ボタンをクリックすると、アイテムを保存する必要がある旨のウィンドウが表示されます。「保存」ボタンをクリックし、しばらく待つとプレビュー画面が表示されます。



プレビュー画面上のリンクの箇所をクリックすると、先ほど登録したリンクにアクセスできます。アクセスできない場合は、正しい URL が指定されているかどうか再度確認してみてください。プレビュー画面は、右上の「閉じる」ボタンをクリックすることで終了できます。

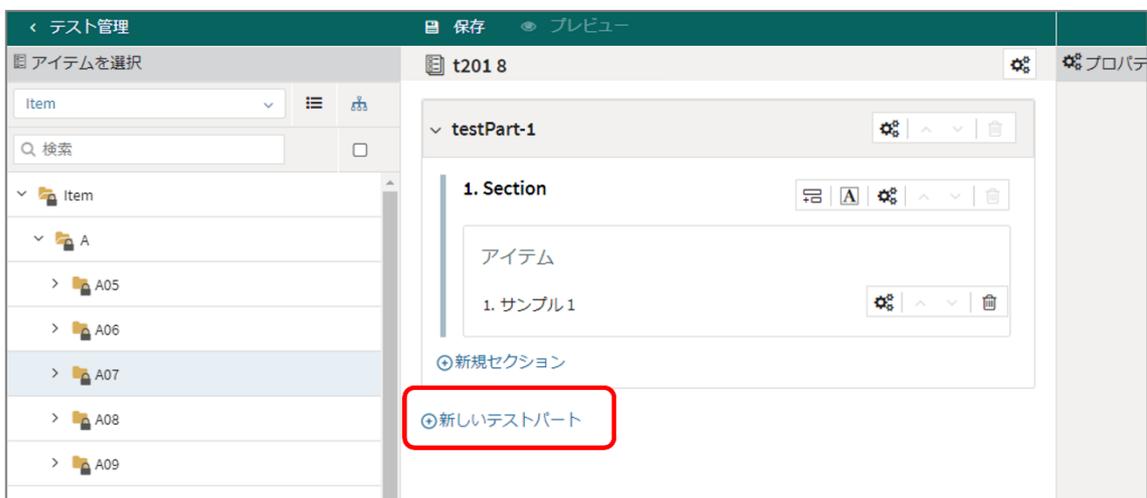


第15章 テストの追加設定等

16-1 テストの中に区切りを設定する

「アイテム」を複数組み合わせで「テスト」を作成する際、一つのテストの中に、テストパートやセクションという単位を複数設定することができます。テストパート単位、セクション単位での制限時間を設定することや、セクションごとに名前（「大問 1」など）を設定すること、前のページに戻って再度解答できるまたは戻れないように設定をすること、セクション内のアイテム順序をランダムに出題すること等も可能です（詳細は 16-2 節参照）。ここでは、テストパートとセクションの追加方法について説明します。

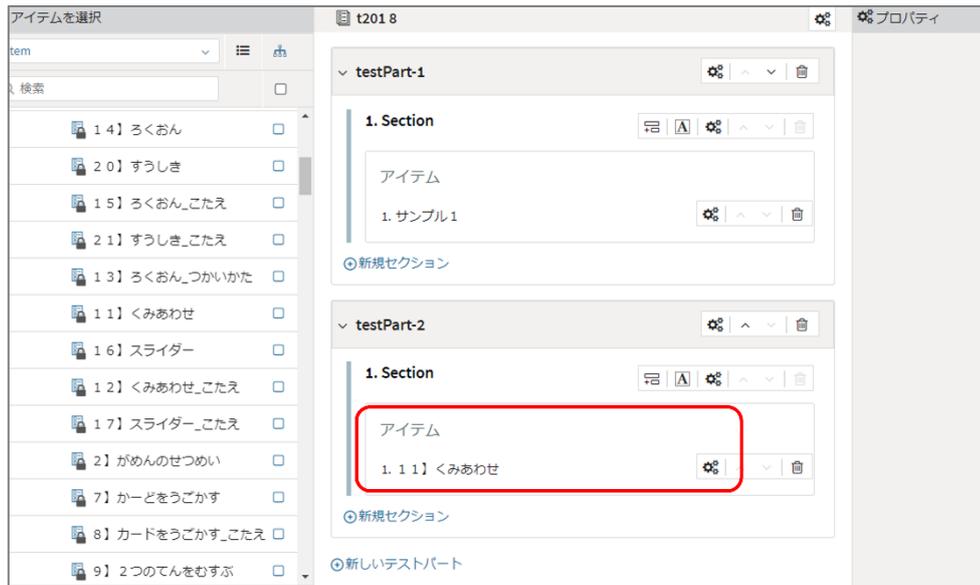
- 1 テストパートを追加する場合は、「新しいテストパート」をクリックします。



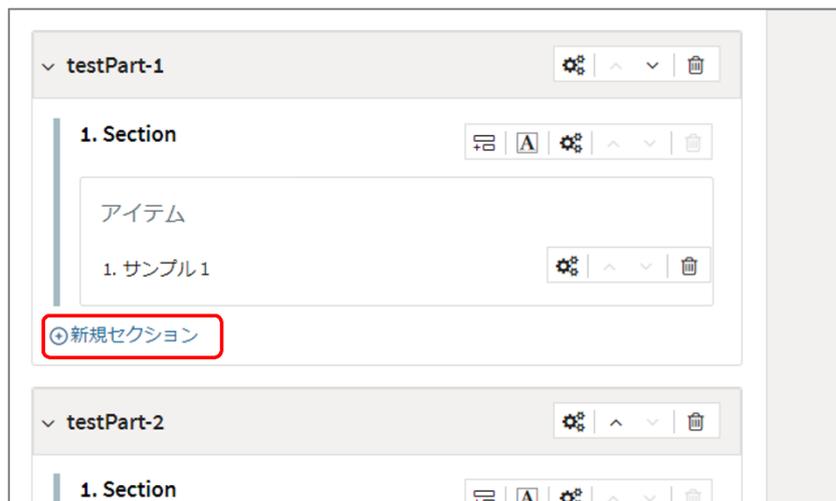
- 2 テストパートが追加されるので、任意のアイテムを登録します。登録したいアイテムのチェックボックスにチェックを入れ、表示される「+ 選択したアイテムを追加してください。」をクリックします。



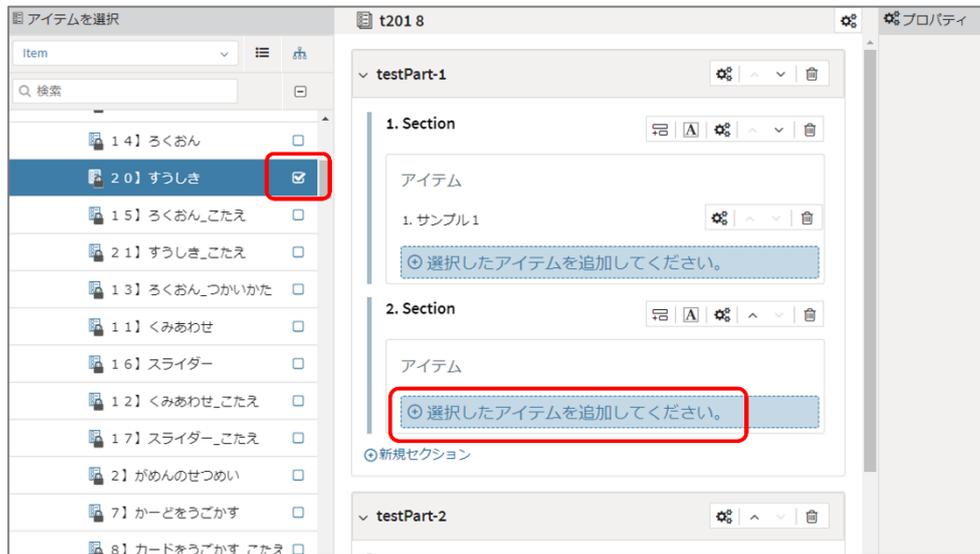
3 追加したテストパートに、アイテムが登録されたことが確認できます。



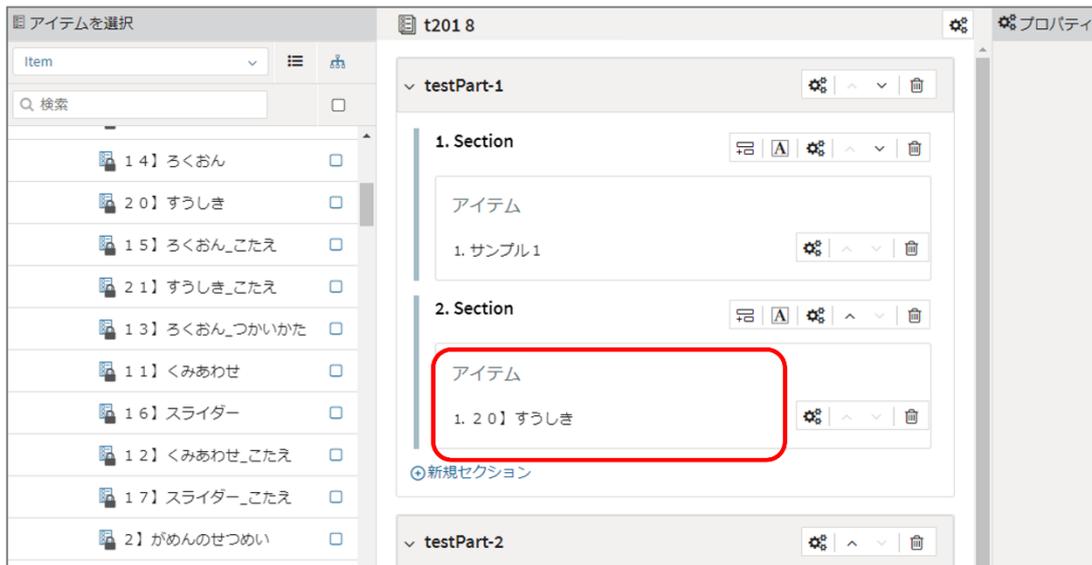
4 また、テストパート内の「+新規セクション」をクリックすることで、テストパート内に、セクションを追加することもできます。



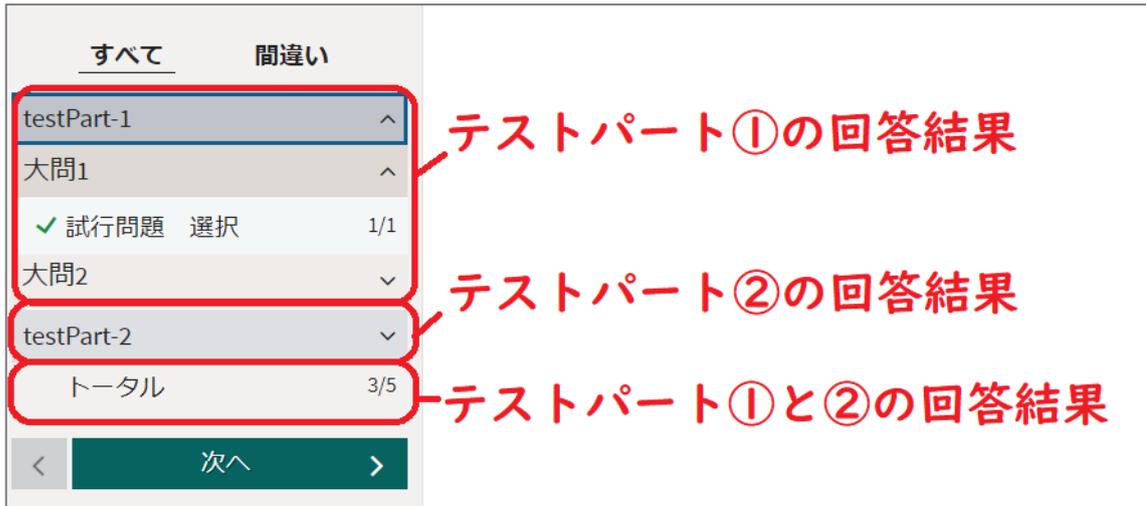
- 5 セクションが追加されるので、任意のアイテムを登録します。登録したいアイテムのチェックボックスにチェックを入れ、表示される「+ 選択したアイテムを追加してください。」をクリックします。



- 6 追加したセクションに、アイテムが登録されたことが確認できます。



テストパートやセクションを分割して設定すると、テスト結果画面において、テストパートやセクションごとに整理された解答結果が表示されます。



16-2 テストのプロパティを設定する（制限時間を設ける等）

テスト、テストパート、セクション、アイテムのプロパティの設定により、テストパート単位、セクション単位での制限時間を設定することや、セクションごとに名前（「大問 1」など）を設定すること、前のページに戻って再度解答できるまたは戻れないように設定をすること、セクション内のアイテム順序をランダムに出題すること等が可能になります。原則、本実証ではここで説明している設定項目以外は変更しないようにしてください。

1 作成したテストについて、テストのプロパティの設定を行います。

一番上の「歯車ボタン」を押すことでテストのプロパティの設定を行うことができます。ここではテストのタイトル、テストの制限時間を設定することができます。

「タイトル」には配信時に使用するテスト名を入力してください(P.35 に記載の<テスト名設定時の留意事項>を参照)。

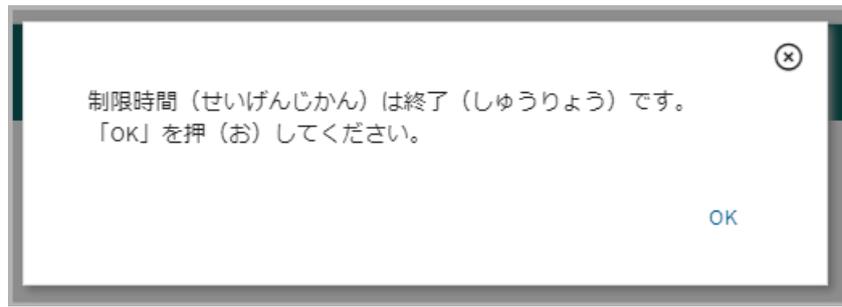
「最大時間」を設定することでテストに制限時間を設けることができます。また、「後での送信を許可」にチェックを入れることで制限時間を過ぎてもテストに解答することができます。この際、制限時間を過ぎた場合の解答もスコアに加算されます。



「最大時間」の設定を行うと、受検中に画面の右上に残り時間が表示されます。



残り時間が 0 になると次のように表示され、OK をクリックするとテストが終了します。



2 作成したテストについて、テストパートのプロパティの設定を行います。

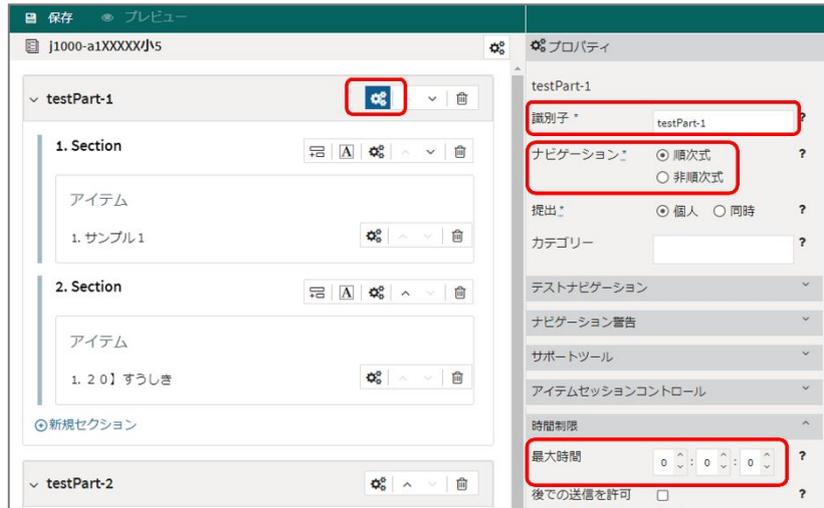
テストパートの右側の「歯車ボタン」を押すことでテストパートのプロパティを設定することができます。ここでは識別子、ナビゲーション、テストパートの制限時間の設定することができます。

「識別子」を設定することでテストパートの表示名を変更できます。日本語で設定することはできません。

「ナビゲーション」で「順次式」を選択し複数のテストパートを設けた場合、次のテストパートに進んだ際に、前のテストパートに戻って問題に解答することができなくなります。また、テストパート内のアイテムについても同様に、前のアイテムに戻ることができなくなります。「非順次式」を選択した場合は前のテストパートに戻って問題に解答することができます。テストパート内のアイテムも同様です。

「最大時間」を設定することでテストパートごとに制限時間を設けることができます。また、「後での送信を許可」にチェックを入れることで制限時間を過ぎても該当のテストパートに含まれる設問に解答することができます。テストパートごとに制限時間を設定する場合は、「ナビゲーション」を「順次式」に設定してください。

（前の問題に戻ることができなくなります。）



受検中は画面の右上に設定した識別子と残り時間が表示されます。



- 3 作成したテストについて、セクションのプロパティの設定を行います。
- セクションの右側の「歯車ボタン」を押すことでセクションのプロパティを設定することができます。ここではセクションのタイトル、セクション内のアイテムのシャッフル、セクションの制限時間を設定することができます。「タイトル」よりセクションの表示名を変更することができます。(例：大問 1 図形)
- 「シャッフル」にチェックを入れることにより、受検の際に表示されるセクション内のアイテムの順番をランダムにすることができます。
- 「最大時間」を設定することでセクションごとに制限時間を設けることができます。また、「後での送信を許可」にチェックを入れることで制限時間を過ぎても該当のセクションに含まれる設問に解答することができます。**セクションごとに制限時間を設定する場合は、該当のセクションが含まれるテストパートのプロパティにて、「ナビゲーション」を「順次式」に設定してください。(前の問題に戻ることができなくなります。)**



受検中は右上に設定したタイトルと残り時間が表示されます。



4 作成したテストについて、アイテムのプロパティの設定を行います。

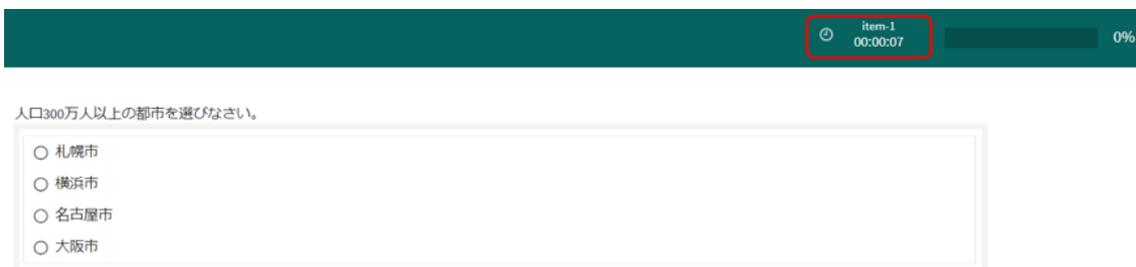
アイテムの右側の「歯車ボタン」を押すことでアイテムのプロパティを設定することができます。ここではアイテムの識別子、アイテムの制限時間を設定することができます。

「識別子」を設定することでアイテムの表示名を変更できます。アイテムの表示名は、日本語で設定することはできません。

「最大時間」を設定することでアイテムごとに制限時間を設けることができます。また、「後での送信を許可」にチェックを入れることで制限時間を過ぎても該当のアイテムに含まれる設問に解答することができます。**アイテムごとに制限時間を設定する場合は、該当のアイテムが含まれるテスト部分のプロパティにて、「ナビゲーション」を「順次式」に設定してください。（前の問題に戻ることができなくなります。）**



受検中は画面の右上に設定した識別子と残り時間が表示されます。



第16章 解説付き問題の作成

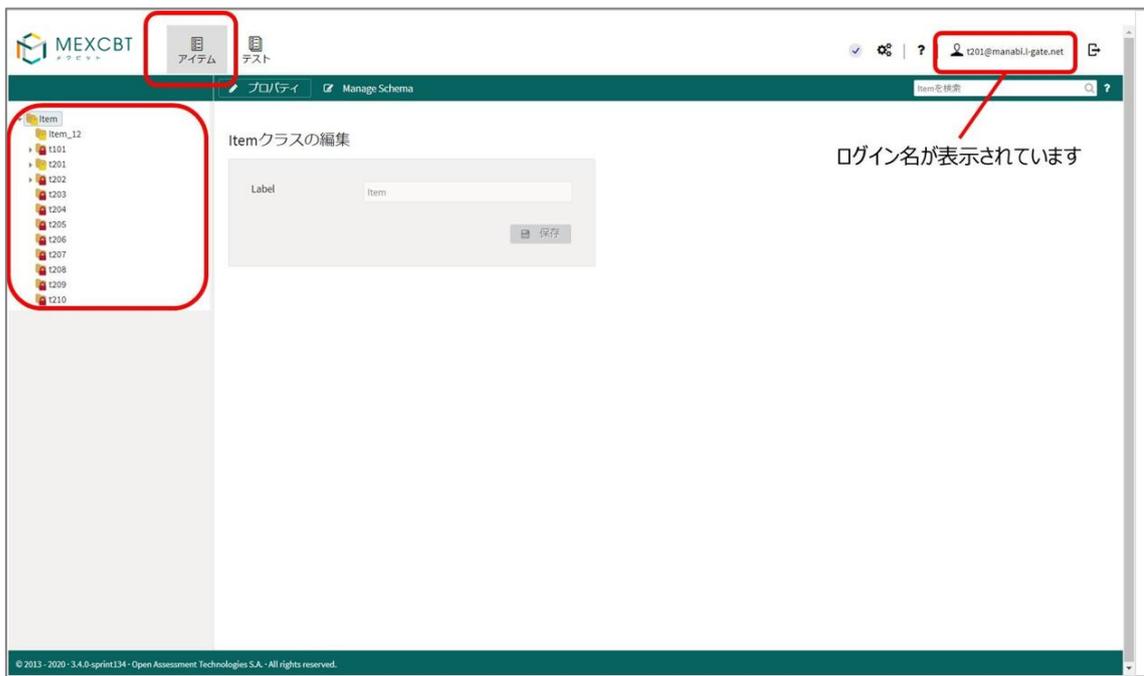
17-1 基本的な作成方法

問題ページを終えると解説ページがあるような、解説付き問題を作成することもできます。本節では、「2-3 問題を作成する」で作成した「試行問題」という問題（アイテム）に対し、その解説（アイテム）である「解説 試行問題」の作成について説明し、「試行問題」と「解説 試行問題」から構成されるテストを「t201 8 問題演習 小 5 算数_解説付き」というテスト名で作成する例を示します。

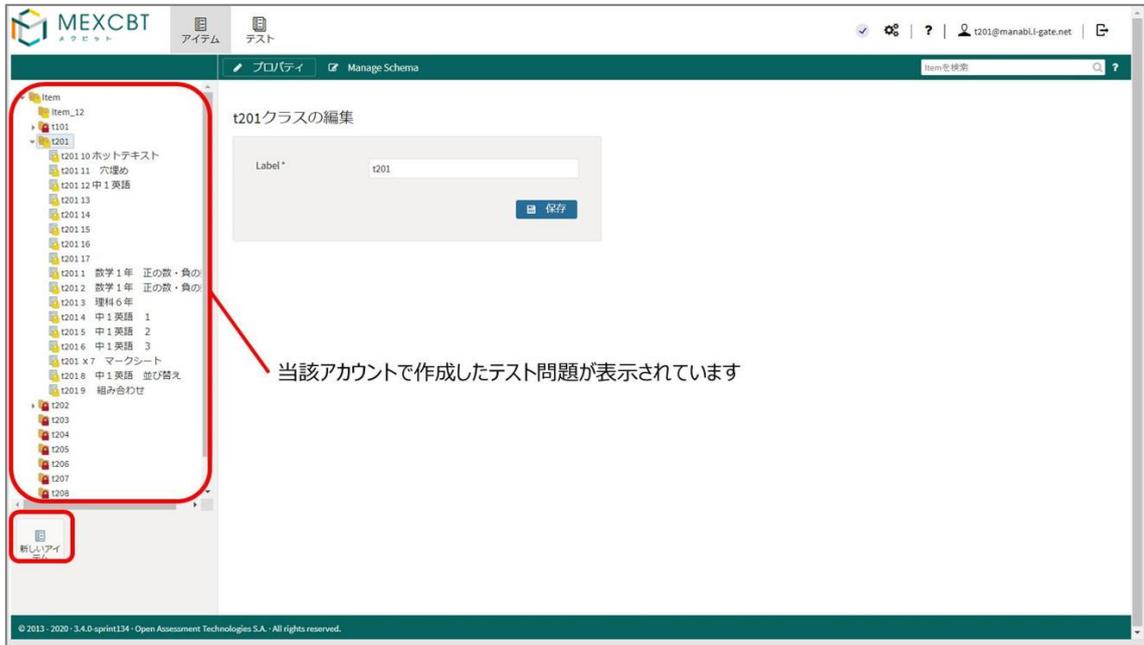
作成の主な流れは以下の通りです。

- ①. 問題（アイテム）を作成する（「2-3 問題を作成する」手順 1～12 参照）
- ②. ①で作成した問題の解説（アイテム）を作成する（本節 手順 1～9）
- ③. テストを作成し、①と②で作成したアイテムを追加する（本節 手順 10～17）

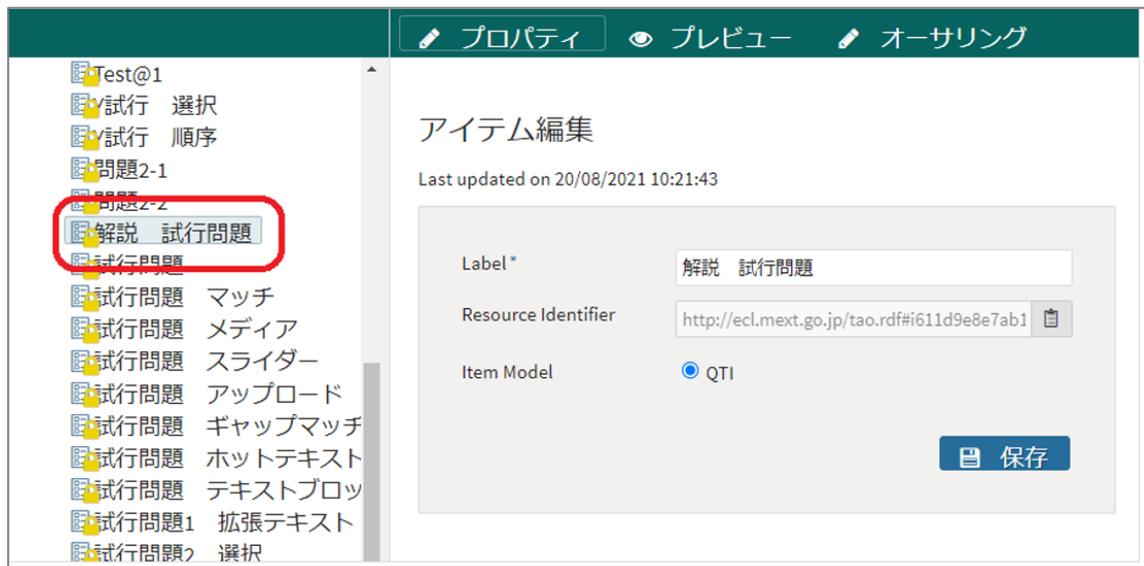
- 1 問題用のアイテムと同様に、解説用の新しいアイテムを作成します。画面上部の「アイテム」を選択し、左側のフォルダの中からアカウント名と同じ名前のフォルダをクリックします。アカウント名は画面右上で確認することができます。鍵がかかっているフォルダ（アカウント名と異なる名前のフォルダ）にはアクセスすることができません。



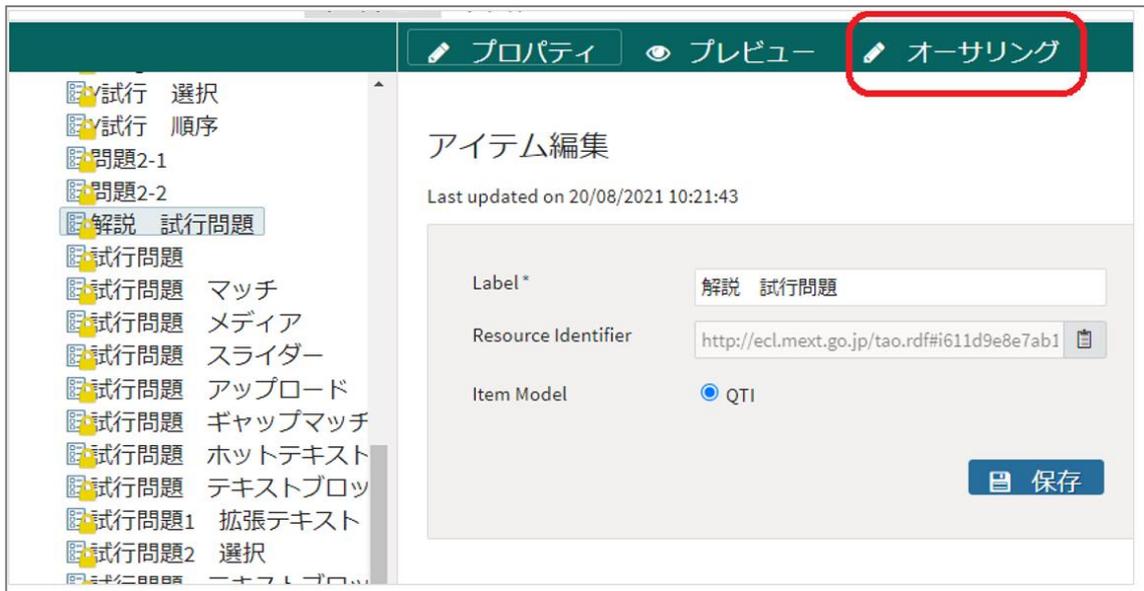
- 2 鍵のかかっていないフォルダを開くと、当該アカウントで作成した問題が一覧化されます。左下の「新しいアイテム」をクリックし、解説用のアイテムを作成します。



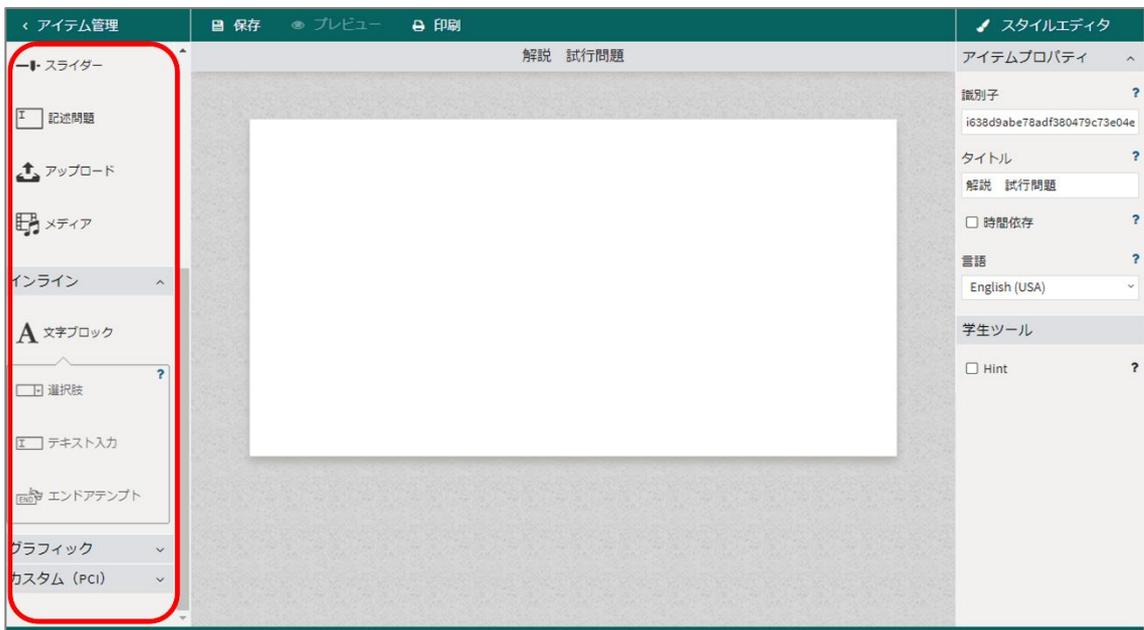
- 3 アイテム編集画面が表示されます。ラベルに「解説 試行問題」を指定し、「保存」ボタンを押すと、「保存されました」というメッセージが表示され、左側のフォルダ名が「解説 試行問題」に変更されます。



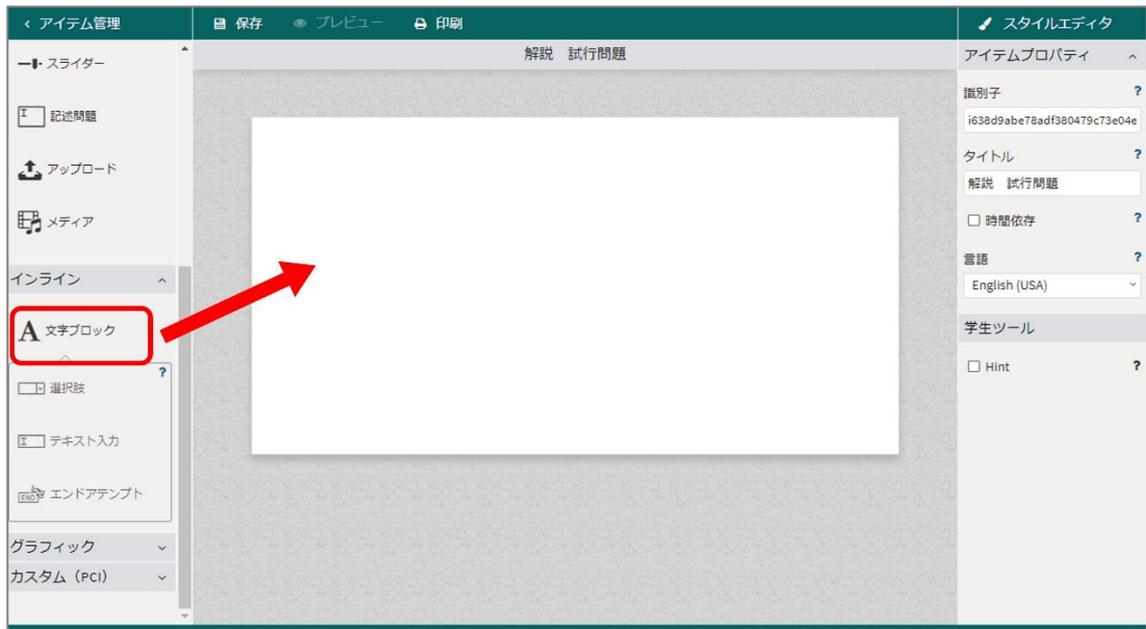
4 「解説 試行問題」を選択した状態で、画面上部の「オーサリング」ボタンをクリックします。



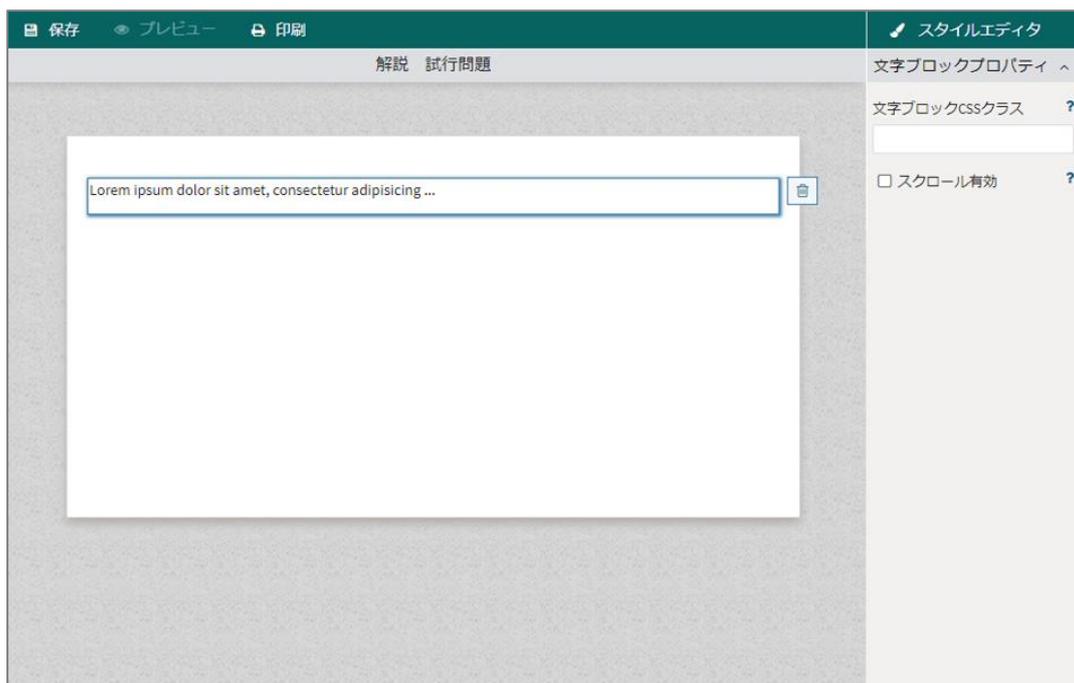
5 以下の様な画面が表示されます。画面左側の「標準インタラクション」や「インライン」などの機能を用いて、「解説 試行問題」の中身を作成していきます。または、解説を画像などにして、アップロードします。なお、これらの機能の詳細については、第 3 章から第 15 章をご参照ください。

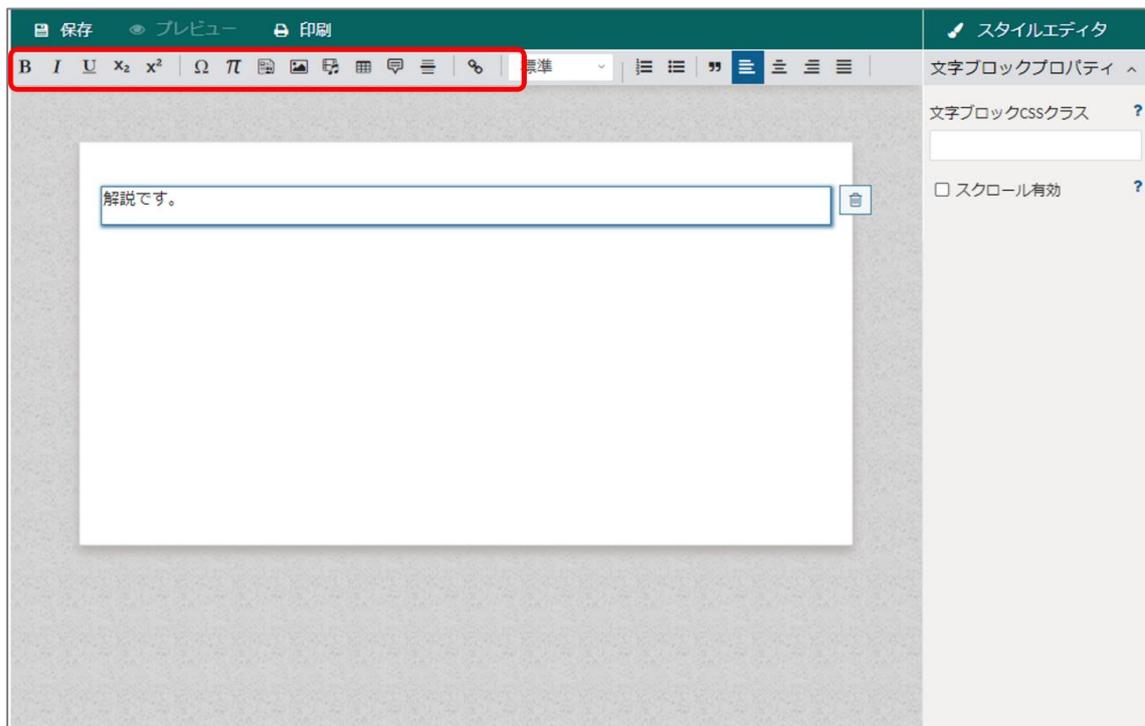


- 6 ここでは、例として「インライン」機能の「テキストブロック」を用いて「解説 試行問題」の中身を作成します。画面中央に、「A 文字ブロック」アイコンをドラッグ & ドロップします。

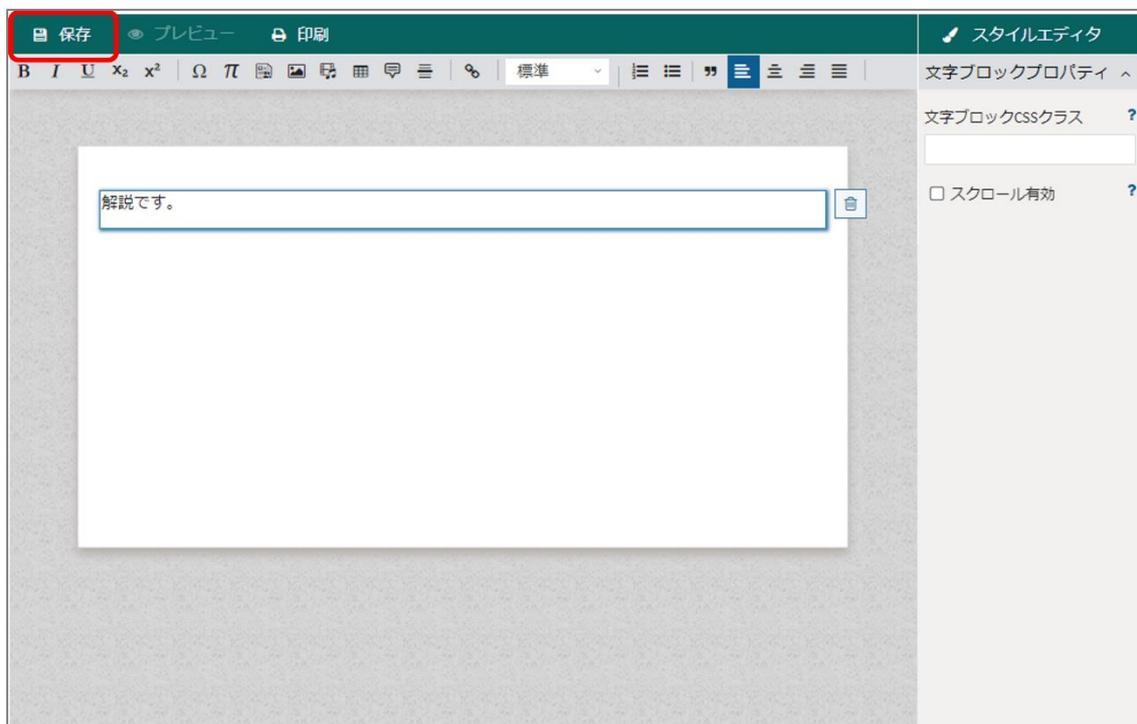


- 7 「A 文字ブロック」アイコンを画面中央にドラッグ & ドロップすると、以下の様な画面となり、文章を自由に記入することができます。すでに記入されている文章を編集し、解説文を記入します。また、画面上部に表示される機能アイコンをクリックすることで、文字の装飾や画像の挿入なども行えます（詳細は第 16 章参照）。

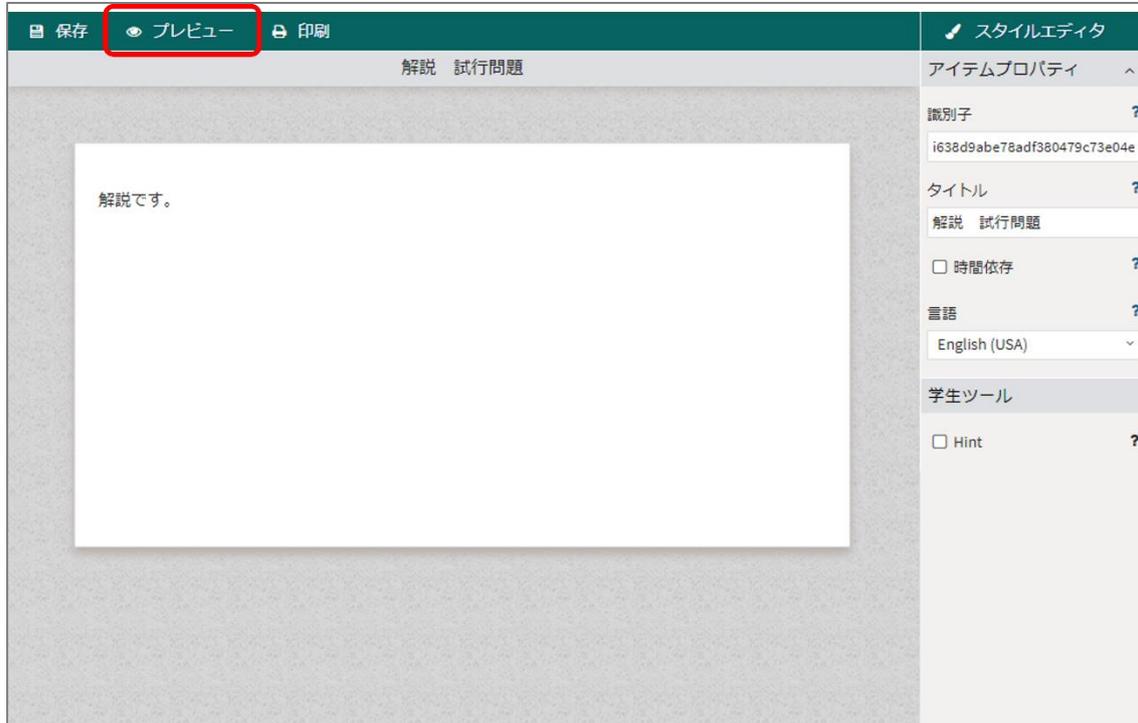




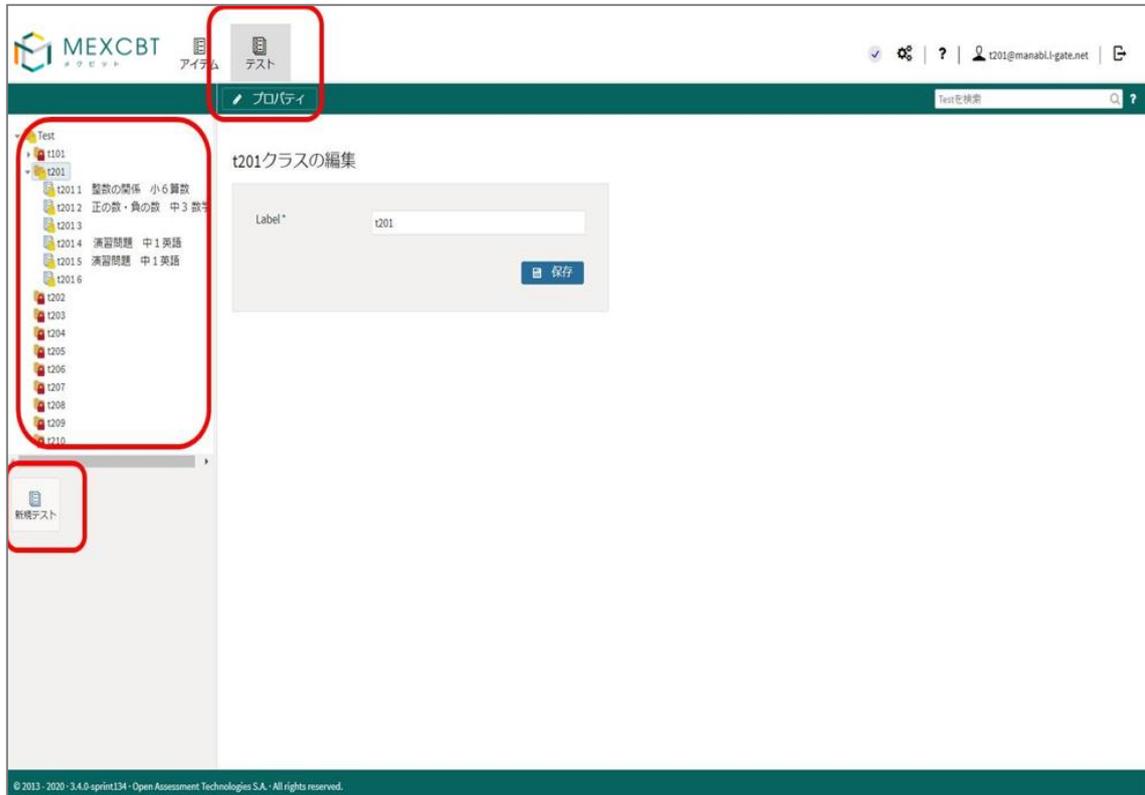
8 解説の記入を終えたら、左上の「保存」ボタンをクリックします。



- 9 アイテムが保存されたら、「プレビュー」ボタンをクリックし、正しく作成できているか確認を行います。しばらくすると画面が切り替わり、作成した解説用アイテムが表示されます。不備がなければ、右上の「閉じる」ボタンをクリックし、プレビューを終了します。これで解説用アイテムの作成は完了です。



- 10 次に、「試行問題」と「解説 試行問題」の二つのアイテムから構成されるテストを作成します。画面上部の「テスト」をクリックし、①、②と同様に、自分の ID のフォルダを選択後、「新規テスト」をクリックします。



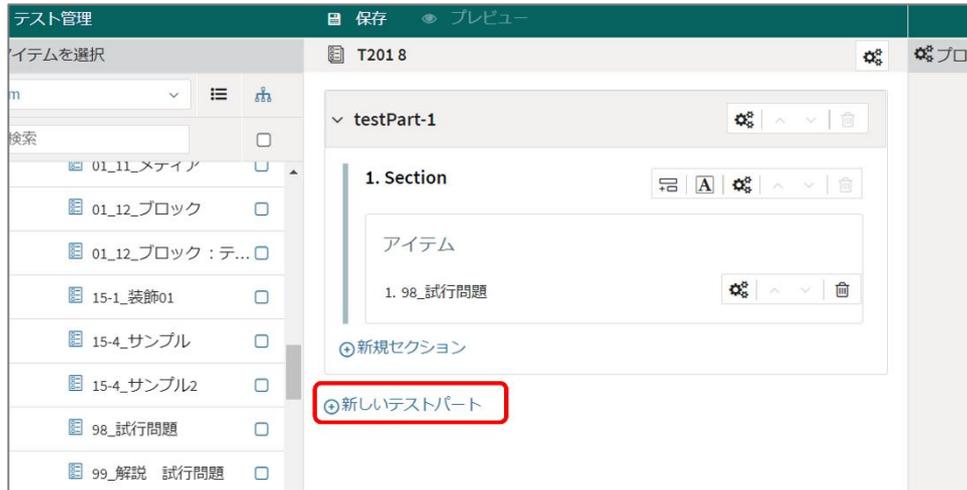
- 11 テスト属性画面が表示されます。ラベルに「t201 8 問題演習 小 5 算数_解説付き」を指定し、「保存」ボタンを押すと、「テストは保存されました」というメッセージが表示され、新規作成したテストのテスト名が「t201 8 問題演習 小 5 算数_解説付き」に変更されます。このまま、画面上部の「オーサリング」ボタンをクリックします。

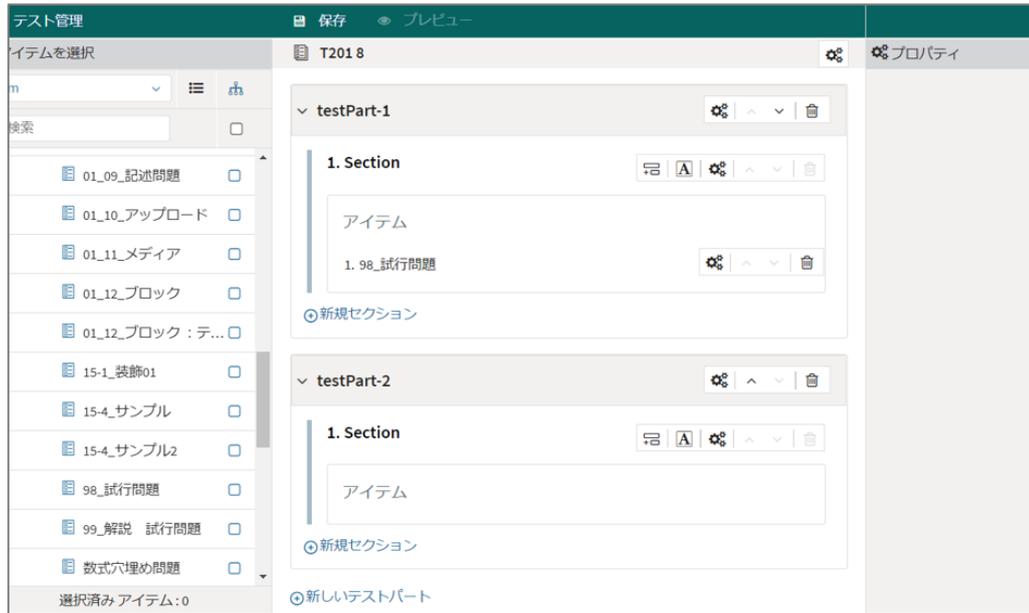


- 12 オーサリング画面が表示されます。画面左のメニューから、当該テスト（t201 8 問題演習 小 5 算数_解説付き）に登録する問題を選択します。チェックボックスにチェックを入れると、画面上に「+ 選択したアイテムを追加してください。」のメッセージが表示されます。そのメッセージをクリックするとテスト問題がテストに登録されます。ここでは、2-3 で作成した「試行問題」を選択しています。

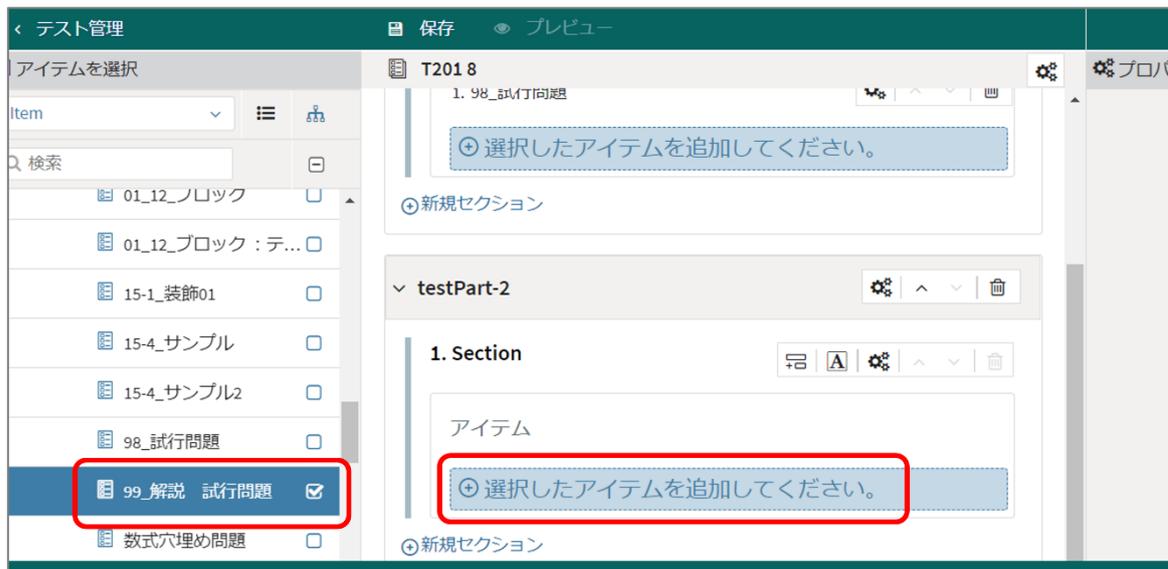


- 13 「testPart-1」というテストパートに、「試行問題」が登録されたことが確認できます。このまま、「新しいテストパート」ボタンをクリックし、「解説 試行問題」用のテストパートを追加します。





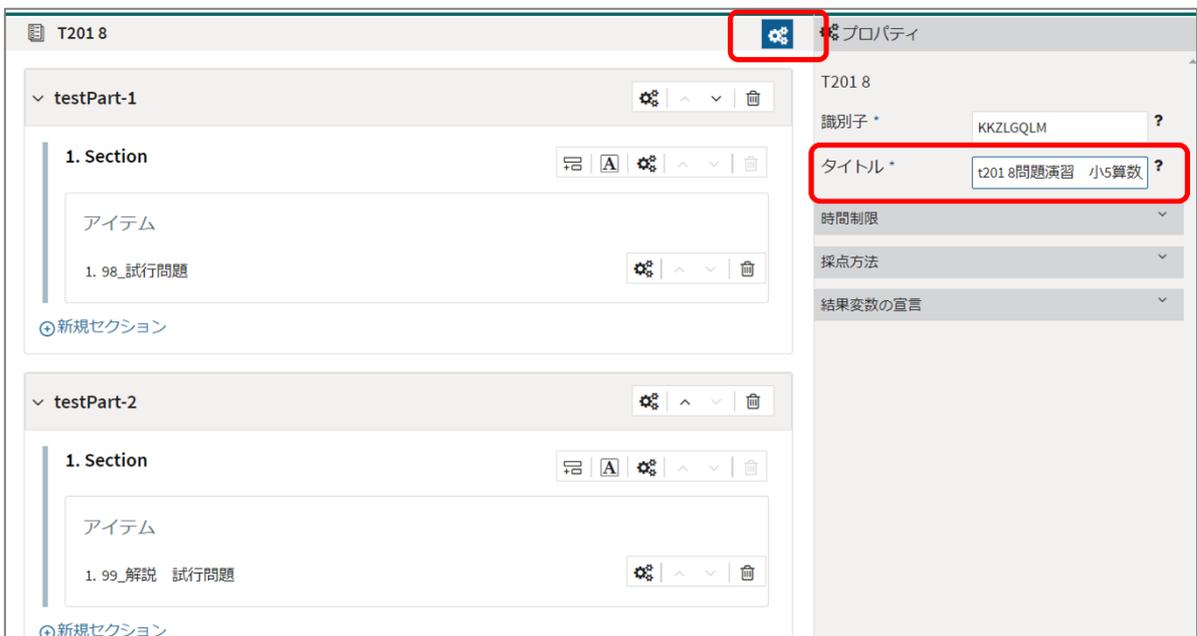
- 14 追加された「testPart-2」というテストパートに、「解説 試行問題」を登録します。⑫と同様にして、「解説 試行問題」のチェックボックスにチェックを入れ、「testPart-2」内に表示される「+ 選択したアイテムを追加してください。」をクリックします。



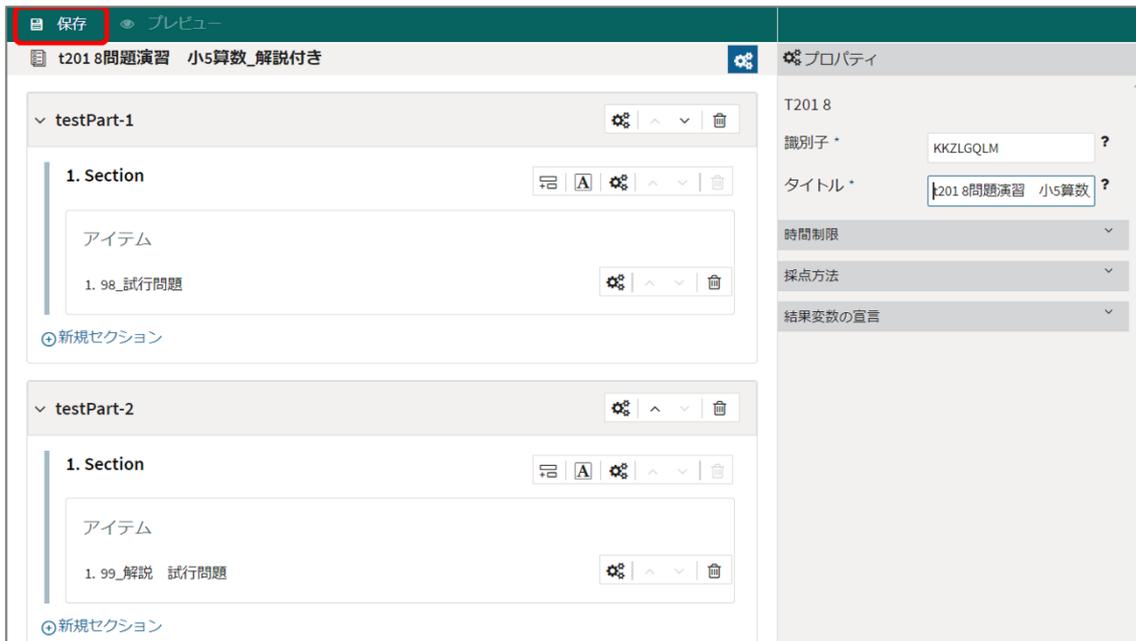
15 「testPart-2」というテストパートに、「解説 試行問題」が登録されたことが確認できます。



16 一番上の歯車アイコンを押し、テストのプロパティを表示させたうえで、タイトルにテスト名を入力します。ここでは、「t201 8 問題演習 小5算数_解説付き」と記載します。



17 タイトルを入力後、画面上部のタイトル名が、「t201 8 問題演習 小5算数_解説付き」と表示されるようになることが確認できます。不備がなければ、「保存」ボタンをクリックし、問題の作成を終了します。これで解説付き問題の作成は完了です。



【留意事項】

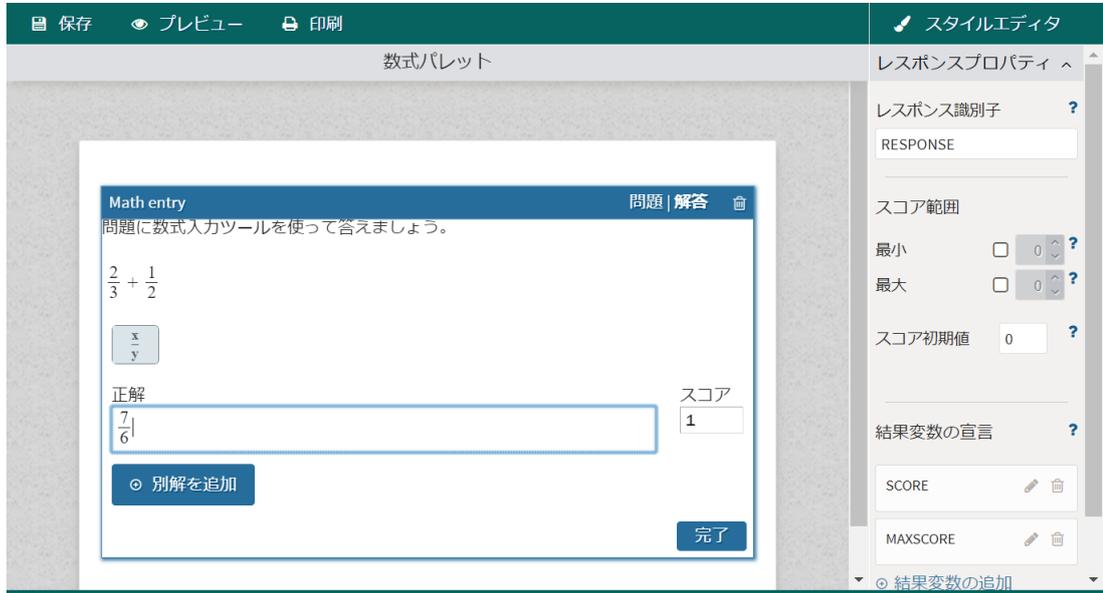
通常、初期設定では複数のアイテムを設定した際に、前のページには戻れない設定（第 16 章に記載の「ナビゲーション」の初期値が「順次式」）となっていますが、申請されたテストについては、事務局にて一律、前のページに戻れるように設定を変更しています（「非順次式」に変更しています）。

解説を見た後に、解答ページに戻れない（解答を変更できない）設定のままとした場合は、公開申請時のメールにて、その旨をお伝えください。

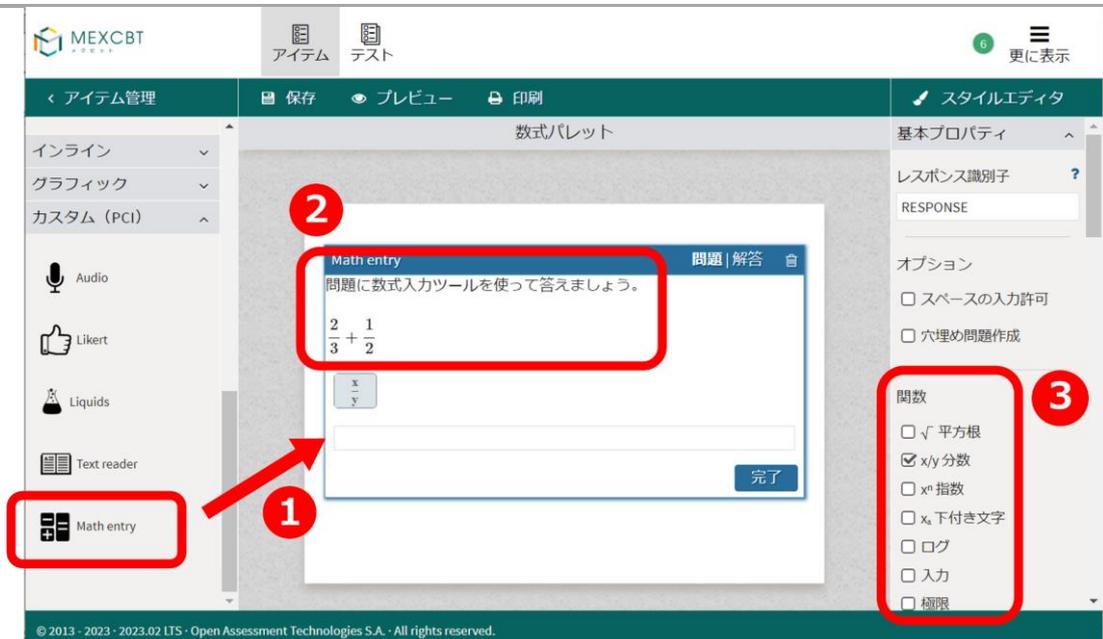
第17章 数式入力ツールを利用した問題作成

18-1 完成イメージ

「数式入力ツール」を利用した問題の完成イメージは以下の通りです。



18-2 基本的な操作方法



- 1 左側のメニューから「Math entry」アイコンをドラッグ＆ドロップします。
- 2 設問欄に問題文を入力します。
- 3 右側の基本プロパティから、この問題で使用する分数以外のチェックをはずします。

4 正答の設定を行います。数式入力ツールをクリックし、半角で数字を入力します。



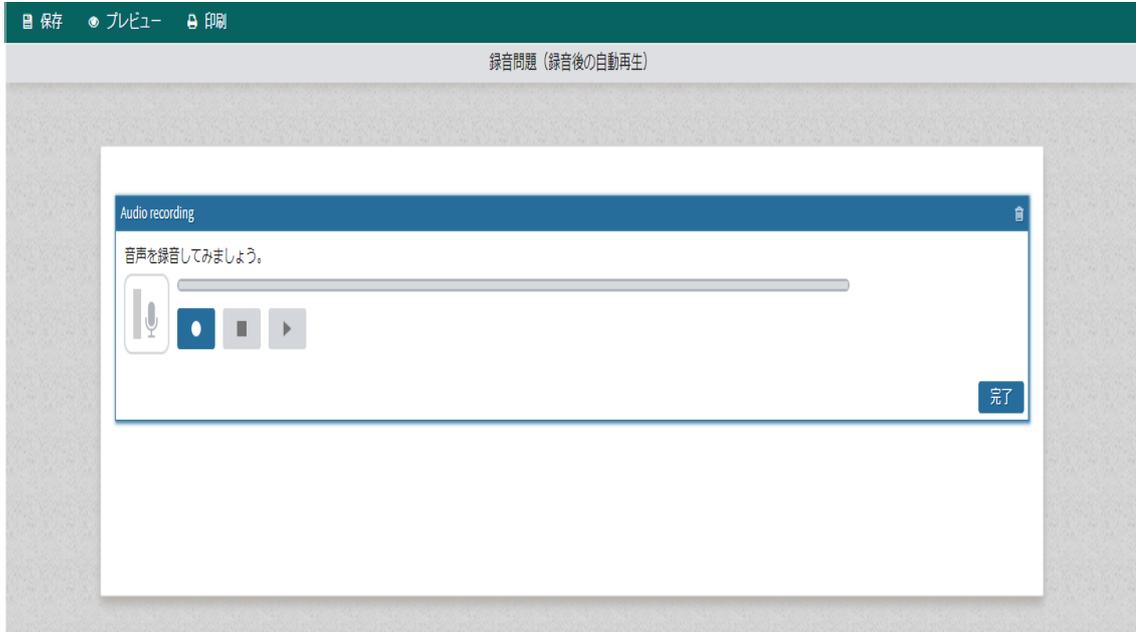
<留意事項>

- 数式入力ツールを利用している問題についての正答は、半角数字で設定してください。また、児童生徒が答えを半角数字で入力することを促すように問題文に「こたえは半角数字で入力しましょう」などの文言を明記してください。
- 利用可能な記号は MEXCBT のバージョンアップに伴い随時追加されます。過去に作成した問題をテスト作成サイトで編集する際は、追加になった記号が初期表示されていることがあるので、必要に応じてチェックを外してください。なお、MEXCBT に搭載済みの受検画面に自動でボタンが追加されることはありません。

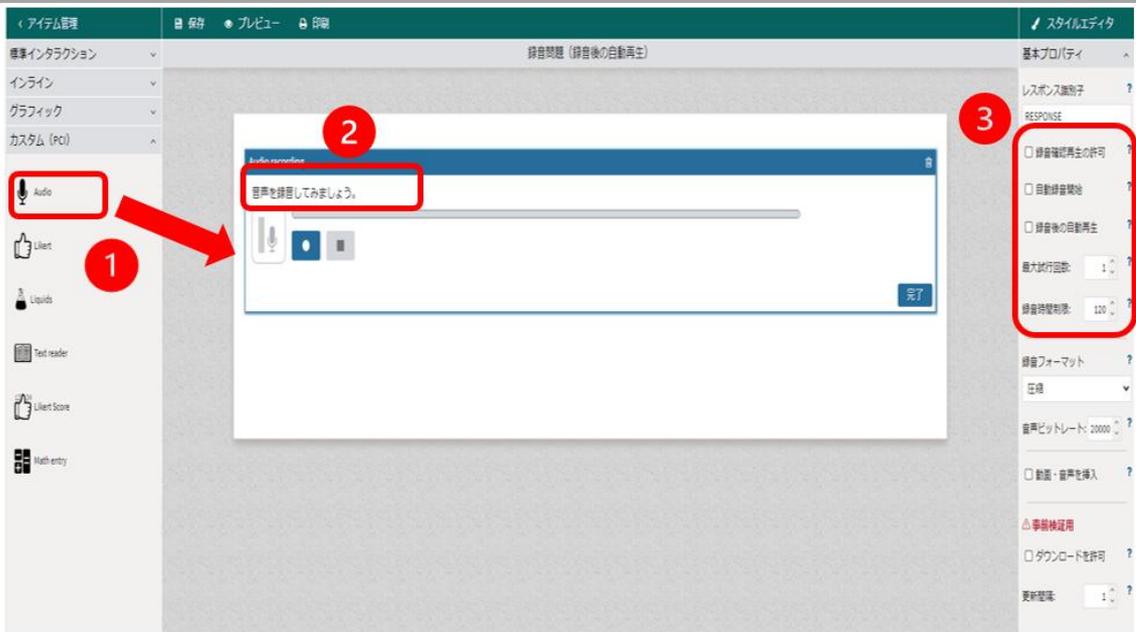
第18章 オーディオツールを利用した問題作成

19-1 完成イメージ

「オーディオツール」を利用した問題の完成イメージは以下の通りです。



19-2 基本的な操作方法



- 1 左側のメニューから「Audio」アイコンをドラッグ & ドロップします。
- 2 設問欄に問題文を入力します。
- 3 右側の基本プロパティから、この問題の録音・再生の設定を行います。



<留意事項>

- iPad で受検する場合は、基本プロパティで「録音後の自動再生」を有効にすると、録音後の自動再生時にエラーが発生します。
- Windows 及び ChromeOS 端末で録音した音声は、iPad では再生ができません。テスト結果の確認は、同じ OS の端末で行ってください。
- いずれの場合も、音声データは保存されており、解答は可能です。

《問合せ窓口》

オンライン学習システム推進コンソーシアム
(事務局：株式会社内田洋行教育総合研究所)
メールアドレス：mexcbt-info@uchida.co.jp

MEXCBT コールセンター
電話番号：03-5541-1301 (平日 9 時～17 時)

<本マニュアルに記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です>

【申請前チェック】

テスト公開申請を行う前に、以下をご確認ください。（本書「2-3 問題を作成する」参照）

<テスト全体について>

- ✓ 1つのテストに含まれる画像・動画の総容量が 120MB を超えないように作成してください。
120MB を超えるテストの MEXCBT への搭載はできませんのでご注意ください。

<テスト名について>

- ✓ ラベルボックスにテスト名が入力されている。
- ✓ 命名規則に沿ったテスト名が入力されている。
- ✓ テスト名に「学校種学年」(全角)「教科」「学校名 作成問題」が入力されている。
(例：XXXXX 小5 社会 (〇〇市立△△学校 作成問題))
- ✓ テスト名に「'」は使用していない。

<テストのプロパティについて>

- ✓ 「タイトル」欄にラベルボックス欄と同じテスト名が入力されている。
(例：XXXXX 小5 社会 (〇〇市立△△学校 作成問題))
- ✓ 採点方法が、「合計スコア」に設定されている。
- ✓ ナビゲーションが、「非順次式」に設定されている。
- ✓ 「スキップを許可する」にチェックが入っている。
- ✓ 「ズーム」にチェックが入っている。

<アイテム全体について>

- ✓ 使用する動画および画像のファイル名に「日本語」が使用されていない。
(半角英数字のみ使用可)
- ✓ 動画ファイルは mp4 形式で作成されているか。
- ✓ 誤字・脱字がない。
- ✓ 「記述問題」インタラクションを使用している場合は、本書「10-2 基本的な作成方法」にある「留意事項」について確認している。
- ✓ 該当する問題すべてに解答設定がされている。
- ✓ 同じアイテム名（識別子）で作成し、動画や画像ファイルが異なる場合に、ファイル名を変えて登録しているか。

- ✓ 複数のテストで同じアイテムを利用したい場合、アイテムをコピーして別のアイテムとしてテストに組み込んでテストを作成しているか。

<MEXCBT 記述式採点システムを利用する場合の作問について>

- ✓ 採点方法が「完全一致」に設定されている。
- ✓ 結果変数の宣言で「OUTCOME_1」の「外部スコアリング」で「手動採点」が設定されている。
- ✓ 複数の選択肢から一つ選んで、選んだ選択肢について記述するタイプの問題の作問において、選択肢と記述問題をそれぞれ別のアイテムに分けて作成している。もしくは、記述問題の解答欄に選択肢と記述の両方を記入するように問題を作成している。

【承認依頼前チェック】

デリバリ承認依頼を行う前に、以下の内容をご確認ください。正しく設定されていない場合、差戻を行うことがあります。（本書「2-1 テスト作成から搭載までの流れ」参照）

<問題詳細画面の設定について>

- ✓ アップロードした問題の名称が、命名規則に沿った名称になっている。
（（例：XXXXX 小5 社会（〇〇市立△△学校 作成問題））
- ✓ 原本名が「独自作成問題」に設定されている。
- ✓ 形式区分は「一問一答形式」に設定されている。
- ✓ アイテム詳細画面に問題詳細画面の設定が反映されている。

<デリバリ詳細画面の設定について>

- ✓ **（限定公開の場合）**「学校指定」の中で、公開対象の学校に加えて「**オンライン学習システムコンソーシアム_限定配信確認用**」が公開範囲に追加されている。

<問題の公開についての留意事項>

- MEXCBT は、文科省の公的 CBT システムであり、MEXCBT に搭載された問題は、基本的に全国の学校等で活用されることを念頭に置いていることから、MEXCBT で作成された問題は、公開することがふさわしくない場合※を除き、原則全国公開とします。
- なお、テストで使用する写真、図、イラスト等の著作権・肖像権等の利用許諾は特段の事由がある場合を除き、限定的な範囲に留めることなく、全国で利用可能とするように取得してください。

※全国公開することがふさわしくない場合（例）

- ① 地方自治体を実施する学力調査について、結果データ提供サイトを利用する場合や、調査実施期間中に問題が全国公開されることで調査のてきせつな実施が妨げられるおそれがある場合（調査実施後は基本的に問題を全国公開とします）
 - ② 繰り返し活用する問題など問題の性質上全国公開することが適切でない場合
 - ③ テストで使用する写真、図、イラスト等の著作権・肖像権等の利用許諾範囲が地方自治体・学校内に限定されている場合
 - ④ その他
- 限定公開を希望する場合は、その理由を上記①～④の番号から選択の上、「備考」欄に記載してください。④の場合は理由も記載してください。